

BladeSymphony

**Virtage Navigator ユーザーズガイド
操作リファレンス編**

Revision 2.21

HITACHI

重要なお知らせ

- 本書の内容の一部、または全部を無断で転載、複写することは固くお断わりします。
- 本書の内容について、改良のため予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審な点や誤りなど、お気づきのことがありましたら、お買い求め先へご一報くださいますようお願いいたします。
- 本書に準じないで本製品を運用した結果については責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

登録商標・商標について

Adobe、Adobeロゴは、Adobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の商標です。

Microsoft、Windows、Windows Server は米国Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

その他、本マニュアル中の製品名および会社名は、各社の商標または登録商標です。

著作権について

このマニュアルの内容はすべて著作権によって保護されています。このマニュアルの内容の一部または全部を、無断で転載することは禁じられています。

All Rights Reserved, Copyright (C) 2010, 2011, Hitachi, Ltd.

BladeSymphony Virtage Navigator

本資料は、BladeSymphony Virtage Navigator V02-02 に対応している操作リファレンス編です。

目次

1	ログイン	2
2	MAINウインドウメニューバー	3
3	PROFILE	5
4	LPAR 設定	7
5	モニタリング	30
6	構成ビューア	56
7	LPARマイグレーション	66
8	ファームウェア更新	75
9	メッセージ一覧	82
10	変更来歴	104

1 ログイン

※導入または表示位置/名称を変更した最終バージョンを示す

No.	操作, 表示対象	説明	導入/変更 Ver. (※)
1	Login ウィンドウ		V01-00
2	User ID テキストボックス	ユーザ ID を入力	V01-00
3	Password テキストボックス	パスワードを入力	V01-00
4	Login ボタン	本ウィンドウを閉じ、Main ウィンドウを開く	V01-00

2 Mainウインドウメニューバー

※導入または表示位置/名称を変更した最終バージョンを示す

No.	操作, 表示対象	説明	導入/変更 Ver. (※)
1	Main ウインドウ(メニューバー)		V01-00
2	File(F)メニュー	Exit(X) Alt+X メニューを開く	V01-00
3	Exit(X) Alt+X メニュー	Virtage Navigator を終了	V01-00
4	Setting(S)メニュー	Option(O) Alt+O メニューを開く	V01-00
5	Option(O) Alt+O メニュー	Option ウィンドウを開く	V01-00
6	Help(H)メニュー	About(A) Alt+A メニューを開く	V01-00
7	Get Technical Information(T) Alt+T メニュー	Virtage Navigator の技術情報を採取する	V02-00
8	About(A) Alt+A メニュー	Version Information ウィンドウを開く	V01-00
9	Option ウィンドウ		V01-00
10	HVM メニュー		V01-00
11	HVM Connection メニュー		V01-00
12	TimeOut Limit テキストボックス	HVM 接続時のタイムアウト時間を設定(単位:秒) デフォルト設定は 15 秒	V01-00
13	Communication IP Address コンボボ ックス	HVM 接続 IP アドレスの指定 デフォルト設定は” Not set” (指定しない)	V01-00
14	SVP メニュー		V02-00
15	SVP Connection メニュー		V02-00
16	TimeOut テキストボックス	SVP 接続時のタイムアウト時間を設定(単位:秒) デフォルト設定は 15 秒	V02-00
17	Migration Service メニュー		V01-00
18	Migration Service Status メニュー		V01-00
19	Status	Migration Service の状態を表示	V01-00
20	Error Message テキストボックス	【Status が Error の場合】 メッセージを表示	V01-00
21	Stop ボタン	Migration Service を停止	V01-00
22	Restart ボタン	Migration Service を再開	V01-00
23	Migration Service Configuration メニュー		V01-00
24	Migration Service Port テキストボ ックス	Migration Service のポートを設定 デフォルト設定は 23400	V01-00
25	Migration Option メニュー		V01-00
26	OS Shutdown Setting メニュー		V01-00
27	Waiting TimeOut Limit テキストボ ックス	リモートシャットダウンのタイムアウト時間を設 定(単位:分) デフォルト設定は 5 分	V01-00

28	Performance メニュー		V01-00
29	Processor Resource メニュー		V01-00
30	Auto ラジオボタン	Virtage Navigator が使用するプロセッサを動的に変更する Virtage Navigator ラジオボタンを有効にする Other Application ラジオボタンを有効にする	V01-00
31	Virtage Navigator ラジオボタン	Virtage Navigator の動作を優先する (デフォルト)	V01-00
32	Other Application ラジオボタン	Virtage Navigator 以外のアプリケーションやサービスの動作を優先する	V01-00
33	Specify the processor count ラジオボタン	Virtage Navigator が使用するプロセッサをプロセッサの個数で指定 コンボボックスを有効にする	V01-00
34	コンボボックス	使用するプロセッサの個数を指定 デフォルト設定は 1	V01-00
35	Specify the processor number ラジオボタン	Virtage Navigator が使用するプロセッサをプロセッサ番号で指定 リストボックスを有効にする	V01-00
36	リストボックス	使用するプロセッサ番号を指定	V01-00
37	Other メニュー		V01-00
38	SSH Component Setting メニュー		V01-00
39	Path テキストボックス	plink.exe の格納場所を指定 デフォルト設定は%VirNavi%bin	V01-00
40	Open ボタン	サブウィンドウ(ファイルを開くウィンドウ)を開く	V01-00
41	ファイルを開くウィンドウ		V01-00
42	[本ウィンドウは Windows の標準機能に準拠]		V01-00
43	Terminal Application Setting メニュー		V02-00
44	Path テキストボックス	ttermpro.exe の格納場所を指定	V02-00
45	Open ボタン	サブウィンドウ(ファイルを開くウィンドウ)を開く	V02-00
46	ファイルを開くウィンドウ		V02-00
47	[本ウィンドウは Windows の標準機能に準拠]		V02-00
48	R-KVM Application (Reclient) メニュー		V02-00
49	Path テキストボックス	リモートコンソールアプリケーションのインストールパスを表示する	V02-00
50	Version テキストボックス	リモートコンソールアプリケーションのバージョンを表示する	V02-00
51	Apply ボタン	設定を保存	V01-00
52	OK ボタン	設定を保存して、本ウィンドウを閉じる	V01-00
53	Cancel ボタン	設定を保存せず、本ウィンドウを閉じる	V01-00
54	Version Information ウィンドウ		V01-00
55	OK ボタン	本ウィンドウを閉じる	V01-00

3 Profile

※導入または表示位置/名称を変更した最終バージョンを示す

No.	操作, 表示対象	説明	導入/変更 Ver. (※)
1	Main ウィンドウ (Profile タブ)		V01-00
2	Menu フレーム		V01-00
3	Add ボタン	Configuration Registration ウィンドウを開く	V01-00
4	Delete ボタン	サブウィンドウ (Delete HVM ウィンドウ) を開く	V01-00
5	Delete HVM ウィンドウ (Main ウィンドウの Delete ボタンクリック時に開くウィンドウ)		V01-00
6	OK ボタン	サブウィンドウ (Delete HVM ウィンドウ) を開く	V01-00
7	キャンセルボタン	選択した機器の削除を取り止める	V01-00
8	Delete HVM ウィンドウ (Delete HVM ウィンドウの OK ボタンクリック時に開くウィンドウ)		V01-00
9	OK ボタン	選択した機器を削除	V01-00
10	キャンセルボタン	選択した機器の削除を取り止める	V01-00
11	Update ボタン/Update Cancel ボタン (Update 実行中は Update Cancel ボタンになる)	【Update ボタンをクリックした場合】 登録した HVM 情報を更新 【Update Cancel ボタンをクリックした場合】 HVM 情報の更新を取り止める	V01-00
12	System Configuration フレーム		V01-00
13	ツリービュー	(1) 詳細情報を表示する項目 (Chassis, HVM) を選択 (選択した項目の詳細情報はリストに表示) (2) 削除対象の HVM を選択	V01-00
14	リスト	ツリービューで選択した項目の詳細情報を表示	V01-00
15	Configuration Registration ウィンドウ		V01-00
16	Machinery Choice フレーム		V01-00
17	Machinery コンボボックス	探索する機器の種類を選択 (現在サポートしているのは、HVM のみ)	V01-00
18	Input Condition フレーム		V01-00
19	IP Range Specification チェックボックス	【チェックあり】 IP アドレスを範囲指定できる 【チェックなし】 IP アドレスは1つのみにする	V01-00
20	From テキストボックス	探索範囲の始まりの IP アドレスを指定	V01-00
21	To テキストボックス	探索範囲の終わりの IP アドレスを指定	V01-00
22	Time Out テキストボックス	1つの IP アドレス探索毎に設けるタイムアウト時間を入力(単位:秒) デフォルト設定は 10 秒	V01-00
23	Search ボタン	機器を探索 検知した機器は、Machinery List リストに表示 【範囲指定した IP アドレスを探索している最中】 サブウィンドウ (Searching the IP address ウィンドウ) を開く	V01-00

24	Searching the IP address ウィンドウ		V01-00
25	Cancel ボタン	機器探索を中止	V01-00
26	Machinery List リスト		V01-00
27	チェックボックス	登録する機器を選択 デフォルトでは、チェックあり	V01-00
28	Add ボタン	Machinery List で選択した機器を登録 サブウィンドウ (Confirmation ウィンドウ) を開く	V01-00
29	Confirmation ウィンドウ		V01-00
30	OK ボタン	選択した機器を登録 サブウィンドウ (Registering the HVM ウィンドウ) を開く	V01-00
31	キャンセルボタン	選択した機器の登録を取り止める	V01-00
32	Registering the HVM ウィンドウ		V01-00
33	Cancel ボタン	選択した機器の登録を中止	V01-00
34	Close ボタン	【Machinery List に HVM がある場合】 サブウィンドウ (Confirmation ウィンドウ) を開く 【Machinery List に HVM がない場合】 機器登録を終了する	V01-00
35	Confirmation ウィンドウ		V01-00
36	OK ボタン	機器登録を終了する	V01-00
37	キャンセルボタン	本ウィンドウを閉じる (機器登録を継続する)	V01-00

4 LPAR 設定

※導入または表示位置/名称を変更した最終バージョンを示す

No.	操作, 表示対象	説明	導入/ 変更 Ver. (※)
1	Main ウィンドウ (LPAR Configuration タブ)		V02-00
2	System List フレーム		V02-00
3	コンボボックス	LPAR 設定対象のシステム構成を選択する 選択したシステムの構成を HVM Select フレーム内のツリービ ューに表示する	V02-00
4	Edit ボタン	System Edit ウィンドウを開く	V02-00
5	HVM Select フレーム		V02-00
6	ツリービュー	LPAR 設定対象の項目 (Chassis, HVM) を選択する	V02-00
7	Initial Setup ボタン	Initial Setup of HVM ウィンドウを開く	V02-00
8	Make LPAR ボタン	Make LPAR ウィンドウを開く	V02-00
9	HVM Console ボタン	HVM Console ウィンドウを開く	V02-00
10	Related Console ボタン	Related Console ウィンドウを開く	V02-00
11	System Edit ウィンドウ	構成ビューアの「System Edit ウィンドウ」の説明を参照くだ さい	V02-00
12	Initial Setup of HVM ウィンドウ		V02-00
13	Start Initial Setup 操作メニュー		V02-00
14	Next ボタン	Select Chassis 操作フレームに進む	V02-00
15	Close ボタン	Close Initial Setup of HVM ウィンドウを開く	V02-00
16	Close Initial Setup of HVM ウィンドウ		V02-00
17	OK ボタン	設定内容を保存せずに Initial Setup of HVM ウィンドウを開 じる	V02-00
18	Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる	V02-00
19	Select Chassis 操作メニュー		V02-00
20	Chassis Select メニュー		V02-00
21	Input SVP Information ラジオボタン	SVP Information を指定可能にする	V02-00
22	Select SVP by Chassis ID ラジオボタン	既登録の Chassis 情報を SVP Information に表示する (SVP 情 報は指定不可になる)	V02-00
23	コンボボックス	既登録の Chassis 情報を選択する	V02-00
24	Delete ボタン	既登録の Chassis 情報を削除する	V02-00
25	SVP Information メニュー		V02-00
26	IP Address テキストボ ックス	Chassis の IP Address を指定する	V02-00
27	User ID テキストボッ クス	Chassis の User ID を指定する	V02-00
28	Password テキストボッ クス	Chassis の Password を指定する	V02-00

29	Back ボタン	Start Initial Setup 操作フレームに戻る	V02-00
30	Next ボタン	Chassis Detection ウィンドウを開く	V02-00
31	Select Chassis ウィンドウ		V02-00
32	OK ボタン	Chassis Detection ウィンドウを開く	V02-00
33	Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる	V02-00
34	Chassis Detection ウィンドウ		V02-00
35	OK ボタン	Select Partition 操作フレームに進む	V02-00
36	Close ボタン	Close Initial Setup of HVM ウィンドウを開く	V02-00
37	Close Initial Setup of HVM ウィンドウ		V02-00
38	OK ボタン	設定内容を保存せずに Initial Setup of HVM ウィンドウを閉じる	V02-00
39	Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる	V02-00
40	Select Partition 操作メニュー		V02-00
41	Partition 一覧	Partition を選択する	V02-00
42	Information メニュー		V02-00
43	Partition Number	選択された Partition Number を表示する	V02-00
44	Power Status	選択された Partition の電源状態を表示する	V02-00
45	Mode	選択された Partition の OS Mode を表示する	V02-00
46	HVM メニュー		V02-00
47	HVM ID	HVM ID を表示する	V02-00
48	IP Address	HVM の IP Address を表示する	V02-00
49	Firmware Version メニュー		V02-00
50	SVP	SVP の Firmware Version を表示する	V02-00
51	HVM	HVM の Firmware Version を表示する	V02-00
52	BMC	BMC の Firmware Version を表示する	V02-00
53	BIOS/EFI	BIOS/EFI の Firmware Version を表示する	V02-00
54	Refresh ボタン	選択可能な Partition 一覧を更新する	V02-00
55	Back ボタン	Select Chassis 操作フレームに戻る	V02-00
56	Next ボタン	Select Partition ウィンドウを開く	V02-00
57	Select Partition ウィンドウ		V02-00
58	OK ボタン	HVM Setting 操作フレームに進む	V02-00
59	Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる	V02-00
60	Close ボタン	Close Initial Setup of HVM ウィンドウを開く	V02-00
61	Close Initial Setup of HVM ウィンドウ		V02-00
62	OK ボタン	設定内容を保存せずに Initial Setup of HVM ウィンドウを閉じる	V02-00
63	Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる	V02-00
64	HVM Setting 操作メニュー		V02-00
65	Management LAN Settings メニュー		V02-00
66	HVM IP Address テキストボックス	HVM の IP Address を指定する	V02-00
67	Subnet Mask テキストボックス	Subnet Mask を指定する	V02-00
68	Default Gateway テキストボックス	Default Gateway を指定する	V02-00

69	VNIC System No メニュー		V02-00
70	VNIC System No. テキストボックス	VNIC System No. を指定する	V02-00
71	アイコン	Note for VNIC System No ウィンドウを開く	V02-00
72	Note for VNIC System No ウィンドウ		V02-00
73	OK ボタン	本ウィンドウを閉じる	V02-00
74	HVM ID メニュー		V02-00
75	HVM ID テキストボックス	HVM ID を指定する	V02-00
76	アイコン	Note for HVM ID ウィンドウを開く	V02-00
77	Note for HVM ID ウィンドウ		V02-00
78	OK ボタン	本ウィンドウを閉じる	V02-00
79	CLI IP Address メニュー		V02-01
80	CLIX IP Address テキストボックス	CL11~HVM CL18 の IP Address を指定する	V02-01
81	Back ボタン	Select Partition 操作フレームに戻る	V02-00
82	Next ボタン	HVM Setting ウィンドウを開く	V02-00
83	HVM Setting ウィンドウ		V02-00
84	OK ボタン	Settings & Power ON 操作フレームに進む	V02-00
85	Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる	V02-00
86	Close ボタン	Close Initial Setup of HVM ウィンドウを開く	V02-00
87	Close Initial Setup of HVM ウィンドウ		V02-00
88	OK ボタン	設定内容を保存せずに Initial Setup of HVM ウィンドウを閉じる	V02-00
89	Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる	V02-00
90	Settings & Power ON 操作メニュー		V02-00
91	Chassis メニュー		V02-00
92	IP Address	Chassis の IP Address を表示する	V02-00
93	Partition メニュー		V02-00
94	Partition #	Partition Number を表示する	V02-00
95	OS Mode	Partition の OS Mode を表示する	V02-00
96	HVM メニュー		V02-00
97	IP Address	HVM の IP Address を表示する	V02-00
98	Subnet Mask	Subnet Mask を表示する	V02-00
99	Default Gateway	Default Gateway を表示する	V02-00
100	VNIC System No	VNIC System No. を表示する	V02-00
101	HVM ID	HVM ID を表示する	V02-00
102	Back ボタン	HVM Setting 操作フレームに戻る	V02-00
103	Next ボタン	Wait for HVM Ready 操作フレームに進む	V02-00
104	Close ボタン	Close Initial Setup of HVM ウィンドウを開く	V02-00
105	Close Initial Setup of HVM ウィンドウ		V02-00
106	OK ボタン	設定内容を保存せずに Initial Setup of HVM ウィンドウを閉じる	V02-00
107	Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる	V02-00

108	Wait for HVM Ready 操作メニュー		V02-00
109	Chassis メニュー		V02-00
110	IP Address	Chassis の IP Address を表示する	V02-00
111	Partition メニュー		V02-00
112	Partition #	Partition Number を表示する	V02-00
113	HVM メニュー		V02-00
114	HVM ID	HVM ID を表示する	V02-00
115	IP Address	HVM の IP Address を表示する	V02-00
116	アイコン	Help ウィンドウを開く	V02-00
117	Help ウィンドウ		V02-00
118	OK ボタン	本ウィンドウを閉じる	V02-00
119	System Console(web) ボタン	System Console(web)に接続するための入力ウィンドウを開く	V02-00
120	System Console(Telnet) ボタン	Wait for HVM Ready ウィンドウを開く	V02-00
121	Wait for HVM Ready ウィンドウ		V02-00
122	OK ボタン	本ウィンドウを閉じ、System Console(Telnet)に接続するための入力ウィンドウを開く	V02-00
123	R-KVM Console ボタン	Wait for HVM Ready ウィンドウを開く	V02-00
124	Wait for HVM Ready ウィンドウ		V02-00
125	OK ボタン	本ウィンドウを閉じ、R-KVM Console に接続するための入力ウィンドウを開く	V02-00
126	Close ボタン	Close Initial Setup of HVM ウィンドウを開く	V02-00
127	Close Initial Setup of HVM ウィンドウ		V02-00
128	OK ボタン	設定内容を保存せずに Initial Setup of HVM ウィンドウを閉じる	V02-00
129	Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる	V02-00
130	Regist to Profile 操作メニュー		V02-00
131	Chassis メニュー		V02-00
132	IP Address	Chassis の IP Address を表示する	V02-00
133	Partition メニュー		V02-00
134	Partition #	Partition Number を表示する	V02-00
135	HVM メニュー		V02-00
136	HVM ID	HVM ID を表示する	V02-00
137	IP Address	HVM の IP Address を表示する	V02-00
138	Next ボタン	Make LPAR 操作フレームに進む	V02-00
139	Close ボタン	Close Initial Setup of HVM ウィンドウを開く	V02-00
140	Close Initial Setup of HVM ウィンドウ		V02-00
141	OK ボタン	設定内容を保存せずに Initial Setup of HVM ウィンドウを閉じる	V02-00
142	Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる	V02-00

143	Make LPAR 操作メニュー		V02-00
144	LPAR count	LPAR Make ウィンドウの「LPAR count」の説明を参照ください	V02-00
145	How to make LPARs	LPAR Make ウィンドウの「How to make LPARs」の説明を参照ください	V02-00
146	Processor count	LPAR Make ウィンドウの「Processor count」の説明を参照ください	V02-00
147	Size of the memory [GB]	LPAR Make ウィンドウの「Size of the memory [GB]」の説明を参照ください	V02-00
148	NIC card count	LPAR Make ウィンドウの「NIC card count」の説明を参照ください	V02-00
149	HBA card count	LPAR Make ウィンドウの「HBA card count」の説明を参照ください	V02-00
150	Confirm	LPAR Make ウィンドウの「Confirm」の説明を参照ください	V02-00
151	System Parameter メニュー	LPAR Make ウィンドウの「System Parameter フレーム」の説明を参照ください	V02-00
152	LPAR Condition メニュー	LPAR Make ウィンドウの「LPAR Condition フレーム」の説明を参照ください	V02-00
153	Processor Condition メニュー	LPAR Make ウィンドウの「Processor Condition フレーム」の説明を参照ください	V02-00
154	Memory Condition メニュー	LPAR Make ウィンドウの「Memory Condition フレーム」の説明を参照ください	V02-00
155	NIC Condition メニュー	LPAR Make ウィンドウの「NIC Condition フレーム」の説明を参照ください	V02-00
156	HBA Condition メニュー	LPAR Make ウィンドウの「HBA Condition フレーム」の説明を参照ください	V02-00
157	Update ボタン	HVM 構成情報を更新する	V02-00
158	Next ボタン	LPAR Operation 操作フレームに進む	V02-00
159	Close ボタン	Close Initial Setup of HVM ウィンドウを開く	V02-00
160	Close Initial Setup of HVM ウィンドウ		V02-00
161	OK ボタン	設定内容を保存せずに Initial Setup of HVM ウィンドウを閉じる	V02-00
162	Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる	V02-00
163	LPAR Operation 操作メニュー		V02-00
164	LPAR 一覧	LPAR を選択する	V02-00
165	Activate ボタン	Activate ウィンドウを開く	V02-00
166	Activate ウィンドウ		V02-00
167	OK ボタン	LPAR を Activate し、本ウィンドウを閉じる	V02-00
168	Deactivate ボタン	Deactivate ウィンドウを開く	V02-00
169	Deactivate ウィンドウ		V02-00
170	OK ボタン	LPAR を Deactivate し、本ウィンドウを閉じる	V02-00

171	R-KVM Console ボタン	USB Attach/Detach ウィンドウを開く	V02-00
172	USB Attach/Detach ウィンドウ		V02-00
173	OK ボタン	USB を Attach/Detach し、本ウィンドウを閉じ、 R-KVM に接続するための入力ウィンドウを開く	V02-00
174	Cancel ボタン	USB を Attach/Detach せず、本ウィンドウを閉じ、 USB Attach/Detach ウィンドウを開く	V02-00
175	USB Attach/Detach ウィンドウ		V02-00
176	OK ボタン	本ウィンドウを閉じる	V02-00
177	Information メニュー		V02-00
178	LPAR #	LPAR Number を表示する	V02-00
179	Power Status	LPAR の Power Status を表示する	V02-00
180	Memory Size	LPAR の Memory Size を表示する	V02-00
181	Processor	LPAR の Processor Mode と Processor 数を表示する	V02-00
182	USB メニュー		V02-00
183	USB 一覧	LPAR が使用している USB の一覧を表示する	V02-00
184	HBA メニュー		V02-00
185	HBA 一覧	LPAR が使用している HBA の一覧を表示する	V02-00
186	NIC メニュー		V02-00
187	NIC 一覧	LPAR が使用している NIC の一覧を表示する	V02-00
188	Update ボタン	HVM 構成情報を更新する	V02-00
189	Save ボタン	Save HVM Configuration ウィンドウを開く	V02-00
190	Save HVM Configuration ウィンドウ		V02-00
191	OK ボタン	HVM 構成情報を保存し、本ウィンドウを閉じ、 Save HVM Configuration ウィンドウを開く	V02-00
192	Save HVM Configuration ウィンドウ		V02-00
193	OK ボタン	本ウィンドウを閉じる	V02-00
194	Cancel ボタン	HVM 構成情報を保存せず、本ウィンドウを閉じ、 Save HVM Configuration ウィンドウを開く	V02-00
195	Save HVM Configuration ウィンドウ		V02-00
196	OK ボタン	本ウィンドウを閉じる	V02-00
197	Back ボタン	Make LPAR 操作フレームに戻る	V02-00
198	Close ボタン	Close Initial Setup of HVM ウィンドウを開く	V02-00
199	Close Initial Setup of HVM ウィンドウ		V02-00
200	OK ボタン	設定内容を保存せずに Initial Setup of HVM ウィンドウを閉じる	V02-00
201	Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる	V02-00
202	Make LPAR ウィンドウ		V02-00
203	コンボボックス	表示するウィンドウ (LPAR Make ウィンドウ/ HVM Console ウィンドウ) を選択する	V02-00
204	HVM Information フレーム		V02-00
205	HVM ID	HVM ID を表示する	V02-00
206	HVM IP	HVM の IP Address を表示する	V02-00
207	Update (U) ボタン	HVM 構成情報を更新する	V02-00

208	Make LPAR フレーム		V02-00
209	LPAR count		V02-00
210	コンボボックス	作成する LPAR 数を指定する	V02-00
211	How to make LPARs		V02-00
212	Use default parameter ラジオボタン	下記項目に下記規定値を表示する(下記項目が指定不可になる) ・プロセッサ数:2 ・メモリ容量:1GB ・NIC カードの枚数:1 枚 ・HBA カードの枚数:1 枚	V02-00
213	Use custom parameter ラジオボタン	プロセッサ数, メモリ容量, NIC カードの枚数, HBA カードの枚数を指定可能にする	V02-00
214	Processor count		V02-00
215	コンボボックス	プロセッサ数を指定する	V02-00
216	Size of the memory [GB]		V02-00
217	コンボボックス	メモリ容量を指定する	V02-00
218	NIC card count		V02-00
219	コンボボックス	NIC カードの枚数を指定する	V02-00
220	HBA count		V02-01
221	Port ラジオボタン	HBA ポート数を指定する	V02-01
222	Card ラジオボタン	HBA カード数を指定する	V02-01
223	コンボボックス	HBA カードの枚数を指定する	V02-00
224	Confirm		V02-00
225	LPAR 設定一覧	指定したプロセッサ数, メモリ容量, NIC カードの枚数, HBA カードの枚数を表示する	V02-00
226	Create LPARs		V02-00
227	Create ボタン	LPAR を作成する	V02-00
228	Save HVM Configuration		V02-00
229	Save ボタン	Save Configuration ウィンドウを開く	V02-00
230	Save Configuration ウィンドウ		V02-00
231	OK ボタン	HVM 構成情報を保存し、本ウィンドウを閉じ、 Save Configuration Finish ウィンドウを開く	V02-00
232	Save Configuration Finish ウィンドウ		V02-00
233	OK ボタン	HVM 構成情報の保存を中断し、本ウィンドウを閉じる	V02-00
234	Cancel ボタン	HVM 構成情報を保存せず、本ウィンドウを閉じる	V02-00
235	System Parameter メニュー		V02-00
236	LPAR メニュー		V02-00
237	Define	LPAR 定義数を表示する	V02-00
238	Remain	LPAR 未定義数(定義可能最大数 - 定義数)を表示する	V02-00
239	Processor メニュー		V02-00
240	Total	共有プロセッサ定義数と占有プロセッサ定義数の合計を表示する	V02-00
241	Share Proc	共有プロセッサ定義数を表示する	V02-00
242	Dedicate Proc	占有プロセッサ定義数を表示する	V02-00

243		Memory メニュー		V02-00
244		User Total	使用メモリの総容量を表示する	V02-00
245		Assign Total	定義メモリの総容量を表示する	V02-00
246		Remain	未使用メモリの容量を表示する	V02-00
247		LPAR Condition メニュー	LPAR の状態を表示する	V02-00
248		Processor Condition メニュー	Processor の状態を表示する	V02-00
249		Memory Condition メニュー	Memory の状態を表示する	V02-00
250		NIC Condition メニュー	NIC の状態を表示する	V02-00
251		HBA Condition メニュー	HBA の状態を表示する	V02-00
252	HVM Console ウィンドウ			V02-00
253		コンボボックス	LPAR Make ウィンドウの「コンボボックス」の説明を参照ください	V02-00
254		HVM Information フレーム	LPAR Make ウィンドウの「HVM Information フレーム」の説明を参照ください	V02-00
255		Update (U) ボタン	LPAR Make ウィンドウの「Update ボタン」の説明を参照ください	V02-00
256	HVM Console 選択操作メニュー			V02-00
257		HVM Menu ボタン	Menu フレームに移行する	V02-00
258		コンボボックス	表示するスクリーンを選択する	V02-00
259		<< Prev. ボタン	登録スクリーン順序が1つ前のスクリーンを表示する 登録スクリーン順序は以下の通り (00) HVM Main Menu (01) Logical Partition Configuration (02) Logical Processor Configuration (03) Physical Processor Configuration (04) PCI Device Information (05) PCI Device Assignment (06) VNIC Assignment (07) Shared FC Assignment (08) Allocated FC Information (09) System Configuration (10) System Service State (12) HVM Options (15) HVM System Logs (16) Firmware Version Information (17) Boot Setting	V02-01
260		Next >> ボタン	登録スクリーン順序が1つ後のスクリーンを表示する 登録スクリーン順序は << Prev. ボタン を参照	V02-00

261	スクリーン		V02-00
262	Menu スクリーン		V02-00
263	Menu フレーム		V02-00
264	Logical Partition Configuration	LPAR の名称やプロセッサ数、メモリ容量などを設定します	V02-00
265	Logical Processor Configuration	各 LPAR に対して論理プロセッサの設定を行います	V02-00
266	Physical Processor Configuration	物理プロセッサの構成や状態を表示します	V02-00
267	PCI Device Information	PCI デバイスの情報を表示します	V02-00
268	PCI Device Assignment	各 LPAR に対して PCI デバイスの割り当てを行います	V02-00
269	VNIC Assignment	各 LPAR に対して仮想 NIC の割り当てを行います	V02-00
270	Shared FC Assignment	各 LPAR に対して共有モードの FC アダプタの割り当てを行います	V02-00
271	Allocated FC Information	実装されている FC アダプタの構成情報を表示します	V02-00
272	System Configuration	HVM システムの構成設定を行います	V02-00
273	System Service State	HVM システムのサービス状態を示します	V02-00
274	HVM Options	HVM オプション機能を設定します	V02-00
275	HVM System Logs	HVM で発生した様々なイベントを表示します	V02-00
276	Firmware Version Information	各コンポーネントのファームウェアバージョンを表示します	V02-00
277	Boot Setting	各 LPAR の Boot 設定を行います。	V02-01
278	Activate LPAR ボタン	Active LPAR ウィンドウを開く	V02-00
279	Active LPAR ウィンドウ		V02-00
280	LPAR Select フレーム		V02-00
281	選択可能 LPAR 一覧	選択 (Activate) 可能な LPAR 一覧から Activate する LPAR を選択する	V02-00
282	OK ボタン	HVM Configuration ウィンドウを開く	V02-00
283	HVM Configuration ウィンドウ		V02-00
284	OK ボタン	LPAR を Activate し、本ウィンドウを閉じる	V02-00
285	Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる	V02-00
286	Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる	V02-00
287	Deactivate LPAR ボタン	Deactive LPAR ウィンドウを開く	V02-00

288		Deactive LPAR ウィンドウ	V02-00
289		LPAR Select フレーム	V02-00
290		選択可能 LPAR 一覧	選択 (Deactivate) 可能な LPAR 一覧から Deactivate する LPAR を選択する
291		OK ボタン	HVM Configuration ウィンドウを開く
292		HVM Configuration ウィンドウ	V02-00
293		OK ボタン	LPAR を Deactivate し、本ウィンドウを閉じる
294		Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる
295		Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる
296		Reactive LPAR ボタン	Reactive LPAR ウィンドウを開く
297		Reactive LPAR ウィンドウ	V02-00
298		LPAR Select フレーム	V02-00
299		選択可能 LPAR 一覧	選択 (Reactive) 可能な LPAR 一覧から Reactive する LPAR を選択する
300		OK ボタン	HVM Configuration ウィンドウを開く
301		HVM Configuration ウィンドウ	V02-00
302		OK ボタン	LPAR を Reactive し、本ウィンドウを閉じる
303		Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる
304		Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる
305		Add LPAR ボタン	Add LPAR ウィンドウを開く
306		Add LPAR ウィンドウ	V02-00
307		LPAR Select フレーム	V02-00
308		選択可能 LPAR 一覧	選択 (定義) 可能な LPAR 一覧から定義する LPAR を選択する
309		OK ボタン	HVM Configuration ウィンドウを開く
310		HVM Configuration ウィンドウ	V02-00
311		OK ボタン	LPAR を定義し、本ウィンドウを閉じる
312		Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる
313		Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる
314		Remove LPAR ボタン	Remove LPAR ウィンドウを開く
315		Remove LPAR ウィンドウ	V02-00
316		LPAR Select フレーム	V02-00
317		選択可能 LPAR 一覧	選択 (削除) 可能な LPAR 一覧から削除する LPAR を選択する
318		OK ボタン	HVM Configuration ウィンドウを開く
319		HVM Configuration ウィンドウ	V02-00
320		OK ボタン	LPAR を削除し、本ウィンドウを閉じる
321		Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる
322		Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる
323		Screen ボタン	LPAR Screen ウィンドウを開く

324	LPAR Screen ウィンドウ		V02-00
325	LPAR Select フレーム		V02-00
326	選択可能 LPAR 一覧	選択 (LPAR Screen 表示) 可能な LPAR 一覧から LPAR Screen に表示する LPAR を選択する	V02-00
327	OK ボタン	LPAR Screen を開く	V02-00
328	Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる	V02-00
329	Remote KVM ボタン	R-KVM Console に接続するための入力ウィンドウを開く	V02-00
330	Save Config ボタン	Save Configuration ウィンドウを開く	V02-00
331	Save Configuration ウィンドウ		V02-00
332	OK ボタン	HVM 構成情報を保存し、本ウィンドウを閉じ、Save Configuration Finish ウィンドウを開く	V02-00
333	Save Configuration Finish ウィンドウ		V02-00
334	OK ボタン	本ウィンドウを閉じる	V02-00
335	Cancel ボタン	HVM 構成情報の保存を中断し、本ウィンドウを閉じる	V02-00
336	Logical Partition Configuration スクリーン		V02-00
337	Logical Partition Configuration メニュー		V02-00
338	#	LPAR 番号を表示する	V02-00
339	Name	LPAR 名称を表示・変更する	V02-00
340	Status	LPAR のステータスを表示する	V02-00
341	Schedule	スケジューリングモードを表示・変更する	V02-00
342	Proc	LPAR に割り当てる論理プロセッサ数を表示・変更する	V02-00
343	Group#	プロセッサグループ番号を表示・変更する	V02-00
344	Service Ratio	LPAR が物理プロセッサを使用する時間 (サービス時間) の相対的な配分を 1 ~ 999 の範囲の値で表示・変更する	V02-00
345	Memory	The Memory Size ウィンドウを開く	V02-00
346	The Memory Size ウィンドウ		V02-00
347	The memory size in MB メニュー		V02-00
348	+1024 ボタン	メモリ容量の設定を 1024MB 単位で増やす	V02-00
349	+256 ボタン	メモリ容量の設定を 256MB 単位で増やす	V02-00
350	-256 ボタン	メモリ容量の設定を 256MB 単位で減らす	V02-00
351	-1024 ボタン	メモリ容量の設定を 1024MB 単位で減らす	V02-00
352	memory size in MB	変更中のメモリ容量を表示する	V02-00
353	Input the memory size in GB メニュー		V02-00
354	memory size in GB	メモリ容量の設定を 1GB 単位で増減する	V02-00
355	Information メニュー		V02-00
356	Maximum Size	LPAR に割り当てられているメモリの総量を表示する	V02-00
357	Effective Max	LPAR が使用できるメモリの残容量を MB 単位で表示する	V02-00
358	Allocate Status	変更中のメモリ容量で LPAR が Activate 可能であることを表示する	V02-00

359		OK ボタン	変更したメモリ容量を反映し、本ウインドウを閉じる	V02-00
360		Cancel ボタン	本ウインドウを閉じる	V02-00
361		VNIC Count	LPAR に割り当てられた仮想 NIC 数を表示する	V02-00
362		Idle Detection	論理プロセッサのアイドル状態を検出する機能の有効/無効を表示・変更する	V02-00
363		Auto Act	HVM 起動時の LPAR 自動 Activate 設定を表示・変更する	V02-00
364		Auto Clear SEL	論理 SEL の自動クリア機能の有効/無効を表示・変更する	V02-00
365		Proc Capping	プロセッサキャッピング機能の有効/無効を表示・変更する	V02-00
366		Virtual Console	仮想 COM コンソール機能の有効/無効、または VC 番号表示・変更する	V02-00
367		Pre-Boot Firmware	Pre-boot ファームウェアを表示する	V02-00
368		Logical Information メニュー		V02-00
369		Assign Total	LPAR に割り当てられている各資源総量を表示する	V02-00
370		Act Total	LPAR が使用している (Activate 状態) の各資源総量を表示する	V02-00
371		Remain	LPAR が使用できるメモリの残容量を MB 単位で表示する	V02-00
372		Physical Information メニュー		V02-00
373		User Memory	LPAR に割り当てできるメモリの総量を MB 単位で表示する	V02-00
374		Processors	物理プロセッサの総数を表示する	V02-00
375		Shared	共有モードの物理プロセッサの総数を表示する	V02-00
376		Dedicate	占有モードの物理プロセッサの総数を表示する	V02-00
377		Memory Allocate ボタン	Memory Allocation Display ウインドウを開く	V02-00
378		Memory Allocation Display ウインドウ		V02-00
379		Memory Allocation Display フレーム		V02-00
380		メモリ使用状況一覧	メモリの使用状況を表示する	V02-00
381		Activate LPAR ボタン	Menu スクリーンの「Activate LPAR ボタン」の説明を参照ください	V02-00
382		Deactivate LPAR ボタン	Menu スクリーンの「Deactivate LPAR ボタン」の説明を参照ください	V02-00
383		Reactivate LPAR ボタン	Menu スクリーンの「Reactivate LPAR ボタン」の説明を参照ください	V02-00
384		Add LPAR ボタン	Menu スクリーンの「Add LPAR ボタン」の説明を参照ください	V02-00
385		Remove LPAR ボタン	Menu スクリーンの「Remove LPAR ボタン」の説明を参照ください	V02-00
386		Screen ボタン	Menu スクリーンの「Screen ボタン」の説明を参照ください	V02-00
387		Remote KVM ボタン	Menu スクリーンの「Remote KVM ボタン」の説明を参照ください	V02-00
388		Cancel ボタン	HVM Configuration ウインドウを開く	V02-00

389		HVM Configuration ウィンドウ	V02-00
390		OK ボタン	本スクリーンでの変更を無効にし、本ウィンドウを閉じる
391		Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる
392		Commit ボタン	HVM Configuration ウィンドウを開く
393		HVM Configuration ウィンドウ	V02-00
394		OK ボタン	本スクリーンでの変更を有効にし、本ウィンドウを閉じる
395		Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる
396		Save Config ボタン	Menu スクリーンの「Save Config ボタン」の説明を参照ください
397		Logical Processor Configuration スクリーン	V02-00
398		Logical Processor Configuration メニュー	V02-00
399		View Data メニュー	Logical Processor Configuration メニューの表示方法を選択する
400		#	LPAR 番号を表示する
401		Name	LPAR 名称を表示する
402		Status	LPAR のステータスを表示する
403		Schedule	スケジューリングモードを表示する
404		Proc	LPAR に割り当てた論理プロセッサ数を表示する
405		Group#	プロセッサグループ番号を表示する
406		Logical Processor Number	各 LPAR に割り当てる論理プロセッサを表示・変更する
407		Cancel ボタン	Logical Partition Configuration スクリーンの「Cancel ボタン」の説明を参照ください
408		Commit ボタン	Logical Partition Configuration スクリーンの「Commit ボタン」の説明を参照ください
409		Save Config ボタン	Menu スクリーンの「Save Config ボタン」の説明を参照ください
410		Physical Processor Configuration スクリーン	V02-00
411		Physical Processor Configuration メニュー	V02-00
412		Proc#	物理プロセッサ番号を表示する
413		Blade#	物理プロセッサが搭載されているサーバブレード番号を表示する
414		Socket#	サーバブレード内のソケット番号を表示する
415		Core#	コア番号を表示する
416		Thread#	スレッド番号を表示する
417		Core State	コアのステータスを表示する
418		Proc State	物理プロセッサのステータスを表示する
419		Group#	プロセッサグループ番号を表示・変更する
420		Schedule	当該物理プロセッサのスケジューリングモードを表示する
421		Freq (GHz)	物理プロセッサの現在の動作周波数を表示する

422	Processor Group Configuration メニュー		V02-00
423	Group#	プロセッサグループ番号を表示する	V02-00
424	Group Name	プロセッサグループ名称を表示・変更する	V02-00
425	Total Core	コア数の総数を表示する	V02-00
426	Shared Core	共有モードのコア数を表示する	V02-00
427	Dedicate Core	占有モードのコア数を表示する	V02-00
428	Add Group ボタン	Add Processor Group ウィンドウを開く	V02-00
429	Add Processor Group ウィンドウ		V02-00
430	Group Number Select フレーム		V02-00
431	選択可能 Processor Group 一覧	選択(定義)可能な Processor Group 一覧から定義する Processor Group を選択する	V02-00
432	OK ボタン	HVM Configuration ウィンドウを開く	V02-00
433	HVM Configuration ウィンドウ		V02-00
434	OK ボタン	Processor Group を定義し、本ウィンドウを閉じる	V02-00
435	Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる	V02-00
436	Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる	V02-00
437	Remove Group ボタン	Remove Processor Group ウィンドウを開く	V02-00
438	Remove Processor Group ウィンドウ		V02-00
439	Group Number Select フレーム		V02-00
440	選択可能 Processor Group 一覧	選択(削除)可能な Processor Group 一覧から定義する Processor Group を選択する	V02-00
441	OK ボタン	HVM Configuration ウィンドウを開く	V02-00
442	HVM Configuration ウィンドウ		V02-00
443	OK ボタン	Processor Group を削除し、本ウィンドウを閉じる	V02-00
444	Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる	V02-00
445	Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる	V02-00
446	Cancel ボタン	Logical Partition Configuration スクリーンの「Cancel ボタン」の説明を参照ください	V02-00
447	Commit ボタン	Logical Partition Configuration スクリーンの「Commit ボタン」の説明を参照ください	V02-00
448	Save Config ボタン	Menu スクリーンの「Save Config ボタン」の説明を参照 ください	V02-00

449	PCI Device Information スクリーン		V02-00
450	PCI Device Information メニュー		V02-00
451	PCI#	PCI デバイスを識別するためにHVMが付加した番号を表示する	V02-00
452	Slot#	当該 PCI デバイスが搭載されているスロット番号を表示する	V02-00
453	LPAR#	当該 PCI デバイスが割り当てられている LPAR 番号、または割り当て状況を表示する	V02-00
454	Shared NIC#	当該 PCI デバイスが共有 NIC である場合、共有 NIC 番号を表示する	V02-00
455	Device Type	当該 PCI デバイスの種類を表示する	V02-00
456	Device Name	当該 PCI デバイスの名称を表示する	V02-00
457	Vendor	当該 PCI デバイスのベンダ名称を表示する	V02-00
458	Mapping Info ボタン	PCI Device Mapping Information ウィンドウを開く	V02-02
459	PCI Device Mapping Information ウィンドウ		V02-02
460	Select LPAR [Multiple Selection]メニュー		V02-02
461	#	LPAR 番号を表示する	V02-02
462	Name	LPAR 名称を表示する	V02-02
463	Status	LPAR のステータスを表示する	V02-02
464	PCI Device Mapping Information		V02-02
465	<->ボタン	Host PciConfig と LPAR PciConfig の表示を入れ替える	V02-02
466	#	LPAR 番号を表示する	V02-02
467	Device Type	当該 PCI デバイスの種類を表示する	V02-02
468	Schedule	当該 PCI デバイスのスケジューリングモードを表示する	V02-02
469	ID	物理 PCI デバイスのスケジューリングモードが共有モードの場合、その LPAR が使用している ID を表示する 当該 PCI デバイスが共有 NIC である場合、共有 NIC のネットワークセグメントの識別子を表示する 仮想 NIC である場合、仮想 NIC のネットワークセグメントの識別子を表示する 共有 FC である場合、vfcID を表示する	V02-02
470	Slot#	【Host PciConfig】 物理 PCI デバイスの物理搭載位置を表示する 【LPAR PciConfig】 論理 PCI デバイスの搭載位置を表示する	V02-02
471	PCI Config Address	【Host PciConfig】 物理 PCI デバイス、および仮想 NIC の PCI コンフィグアドレスを表示する 【LPAR PciConfig】 LPAR 上で見える論理 PCI デバイスの PCI コンフィグアドレスを表示する	V02-02
472	Matching	物理 PCI デバイスまたは仮想 NIC の PCI コンフィグアドレスと、LPAR 上で見える論理 PCI デバイスの PCI コンフィグアドレスが一致している場合は「Match」を、一致していない場合は「UnMatch」を表示します。	V02-02

473	Save Config ボタン	Menu スクリーンの「Save Config ボタン」の説明を参照ください	V02-00
474	PCI Device Assignment スクリーン		V02-00
475	PCI Device Assignment メニュー		V02-00
476	#	LPAR 番号を表示する	V02-00
477	Name	LPAR 名称を表示する	V02-00
478	Status	LPAR のステータスを表示する	V02-00
479	PCI#	PCI デバイスを識別するためにHVMが付加した番号を表示する	V02-00
480	Type	PCI デバイスの種類を表示する	V02-00
481	Schedule	PCI デバイスのスケジューリングモードを表示・変更する	V02-00
482	PCI Device Assignment	各 LPAR に PCI デバイスの割り当てを表示・変更する	V02-00
483	Selected PCI Device Information メニュー		V02-00
484	PCI#	PCI デバイスを識別するためにHVMが付加した番号を表示する	V02-00
485	Slot#	スロット番号を表示する	V02-00
486	Bus#	PCI コンフィギュレーション空間のバス番号を表示する	V02-00
487	Dev#	PCI コンフィギュレーション空間のデバイス番号を表示する	V02-00
488	Func#	PCI コンフィギュレーション空間のファンクション番号を表示する	V02-00
489	Device Name	デバイス名称を表示する	V02-00
490	Vendor	ベンダ名称を表示する	V02-00
491	Attach/Detach ボタン	USB Attach/Detach ウィンドウを開く	V02-00
492	USB Attach/Detach ウィンドウ		V02-00
493	OK ボタン	USB Attach/Detach を実施し、本ウィンドウを閉じる	V02-00
494	Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる	V02-00
495	Cancel ボタン	Logical Partition Configuration スクリーンの「Cancel ボタン」の説明を参照ください	V02-00
496	Commit ボタン	Logical Partition Configuration スクリーンの「Commit ボタン」の説明を参照ください	V02-00
497	Save Config ボタン	Menu スクリーンの「Save Config ボタン」の説明を参照ください	V02-00
498	VNIC Assignment スクリーン		V02-00
499	VNIC Assignment メニュー		V02-00
500	Assign Mode メニュー	NIC の割り当て方式を選択する	V02-02
501	#	LPAR 番号を表示する	V02-00
502	Name	LPAR 名称を表示する	V02-00
503	Status	LPAR のステータスを表示する	V02-00
504	Total	LPAR に割り当てられた仮想 NIC の総数を表示する	V02-00
505	Virtual NIC Number	各 LPAR に対して仮想 NIC の割り当てを表示・変更する	V02-00

506		Virtual NIC Setting メニュー	V02-00
507	#	LPAR 番号を表示する	V02-00
508	Name	LPAR 名称を表示する	V02-00
509	VNIC#	仮想 NIC 番号を表示する	V02-00
510	MAC Address	当該仮想 NIC の MAC アドレスを表示する	V02-00
511	Segment	当該仮想 NIC の割り当てを表示する	V02-00
512	Shared NIC#	当該仮想 NIC に対応する共有 NIC 番号を表示する	V02-00
513	VLAN Mode	当該仮想 NIC の VLAN モードを表示・変更する	V02-00
514	VLANID	定義されている VLAN ID を表示・変更する	V02-00
515	Promiscuous Mode	プロミスキャスモードを表示・変更する	V02-00
516	Packet Filter	当該仮想 NIC の LPAR 間通信パケットフィルタを表示・変更する	V02-00
517	Cancel ボタン	Logical Partition Configuration スクリーンの「Cancel ボタン」の説明を参照ください	V02-00
518	Commit ボタン	Logical Partition Configuration スクリーンの「Commit ボタン」の説明を参照ください	V02-00
519	Save Config ボタン	Menu スクリーンの「Save Config ボタン」の説明を参照ください	V02-00
520		Shared FC Assignment スクリーン	V02-00
521		Shared FC Assignment メニュー	V02-00
522	#	LPAR 番号を表示する	V02-00
523	Name	LPAR 名称を表示する	V02-00
524	Status	LPAR のステータスを表示する	V02-00
525	Shared FC#	共有 FC 番号を表示する	V02-00
526	Slot#	FC が挿入されている PCI スロット番号を表示する	V02-00
527	Port#	共有 FC のポート番号を表示する	V02-00
528	Status	共有 FC ポートの状態を表示する	V02-00
529	Shared FC Assignment	各 LPAR に対して共有 FC ポートの割り当てを表示・変更する 共有 FC ポートの割り当ては、カーソルで選択した共有 FC ポートに対して、vfcID を設定する	V02-00
530		Shared Virtual FC Port WWN Information / Boot Function Setting メニュー	V02-00
531	Shared FC#	共有 FC 番号を表示する	V02-00
532	#	LPAR 番号を表示する	V02-00
533	Name	LPAR 名称を表示する	V02-00
534	vfcID	当該共有 FC に設定されている vfcWWN-ID を表示する	V02-00
535	WWPN	当該共有 FC の WWPN を表示する	V02-00
536	WNNN	当該共有 FC の WNNN を表示する	V02-00
537	Boot Function	当該共有 FC の Boot Function を表示・変更する	V02-01

538	Cancel ボタン	Logical Partition Configuration スクリーンの「Cancel ボタン」の説明を参照ください	V02-00
539	Commit ボタン	Logical Partition Configuration スクリーンの「Commit ボタン」の説明を参照ください	V02-00
540	Save Config ボタン	Menu スクリーンの「Save Config ボタン」の説明を参照ください	V02-00
541	Allocated FC Information スクリーン		V02-00
542	Allocated FC Information メニュー		V02-00
543	vfc Seed info.	WWN 生成に使用している Vfc シード情報を表示する	V02-00
544	#	LPAR 番号を表示する	V02-00
545	Slot#	FC が挿入されている物理 Slot 番号を表示する	V02-00
546	Port#	FC の Port 番号を表示する	V02-00
547	Schedule	FC のスケジューリングモードを表示する	V02-00
548	vfcID	割り当て FC が共有モードの場合は、設定されている vfcWWNID を表示する	V02-00
549	WWPN	FC の World Wide Port Name を表示する	V02-00
550	WWNN	FC の World Wide Node Name を表示する	V02-00
551	Save Config ボタン	Menu スクリーンの「Save Config ボタン」の説明を参照ください	V02-00
552	System Configuration スクリーン		V02-00
553	System Configuration メニュー		V02-00
554	HVM メニュー		V02-00
555	HVM ID	HVM を識別する ID を表示・変更する	V02-00
556	HVM IP Address	HVM IP Address を表示・変更する	V02-00
557	Subnet Mask	サブネットマスクを表示・変更する	V02-00
558	Default Gateway	Default Gateway の IP Address を表示・変更する	V02-00
559	Management Path	管理パスに使用する NIC の PCI デバイス番号を表示・変更する	V02-00
560	VNIC System No.	仮想 NIC の MAC アドレスの一部として使用する値(すべての HVM システムと重複しない値)を表示・設定する	V02-00
561	Alert Language	HVM のアラートメッセージの言語を表示・設定する	V02-00
562	Virtual Console Port	LPAR ゲストコンソールに Telnet 接続する TCP ポートを表示・設定する	V02-00
563	Hvm Operating Mode	HVM 動作モードを表示・変更する	V02-02
564	BSM メニュー		V02-00
565	BSMx IP Address	JP1/ServerConductor/Blade Server Manager (BSM) IP Address を表示・変更する	V02-00
566	BSMx Alert Port	JP1/ServerConductor/Blade Server Manager (BSM) Alert Port を表示・変更する	V02-00

567		HVM CLI メニュー		V02-01
568		HVM CLIx IP Address	HVM CLI IP Address を表示・変更する	V02-01
569		Cancel ボタン	Logical Partition Configuration スクリーンの「Cancel ボタン」の説明を参照ください	V02-00
570		Commit ボタン	Logical Partition Configuration スクリーンの「Commit ボタン」の説明を参照ください	V02-00
571		Save Config ボタン	Menu スクリーンの「Save Config ボタン」の説明を参照ください	V02-00
572		System Service State スクリーン		V02-00
573		System Service State メニュー		V02-00
574		System Service メニュー		V02-00
575		SVP Access	SerVice Processor (SVP) アクセスの状態を表示する	V02-00
576		BMC Access	JP1/ServerConductor/Blade Server Manager (BSM) アクセスの状態を表示する	V02-00
577		HA Monitor	HA Monitor の状態を表示する	V02-00
578		NTP	NTP の状態を表示する	V02-02
579		Hardware Component メニュー		V02-00
580		BMC	物理 Baseboard Management Controller (BMC) の状態を表示する	V02-00
581		Internal Path State メニュー		V02-00
582		Connect	内部バスの状態を表示する	V02-00
583		Service State List		V02-02
584		Split Style メニュー	Virtual LAN Segment State メニューと Shared PCI Device Port State メニューの整列形式を指定する	V02-02
585		View Style メニュー	Virtual LAN Segment State メニューと Shared PCI Device Port State メニューの表示形式を指定する	V02-02
586		Virtual LAN Segment State メニュー		V02-00
587		Port#/NIC#	ポート番号 (a、b、c、d)、NIC 番号 (V、1 ~ 6) を表示する	V02-00
588		Virtual LAN Segment State	仮想 LAN セグメントの状態を表示する	V02-00
589		Shared PCI Device Port State メニュー		V02-00
590		Type	PCI Device Assignment スクリーンでスケジューリングモードが共有になっている PCI デバイスの種類を表示する	V02-00
591		NIC#	Type が N の場合、共有 NIC 番号 (1~6) を表示する	V02-00
592		Port#/Slot#	ポート番号 (0、1、2、3)、スロット番号を表示する	V02-00
593		Shared PCI Device Port State	PCI Device Assignment スクリーンでスケジューリングモードが共有になっている PCI デバイスの状態を表示する	V02-00
594		Force Recovery ボタン	Force Recovery ウィンドウを開く	V02-00
595		Force Recovery ウィンドウ		V02-00
596		OK ボタン	強制リカバリを実施し、本ウィンドウを閉じる	V02-00
597		Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる	V02-00

598	HVM Shutdown ボタン	HVM Shutdown ウィンドウを開く	V02-00
599	HVM Shutdown ウィンドウ		V02-00
600	OK ボタン	HVM を Shutdown し、HVM Shutdown Finish ウィンドウを開く	V02-00
601	HVM Shutdown Finish ウィンドウ		V02-00
602	OK ボタン	本ウィンドウを閉じる	V02-00
603	Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる	V02-00
604	HVM Reboot ボタン	HVM Reboot ウィンドウを開く	V02-02
605	HVM Reboot ウィンドウ		V02-02
606	OK ボタン	HVM を再起動し、本ウィンドウを閉じる	V02-02
607	Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる	V02-02
608	Save Config ボタン	Menu スクリーンの「Save Config ボタン」の説明を参照ください	V02-00
609	HVM Options スクリーン		V02-00
610	HVM Options メニュー		V02-00
611	Pre-State Auto Activation	HVM システムのシャットダウンを行わないでHVMが再起動した場合に、LPAR を再起動前と同じ状態に復帰させるかどうかを表示・設定する	V02-00
612	HVM Auto Shutdown	すべてのLPAR が Deactivate 状態になったとき、HVM システムのシャットダウンを行うかどうかを表示・設定する	V02-00
613	Shutdown State	HVM システムのシャットダウン状態を表示する	V02-00
614	HVM Error Watching	HVM 自身のハングアップ状態を検出するかを表示・設定する	V02-00
615	Clear NVRAM ボタン	Clear NVRAM ウィンドウを開く	V02-00
616	Clear NVRAM ウィンドウ		V02-00
617	LPAR Select フレーム		V02-00
618	選択可能 LPAR 一覧	選択 (NVRAM の初期化) 可能な LPAR 一覧から定義する LPAR を選択する	V02-00
619	OK ボタン	HVM Configuration ウィンドウを開く	V02-00
620	HVM Configuration ウィンドウ		V02-00
621	OK ボタン	NVRAM を初期化し、本ウィンドウを閉じる	V02-00
622	Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる	V02-00
623	Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる	V02-00
624	HVM Dump ボタン	HVM Configuration ウィンドウを開く	V02-00
625	HVM Configuration ウィンドウ		V02-00
626	OK ボタン	HVM Dump を採取し、本ウィンドウを閉じる	V02-00
627	Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる	V02-00
628	Cancel ボタン	Logical Partition Configuration スクリーンの「Cancel ボタン」の説明を参照ください	V02-00
629	Commit ボタン	Logical Partition Configuration スクリーンの「Commit ボタン」の説明を参照ください	V02-00
630	Save Config ボタン	Menu スクリーンの「Save Config ボタン」の説明を参照ください	V02-00

631	HVM System Logs スクリーン		V02-00
632	HVM System Logs メニュー		V02-00
633	チェックボックス	複数項目ソートの有効/無効を設定する	V02-01
634	MultiSort	複数項目ソートの有効/無効を設定する	V02-01
635	SysLog Update ボタン	HVM システムログを更新する	V02-00
636	チェックボックス	表示する HVM システムログのレベルを表示・設定する	V02-00
637	Error	障害レベルの HVM システムログを表示する	V02-00
638	Warning	警告レベルの HVM システムログを表示する	V02-00
639	Info	情報レベルの HVM システムログを表示する	V02-00
640	Level	当該 HVM システムログのレベルを表示する	V02-00
641	Date	当該 HVM システムログが採取された日付を表示する	V02-00
642	Time	当該 HVM システムログが採取された時刻を表示する	V02-00
643	Event	当該 HVM システムログのイベントを表示する	V02-00
644	Detail	当該 HVM システムログのイベントの詳細情報を表示する	V02-00
645	Save Config ボタン	Menu スクリーンの「Save Config ボタン」の説明を参照ください	V02-00
646	Firmware Version Information スクリーン		V02-00
647	Firmware Version Information メニュー		V02-00
648	System Firmware メニュー		V02-00
649	HVM Firmware (Act)	HVM ファームウェアバージョンと HVM ファームウェアの内部バージョンを表示する	V02-00
650	HVM Firmware (Alt)	代替側の HVM ファームウェアバージョンを表示する	V02-00
651	BIOS	BIOS ファームウェアバージョンを表示する	V02-00
652	BMC	BMC ファームウェアバージョンを表示する	V02-00
653	HVM License Information メニュー		V02-00
654	HVM Model	HVM モデルを表示する	V02-00
655	HVM Serial No.	HVM シリアル番号を表示する	V02-00
656	Valid Through	HVM ライセンスの有効期限を表示する	V02-00
657	Hitachi Fibre Channel Firmware		V02-00
658	Firmware Version	当該スロット番号の FC 拡張カードのファームウェアバージョンを表示する	V02-00
659	Save Config ボタン	Menu スクリーンの「Save Config ボタン」の説明を参照ください	V02-00

660	Boot Setting スクリーン		V02-01
661	コンボボックス	ブート設定対象の LPAR を選択する	V02-01
662	Boot Order Update ボタン	ブートオーダーを更新する	V02-01
663	Boot Order	設定済みブートデバイスのリストを表示する	V02-01
664	↑ ボタン	ブートデバイスの優先順位を上げる	V02-01
665	↓ ボタン	ブートデバイスの優先順位を下げる	V02-01
666	↑ Add ボタン	ブートデバイスリストに追加	V02-01
667	↓ Remove ボタン	ブートデバイスリストから削除	V02-01
668	Excluded Boot Order	未設定ブートデバイスのリストを表示する	V02-01
669	FC HBA Setting	ブートデバイスの HBA の Boot Enable を表示・更新する	V02-01
670	Detail Setting	ブートデバイスの HBA の詳細設定を表示・更新する	V02-01
671	Commit ボタン	Logical Partition Configuration スクリーンの「Commit ボタン」の説明を参照ください	V02-01
672	Save Config ボタン	Menu スクリーンの「Save Config ボタン」の説明を参照ください	V02-01
673	Related Console ウィンドウ		V02-00
674	コンボボックス	LPAR Make ウィンドウの「コンボボックス」の説明を参照ください	V02-00
675	HVM Information フレーム	LPAR Make ウィンドウの「HVM Information フレーム」の説明を参照ください	V02-00
676	Update(U) ボタン	LPAR Make ウィンドウの「Update ボタン」の説明を参照ください	V02-00
677	Set SVP Info ボタン	Set SVP Info ウィンドウを開く	V02-01
678	Set SVP Info ウィンドウ		V02-01
679	SVP IP Address テキストボックス	SVP IP Address を入力	V02-01
680	User ID テキストボックス	User ID を入力	V02-01
681	Password テキストボックス	Password を入力	V02-01
682	OK ボタン	入力内容を反映して Set SVP Info ウィンドウを閉じる	V02-01
683	Cancel ボタン	入力内容を反映しないで Set SVP Info ウィンドウを閉じる	V02-01
684	Set BMC Info ボタン	Set BMC Info ウィンドウを開く	V02-01
685	Set BMC Info ウィンドウ		V02-01
686	BMC IP Address テキストボックス	BMC IP Address を入力	V02-01
687	User ID テキストボックス	User ID を入力	V02-01
688	Password テキストボックス	Password を入力	V02-01
689	OK ボタン	入力内容を反映して Set BMC Info ウィンドウを閉じる	V02-01
690	Cancel ボタン	入力内容を反映しないで Set BMC Info ウィンドウを閉じる	V02-01

691	Chassis Information メニュー		V02-00
692	Chassis ID	シャーシの ID を表示する	V02-00
693	Chassis Type	シャーシの種別を表示する	V02-00
694	Chassis S/N	シャーシのシリアル番号を表示する	V02-00
695	SVP Information メニュー		V02-00
696	SVP IP Address	SVP の IP アドレスを表示する	V02-00
697	User ID	SVP のユーザアカウントを表示する	V02-00
698	Update Time	SVP を更新した時間を表示する	V02-00
699	Partition Information メニュー		V02-00
700	Partition#	パーティション番号を表示する	V02-00
701	Blade S/N	パーティションのシリアル番号を表示する	V02-00
702	HVM Information メニュー		V02-00
703	HVM ID	HVM の ID を表示する	V02-00
704	HVM IP Address	HVM の IP アドレスを表示する	V02-00
705	F/W Version	HVM のファームウェアバージョンを表示する	V02-00
706	System Console (Web) ボタン	SVP の System Console (Web) を開く	V02-00
707	System Console (Telnet) ボタン	SVP の System Console (Telnet) を開く	V02-00
708	HVM Screen ボタン	HVM Console を開く	V02-00

5 モニタリング

※導入または表示位置/名称を変更した最終バージョンを示す

No.	操作, 表示対象	説明	導入/変更 Ver. (※)
1	Main ウィンドウ (Monitoring タブ)		V01-00
2	HVM List フレーム	モニタリングのステータスを表示 Total: モニタリング機能を利用できる HVM 数を表示 Run: モニタリング中の HVM 数を表示 Stop: モニタリングを停止している HVM 数を表示 Fail: モニタリングに失敗している HVM 数を表示 Error: モニタリングのエラー停止中の HVM 数を表示	V02-02
3	チェックボックス	【チェックをつける】 複数 HVM 操作ボタンの操作対象になる 複数 HVM 操作ボタンは、以下のフレームに含まれるボタン (1) List Operation フレーム (2) Monitor Action フレーム (3) Graph Viewer フレーム (ただし、Use BackUp ボタンを除く) ※ヘッダのチェックボックスにチェックをつけると、すべての HVM が操作対象になる 【チェックを外す】 複数 HVM 操作ボタンの操作対象から外れる ※ヘッダのチェックボックスからチェックを外すと、すべての HVM が操作対象から外れる	V01-00
4	HVM ID 列		
5	Interval (s) 列ボタン	Set Interval ウィンドウを開く	V01-00
6	Start Monitor 列 Start ボタン	モニタリングを開始	V01-00
7	Stop Monitor 列 Stop ボタン	モニタリングを停止	V01-00
8	Realtime View 列 View ボタン	CPU Realtime Viewer ウィンドウを開く	V02-00
9	History View 列 View ボタン	CPU History Viewer ウィンドウを開く	V02-00
10	Information 列 Information ボタン	Monitor Information ウィンドウを開く	V01-00
11	Log Manage 列 Log Manage ボタン	Monitor Log Management ウィンドウを開く	V01-00
12	Threshold 列 Threshold ボタン	Monitor Threshold Management ウィンドウを開く	V01-00
13	List Operation フレーム	本フレーム内のボタンはチェックのついたすべての HVM に適用	V01-00
14	Set Interval ボタン	Set Interval ウィンドウを開く	V01-00
15	Log Manage ボタン	Monitor Log Management ウィンドウを開く	V01-00
16	Threshold ボタン	Monitor Threshold Management ウィンドウを開く	V01-00

17	Monitor Action フレーム	本フレーム内のボタンはチェックのついたすべての HVM に適用	V01-00
18	Start ボタン	サブウィンドウ (Monitor Start ウィンドウ) を開く	V01-00
19	Monitor Start ウィンドウ		V01-00
20	リスト	モニタリング開始対象の HVM を表示	V01-00
21	OK ボタン	リスト表示した HVM のモニタリングを開始し、本ウィンドウを閉じる	V01-00
22	Cancel ボタン	リスト表示した HVM のモニタリングの開始を取り止め、本ウィンドウを閉じる	V01-00
23	Stop ボタン	サブウィンドウ (Monitor Stop ウィンドウ) を開く	V01-00
24	Monitor Stop ウィンドウ		V01-00
25	リスト	モニタリング停止対象の HVM を表示	V01-00
26	OK ボタン	リスト表示した HVM のモニタリングを停止し、本ウィンドウを閉じる	V01-00
27	Cancel ボタン	リスト表示した HVM のモニタリングの停止を取り止め、本ウィンドウを閉じる	V01-00
28	Graph Viewer フレーム	本フレーム内のボタンはチェックのついたすべての HVM に適用	V01-00
29	Realtime ボタン	【1つの HVM にチェックをつけている場合】 CPU Realtime Viewer ウィンドウを開く 【複数の HVM にチェックをつけている場合】 CPU Realtime Viewer [Multi] ウィンドウを開く	V02-00
30	History ボタン	CPU History Viewer ウィンドウを開く	V02-00
31	Use Backup ボタン	サブウィンドウ (フォルダの参照ウィンドウ) を開く	V01-00
32	フォルダの参照ウィンドウ		V01-00
33	[本ウィンドウは Windows の標準機能に準拠]		V01-00
34	Set Interval ウィンドウ		V01-00
35	リスト	サンプリング間隔指定対象の HVM を表示	V01-00
36	Interval (1-300) テキストボックス	サンプリング間隔を入力 (単位: 秒) デフォルト設定は 10 秒	V01-00
37	OK ボタン	サンプリング間隔を入力値通りに設定し、本ウィンドウを閉じる	V01-00
38	Cancel ボタン	サンプリング間隔を設定せず、本ウィンドウを閉じる	V01-00
39	Monitor Information ウィンドウ		V01-00
40	HVM Information フレーム	HVM ID と HVM IP アドレスを表示	V01-00
41	Monitor Information フレーム	Status, Logging Start Time, および Logging Last Update を表示	V01-00
42	Last Error Message テキストボックス	最新のエラーメッセージを表示	V01-00
43	Refresh ボタン	Monitor Information フレーム内の表示を更新	V01-00
44	Close ボタン	本ウィンドウを閉じる	V01-00

45	CPU Realtime Viewer[HVM_ID : HVM_IP]ウィンドウ		V02-00
46	メニューリスト(Graph Style)		V01-00
47	Stack	積み上げグラフで表示(デフォルト)	V01-00
48	Line	折れ線グラフで表示	V01-00
49	Bar	棒グラフで表示	V01-01
50	メニューリスト(Graph Size)		V01-00
51	Auto Size	Logical CPU グラフでウィンドウサイズをチェックし、表示可能なサイズで自動表示(デフォルト)	V01-00
52	Fixed Size	Logical CPU グラフを固定サイズで表示	V01-00
53	Window Width	Logical CPU グラフの表示を表示領域の横幅サイズに合わせ、1行 1LPAR ずつ表示	V01-00
54	メニューリスト(Legend)		V01-00
55	ON	グラフ色の凡例表示を有効にする(デフォルト)	V01-00
56	OFF	グラフ色の凡例表示を無効にする	V01-00
57	メニューリスト(Data Change)	条件 1, 2 を満たす場合メニューリストに Data Change が加わる(条件 1, 2 については、表 5-1 モニタリング条件をご参照下さい)	V01-01
58	Normal	LPAR ごとにグラフ表示(デフォルト)	V01-00
59	Group	プロセスグループごとにグラフ表示	V01-01
60	メニューリスト(Insuff)	条件 1, 3 を満たす場合メニューリストに Insuff が加わる(条件 1, 3 については、表 5-1 モニタリング条件をご参照下さい)	V01-01
61	ON	CPU 不足率を表示	V01-00
62	OFF	CPU 不足率を非表示	V01-00
63	メニューリスト(Refresh Interval)		V01-00
64	1 sec	グラフ更新を 1 秒にする	V01-00
65	5 sec	グラフ更新を 5 秒にする(デフォルト)	V01-00
66	10 sec	グラフ更新を 10 秒にする	V01-00
67	HVM Information フレーム		V01-00
68	HVM ID	HVM ID を表示	V01-00
69	HVM IP	HVM IP アドレスを表示	V01-00
70	I/O View フレーム		V02-00
71	NIC ボタン	NIC Realtime Viewer ウィンドウを開く	V02-00
72	Physical CPU Summary グラフ		V01-00
73	メニューリスト(Graph Style)		V01-01
74	Stack	積み上げグラフで表示(デフォルト)	V01-00
75	Line	LPAR 毎に折れ線グラフで表示	V01-00
76	Bar	棒グラフで表示	V01-01
77	メニューリスト(Usage Rate)		V02-02
78	System Base	全物理 CPU 基準で表示(デフォルト)	V02-02
79	Resource Base (Graph Style が Bar の場合のみ)	CPU リソース基準で表示	V02-02
80	メニューリスト(Legend)		V01-00
81	ON	グラフ色の凡例表示を有効にする(デフォルト)	V01-00
82	OFF	グラフ色の凡例表示を無効にする	V01-00

83	メニューリスト (Insuff)	条件 1, 3 を満たす場合、メニューリストに Insuff が加わる (条件 1, 3 については、表 5-1 モニタリング条件をご参照下さい)	V01-01
84	ON	CPU 不足率を表示	V01-00
85	OFF	CPU 不足率を非表示	V01-01
86	メニューリスト (Scale)	Graph Style が Bar の場合のみ、メニューリストに Scale が加わる	V01-01
87	Auto	グラフの表示領域を閾値に合わせて変更する	V01-01
88	100	グラフの表示領域を 100 に変更する	V01-01
89	50	グラフの表示領域を 50 に変更する	V01-01
90	20	グラフの表示領域を 20 に変更する	V01-01
91	10	グラフの表示領域を 10 に変更する	V01-01
92	メニューリスト (LPAR Sort)	Graph Style が Bar の場合のみ、メニューリストに LPAR Sort が加わる	V01-01
93	OFF	ソートしないでグラフ表示	V01-01
94	All	全てのレジェンドが表示できるようグラフサイズを変更する (デフォルト)	V02-02
95	40	40 個のレジェンドが表示できるようグラフサイズを変更する	V02-02
96	20	20 個のレジェンドが表示できるようグラフサイズを変更する	V02-02
97	10	10 個のレジェンドが表示できるようグラフサイズを変更する	V02-02
98	ON	CPU 使用率が高い順にソートしてグラフ表示	V01-01
99	All	全てのレジェンドが表示できるようグラフサイズを変更する	V02-02
100	40	40 個のレジェンドが表示できるようグラフサイズを変更する	V02-02
101	20	20 個のレジェンドが表示できるようグラフサイズを変更する	V02-02
102	10	10 個のレジェンドが表示できるようグラフサイズを変更する	V02-02
103	Top	CPU 使用率が高い順に項目をグラフ表示	V02-02
104	40	40 個のレジェンドが表示できるようグラフサイズを変更する	V02-02
105	20	20 個のレジェンドが表示できるようグラフサイズを変更する	V02-02
106	10	10 個のレジェンドが表示できるようグラフサイズを変更する	V02-02
107	メニューリスト (Value)	Graph Style が Bar の場合のみ、メニューリストに Value が加わる	V01-01
108	ON	数値表示を有効にする(デフォルト)	V01-01
109	OFF	数値表示を無効にする	V01-01
110	グラフ	【右クリック】 コンテキストメニューを表示	V01-00
111	コンテキストメニュー		V01-00
112	Copy	クリップボードにグラフをコピー	V01-00
113	View Max/Ave	サブウィンドウ (View Max/Ave Data for Physical CPU Summary ウィンドウ) を表示	V01-00
114	View Raw Data	サブウィンドウ (View Raw Data for Physical CPU Summary ウィンドウ) を表示	V01-00
115	Each CPU	Each CPU Realtime Viewer [HVM_ID : HVM_IP] ウィンドウの表示 条件 1, 4 を満たす場合、コンテキストメニューに Each CPU が加わる (条件 1, 4 については、表 5-1 モニタリング条件をご参照下さい)	V02-02

116	Each CPU Realtime Viewer ウィンドウ		V02-02
117	メニューリスト (Legend)		V02-02
118	ON	グラフ色の凡例表示を有効にする(デフォルト)	V02-02
119	OFF	グラフ色の凡例表示を無効にする	V02-02
120	メニューリスト (Scale)		V02-02
121	100	グラフの表示領域を 100 に変更する(デフォルト)	V02-02
122	50	グラフの表示領域を 50 に変更する	V02-02
123	20	グラフの表示領域を 20 に変更する	V02-02
124	10	グラフの表示領域を 10 に変更する	V02-02
125	メニューリスト (Sort)		V02-02
126	OFF	ソートしないでグラフ表示(デフォルト)	V02-02
127	All	全てのレジェンドが表示できるようグラフサイズを変更する (デフォルト)	V02-02
128	80	80 個のレジェンドが表示できるようグラフサイズを変更する	V02-02
129	40	40 個のレジェンドが表示できるようグラフサイズを変更する	V02-02
130	20	20 個のレジェンドが表示できるようグラフサイズを変更する	V02-02
131	10	10 個のレジェンドが表示できるようグラフサイズを変更する	V02-02
132	ON	CPU 使用率が高い順にソートしてグラフ表示	V02-02
133	All	全てのレジェンドが表示できるようグラフサイズを変更する (デフォルト)	V02-02
134	80	80 個のレジェンドが表示できるようグラフサイズを変更する	V02-02
135	40	40 個のレジェンドが表示できるようグラフサイズを変更する	V02-02
136	20	20 個のレジェンドが表示できるようグラフサイズを変更する	V02-02
137	10	10 個のレジェンドが表示できるようグラフサイズを変更する	V02-02
138	Top	CPU 使用率が高い順に項目をグラフ表示	V02-02
139	80	80 個のレジェンドが表示できるようグラフサイズを変更する	V02-02
140	40	40 個のレジェンドが表示できるようグラフサイズを変更する	V02-02
141	20	20 個のレジェンドが表示できるようグラフサイズを変更する	V02-02
142	10	10 個のレジェンドが表示できるようグラフサイズを変更する	V02-02
143	メニューリスト (Value)		V02-02
144	ON	数値表示を有効にする(デフォルト)	V02-02
145	OFF	数値表示を無効にする	V02-02
146	グラフ	【右クリック】 コンテキストメニューを表示	V02-02
147	コンテキストメニュー		V02-02
148	Copy	クリップボードにグラフをコピー	V02-02
149	View Max/Ave	サブウィンドウ (View Max/Ave Data for Each CPU) を表示	V02-02
150	View Raw Data	サブウィンドウ (View Raw Data for Each CPU) を表示	V02-02
151	Reset Color	レジェンドの色をデフォルトに戻す	V02-02
152	レジェンド	色の設定ウィンドウの表示	V02-02
153	Reset Color	レジェンドの色をデフォルトに戻す	V02-02

154	レジェンド	色の設定ウインドウの表示	V02-02
155	色の設定ウインドウ		V02-02
156	[本ウインドウは Windows の標準機能に準拠]		V02-02
157	LPAR Select フレーム (メニューリストの Data Change で Normal が選択されている場合) /Group Select フレーム (メニューリストの Data Change で Group が選択されている場合)	【LPAR Select フレームが表示されている場合】 グラフ表示する LPAR を選択 【Group Select フレームが表示されている場合】 グラフ表示する Group を選択	V01-01
158	ALL チェックボックス	■メニューリストの Data Change で Normal が選択されている場合 【チェック】 すべての LPAR チェックボックスにチェックをつける 【チェックを外す】 すべての LPAR チェックボックスからチェックを外す ■メニューリストの Data Change で Group が選択されている場合 【チェック】 すべての Group チェックボックスにチェックをつける 【チェックを外す】 すべての Group チェックボックスからチェックを外す	V01-01
159	LPAR チェックボックス nn (nn=01~60) (メニューリストの Data Change で Normal が選択されている場合) /Group チェックボックス nn (nn=00~15) (メニューリストの Data Change で Group が選択されている場合)	【チェックあり】 グラフ表示 【チェックなし】 グラフ表示しない	V01-01
160	LPAR:nn[Logical CPU] グラフ		V01-00
161	メニューリスト(Graph Style)		V01-01
162	Stack	積み上げグラフで表示(デフォルト)	V01-00
163	Line	折れ線グラフで表示	V01-00
164	Bar	棒グラフで表示	V02-02
165	メニューリスト(Graph Size)		V01-00
166	Auto Size	ウインドウサイズをチェックし、表示可能なサイズで自動表示(デフォルト)	V01-00
167	Fixed Size	固定サイズで表示	V01-00
168	Window Width	グラフの表示を表示領域の横幅サイズに合わせ、1行1LPAR ずつ表示	V01-00

169	メニューリスト (Usage Rate)		V01-01
170	Resource Base	CPU リソース基準で表示(デフォルト)	V02-02
171	System Base	全物理 CPU 基準で表示	V01-00
172	Service Rate Base	サービス率基準で表示	V01-00
173	メニューリスト (Legend)		V01-00
174	ON	グラフ色の凡例表示を有効にする(デフォルト)	V01-00
175	OFF	グラフ色の凡例表示を無効にする	V01-00
176	メニューリスト (Insuff)		V01-01
	条件 1, 3 を満たす場合メニューリストに Insuff が加わる (条件 1, 3 については、表 5-1 モニタリング条件をご参照下さい)		
177	ON	CPU 不足率を表示	V01-00
178	OFF	CPU 不足率を非表示	V01-00
179	メニューリスト (Scale)		V02-02
	Graph Style が Bar の場合のみ、メニューリストに Scale が加わる		
180	100	グラフの表示領域を 100 に変更する	V02-02
181	50	グラフの表示領域を 50 に変更する	V02-02
182	20	グラフの表示領域を 20 に変更する	V02-02
183	10	グラフの表示領域を 10 に変更する	V02-02
184	メニューリスト (Value)		V02-02
	Graph Style が Bar の場合のみ、メニューリストに Value が加わる		
185	ON	数値表示を有効にする(デフォルト)	V02-02
186	OFF	数値表示を無効にする	V02-02
187	グラフ		V01-00
	【右クリック】 コンテキストメニューを表示		
188	コンテキストメニュー		V01-00
189	Copy	クリップボードにグラフをコピー	V01-00
190	View Max/Ave	サブウィンドウ (View Max/Ave Data for LPAR:nn[Logical CPU] ウィンドウ) を表示	V01-00
191	View Raw Data	サブウィンドウ (View Raw Data for LPAR:nn[Logical CPU] ウィンドウ) を表示	V01-00
192	Reset Color	レジェンドの色をデフォルトに戻す	V02-02
193	レジェンド		V02-02
	色の設定ウィンドウの表示		
194	色の設定ウィンドウ		V02-02
195	[本ウィンドウは Windows の標準機能に準拠]		V02-02

196	NIC Realtime Viewer[HVM_ID : HVM_IP]ウィンドウ		V02-00
197	メニューリスト(Graph Style)		V02-00
198	Stack	積み上げグラフで表示(デフォルト)	V02-00
199	Line	折れ線グラフで表示	V02-00
200	Bar	棒グラフで表示	V02-00
201	メニューリスト(Graph Size)		V02-00
202	Auto Size	NIC:xxx Port:n グラフ/LPAR:nn グラフでウィンドウサイズをチェックし、表示可能なサイズで自動表示(デフォルト)	V02-00
203	Fixed Size	NIC:xxx Port:n グラフ/LPAR:nn グラフを固定サイズで表示	V02-00
204	Window Width	NIC:xxx Port:n グラフ/LPAR:nn グラフの表示を表示領域の横幅サイズに合わせ、1行 1LPAR ずつ表示	V02-00
205	メニューリスト(Graph Data)		V02-00
206	NIC Port	NIC のポートごとに表示(デフォルト)	V02-00
207	LPAR	LPAR ごとに表示	V02-00
208	メニューリスト(Legend)		V02-00
209	ON	グラフ色の凡例表示を有効にする(デフォルト)	V02-00
210	OFF	グラフ色の凡例表示を無効にする	V02-00
211	メニューリスト(Usage)		V02-00
212	Usage (Mbps)	NIC の使用量を表示(デフォルト)	V02-00
213	Usage Rate (%)	NIC の使用率を表示	V02-00
214	メニューリスト(Refresh Interval)		V02-00
215	1 sec	グラフ更新を 1 秒にする	V02-00
216	5 sec	グラフ更新を 5 秒にする(デフォルト)	V02-00
217	10 sec	グラフ更新を 10 秒にする	V02-00
218	Physical NIC Summary グラフ		V02-00
219	メニューリスト(Graph Style)		V02-00
220	Stack	積み上げグラフで表示(デフォルト)	V02-00
221	Line	LPAR 毎に折れ線グラフで表示	V02-00
222	Bar	棒グラフで表示	V02-00
223	メニューリスト(Legend)		V02-00
224	ON	グラフ色の凡例表示を有効にする(デフォルト)	V02-00
225	OFF	グラフ色の凡例表示を無効にする	V02-00
226	メニューリスト(Value)		V02-00
		Graph Style が Bar の場合のみ、メニューリストに Value が加わる	
227	ON	数値表示を有効にする(デフォルト)	V02-00
228	OFF	数値表示を無効にする	V02-00
229	メニューリスト(Scale)		V02-00
		Graph Style が Bar の場合のみ、メニューリストに Scale が加わる(メニューリスト(Usage)が Usage (Mbps) 時)	
230	Total	グラフの表示領域をポート帯域の合計に変更する(デフォルト)	V02-00
231	Auto	グラフの表示領域を性能値に合わせて変更する	V02-00
232	10000 Mbps	グラフの表示領域を 10000Mbps に変更する	V02-00
233	1000 Mbps	グラフの表示領域を 1000Mbps に変更する	V02-00
234	100 Mbps	グラフの表示領域を 100Mbps に変更する	V02-00

235	メニューリスト (Scale)	Graph Style が Bar の場合のみ、メニューリストに Scale が加わる (メニューリスト (Usage) が Usage Rate (%) 時)	V02-00
236	100 %	グラフの表示領域を 100 %に変更する	V02-00
237	50 %	グラフの表示領域を 50 %に変更する	V02-00
238	20 %	グラフの表示領域を 20 %に変更する	V02-00
239	10 %	グラフの表示領域を 10 %に変更する	V02-00
240	メニューリスト (NIC Sort)	Graph Style が Bar の場合のみ、メニューリストに NIC Sort が加わる	V02-00
241	OFF	ソートしないでグラフ表示	V02-00
242	ON	NIC 使用率が高い順にソートしてグラフ表示	V02-00
243	Top 10	NIC 使用率が高い順に 10 項目をグラフ表示	V02-00
244	メニューリスト (Usage Rate)	Usage が Usage Rate (%) の場合のみ、メニューリストに Usage Rate が加わる	V02-00
245	Total Base	Physical NIC Summary グラフを HVM 全体基準で表示 (デフォルト)	V02-00
246	Port Base	Physical NIC Summary グラフを Port 基準で表示 (メニューリスト (Graph Style) が Line または Bar の場合に Port 基準で表示)	V02-00
247	グラフ	【右クリック】 コンテキストメニューを表示	V02-00
248	コンテキストメニュー		V02-00
249	Copy	クリップボードにグラフをコピー	V02-00
250	View Max/Ave	サブウィンドウ (View Max/Ave Data for Physical NIC Summary ウィンドウ) を表示	V02-00
251	View Raw Data	サブウィンドウ (View Raw Data for Physical NIC Summary ウィンドウ) を表示	V02-00
252	View Snap Data	サブウィンドウ (View Snap Data for Physical NIC Summary ウィンドウ) を表示	V02-00

253	NIC Port Select フレーム (メニューリストの Graph Data で NIC Port が選択されている場合) /LPAR Select フレーム (メニューリストの Graph Data で LPAR が選択されている場合)	【NIC Port Select フレームが表示されている場合】 グラフ表示する NIC Port を選択 【LPAR Select フレームが表示されている場合】 グラフ表示する LPAR を選択	V02-00
254	ALL チェックボックス	■メニューリストの Graph Data で NIC Port が選択されている場合 【チェック】 すべての NIC Port チェックボックスにチェックをつける 【チェックを外す】 すべての NIC Port チェックボックスからチェックを外す ■メニューリストの Graph Data で LPAR が選択されている場合 【チェック】 すべての LPAR チェックボックスにチェックをつける 【チェックを外す】 すべての LPAR チェックボックスからチェックを外す	V02-00
255	NIC Port チェックボックス (メニューリストの Graph Data で NIC Port が選択されている場合) /LPAR チェックボックス (メニューリストの Graph Data で LPAR が選択されている場合)	【チェックあり】 選択されているもののみグラフ表示 【チェックなし】 グラフ表示しない	V02-00
256	NIC:xxx Port:n グラフ/LPAR:nn グラフ		V02-00
257	メニューリスト(Graph Style)		V02-00
258	Stack	積み上げグラフで表示(デフォルト)	V02-00
259	Line	折れ線グラフで表示	V02-00
260	Bar	棒グラフで表示	V02-00
261	メニューリスト(Graph Size)		V02-00
262	Auto Size	ウインドウサイズをチェックし、表示可能なサイズで自動表示(デフォルト)	V02-00
263	Fixed Size	グラフを固定サイズで表示	V02-00
264	Window Width	Physical NIC Summary グラフと同じサイズで表示	V02-00
265	メニューリスト(Graph Data)		V02-00
266	NIC Port	NIC のポートごとに表示(デフォルト)	V02-00
267	LPAR	LPAR ごとに表示	V02-00
268	メニューリスト(Legend)		V02-00
269	ON	グラフ色の凡例表示を有効にする(デフォルト)	V02-00
270	OFF	グラフ色の凡例表示を無効にする	V02-00

271	メニューリスト (Scale)	Graph Style が Bar の場合のみ、メニューリストに Scale が加わる (メニューリスト (Usage) が Usage (Mbps) 時)	V02-00
272	Total	グラフの表示領域をポート帯域の合計に変更する (デフォルト)	V02-00
273	10000 Mbps	グラフの表示領域を 10000Mbps に変更する	V02-00
274	1000 Mbps	グラフの表示領域を 1000Mbps に変更する	V02-00
275	100 Mbps	グラフの表示領域を 100Mbps に変更する	V02-00
276	メニューリスト (Scale)	Graph Style が Bar の場合のみ、メニューリストに Scale が加わる (メニューリスト (Usage) が Usage Rate (%) 時)	V02-00
277	Total	グラフの表示領域をポート帯域の合計に変更する (デフォルト)	V02-00
278	100 %	グラフの表示領域を 100%に変更する	V02-00
279	50 %	グラフの表示領域を 50%に変更する	V02-00
280	20 %	グラフの表示領域を 20%に変更する	V02-00
281	10 %	グラフの表示領域を 10%に変更する	V02-00
282	コンテキストメニュー		V02-00
283	Copy	クリップボードにグラフをコピー	V02-00
284	View Max/Ave	サブウィンドウ (View Max/Ave Data for NIC:xxx Port:n/LPAR:nn ウィンドウ) を表示	V02-00
285	View Raw Data	サブウィンドウ (View Raw Data for NIC:xxx Port:n/LPAR:nn ウィンドウ) を表示	V02-00
286	View Snap Data	サブウィンドウ (View Snap Data for NIC:xxx Port:n/LPAR:nn ウィンドウ) を表示	V02-00

287	CPU History Viewer [HVM_ID : HVM_IP] ウィンドウ		V01-00
288	メニューリスト (File)		V01-01
289	Log Management	Monitor Log Management ウィンドウを開く	V01-00
290	メニューリスト (Graph Style)		V01-01
291	Stack	積み上げグラフで表示 (デフォルト)	V01-00
292	Line	LPAR 毎に折れ線グラフで表示	V01-00
293	メニューリスト (Graph Size)		V01-00
294	Auto Size	Logical CPU グラフでウィンドウサイズをチェックし、表示可能なサイズで自動表示 (デフォルト)	V01-00
295	Fixed Size	Logical CPU グラフを固定サイズで表示	V01-00
296	Window Width	Logical CPU グラフの表示を表示領域の横幅サイズに合わせ、1行 1LPAR ずつ表示	V01-00
297	メニューリスト (Data Change)	条件 1, 2 を満たす場合、メニューリストに Data Change が加わる (条件 1, 2 については、表 5-1 モニタリング条件をご参照下さい)	V01-01
298	Normal	LPAR ごとにグラフ表示 (デフォルト)	V01-00
299	Group	プロセッサグループごとにグラフ表示	V01-01
300	メニューリスト (Legend)		V01-00
301	ON	グラフ色の凡例表示を有効にする (デフォルト)	V01-00
302	OFF	グラフ色の凡例表示を無効にする	V01-00
303	メニューリスト (Insuff)	条件 1, 3 を満たす場合メニューリストに Insuff が加わる (条件 1, 3 については、表 5-1 モニタリング条件をご参照下さい)	V01-01
304	ON	CPU 不足率を表示	V01-00
305	OFF	CPU 不足率を非表示	V01-00
306	HVM Information フレーム		V01-00
307	HVM ID	HVM ID を表示	V01-00
308	HVM IP	HVM IP を表示	V01-00
309	I/O View フレーム		V02-00
310	NIC ボタン	NIC History Viewer ウィンドウを開く	V02-00
311	Scroll Zoom フレーム		V01-00
312	Reset ボタン	グラフのズーム表示を解除	V01-00
313	History Setting フレーム		V01-00
314	Specific ラジオボタン	Specific: コンボボックスを入力可能にする (デフォルト)	V01-00
315	Specific コンボボックス	表示する日付, 表示開始時刻, 表示時間を指定	V01-01
316	Span ラジオボタン	Span: コンボボックスを入力可能にする	V01-00
317	Span コンボボックス	表示する期間を指定	V01-00
318	GraphViewType フレーム		V01-00
319	Interval ラジオボタン	サンプリング間隔で表示 (1 日間まで表示可能)	V01-00
320	5Minutes ラジオボタン	5 分平均データで表示 (31 日間まで表示可能)	V01-00
321	1Hour ラジオボタン	1 時間平均データで表示 (デフォルト)	V01-00
322	User ラジオボタン	ユーザ指定時間平均データで表示	V01-00
323	Show ボタン	設定した内容でグラフを表示	V01-00

324	Physical CPU Summary グラフ		V01-00
325	メニューリスト (Graph Style)		V01-01
326	Stack	積み上げグラフで表示 (デフォルト)	V01-00
327	Line	LPAR 毎に折れ線グラフで表示	V01-00
328	メニューリスト (Usage Rate)		V02-02
329	System Base	全物理 CPU 基準で表示	V02-02
330	メニューリスト (Legend)		V01-00
331	ON	グラフ色の凡例表示を有効にする (デフォルト)	V01-00
332	OFF	グラフ色の凡例表示を無効にする	V01-00
333	メニューリスト (Insuff) 条件 1, 3 を満たす場合メニューリストに Insuff が加わる (条件 1, 3 については、表 5-1 モニタリング条件をご参照下さい)		V01-01
334	ON	CPU 不足率を表示	V01-00
335	OFF	CPU 不足率を非表示	V01-00
336	グラフ	【ドラッグ】 グラフをズーム 【右クリック】 コンテキストメニューを表示	V01-00
337	コンテキストメニュー		V01-00
338	Copy	クリップボードにグラフをコピー	V01-00
339	View Max/Ave	サブウィンドウ (View Max/Ave Data for Physical CPU Summary ウィンドウ) を表示	V01-00
340	View Raw Data	サブウィンドウ (View Raw Data for Physical CPU Summary ウィンドウ) を表示	V01-00
341	Reset Color	レジェンドの色をデフォルトに戻す	V02-02
342	レジェンド	色の設定ウィンドウの表示	V02-02
343	色の設定ウィンドウ		V02-02
344	[本ウィンドウは Windows の標準機能に準拠]		V02-02

345	LPAR Select フレーム (メニューリストの Data Change で Normal が選択されている場合) /Group Select フレーム (メニューリストの Data Change で Group が選択されている場合)	【LPAR Select フレームが表示されている場合】 グラフ表示する LPAR を選択 【Group Select フレームが表示されている場合】 グラフ表示する Group を選択	V01-01
346	ALL チェックボックス	■メニューリストの Data Change で Normal が選択されている場合 【チェック】 すべての LPAR チェックボックスにチェックをつける 【チェックを外す】 すべての LPAR チェックボックスからチェックを外す ■メニューリストの Data Change で Group が選択されている場合 【チェック】 すべての Group チェックボックスにチェックをつける 【チェックを外す】 すべての Group チェックボックスからチェックを外す	V01-01
347	LPAR チェックボックス nn (nn=01~60) (メニューリストの Data Change で Normal が選択されている場合) /Group チェックボックス nn (nn=00~15) (メニューリストの Data Change で Group が選択されている場合))	【チェックあり】 グラフ表示 【チェックなし】 グラフ表示しない	V01-01
348	LPAR:nn[Logical CPU] グラフ		V01-00
349	メニューリスト (Graph Style)		V01-01
350	Stack	積み上げグラフで表示 (デフォルト)	V01-00
351	Line	折れ線グラフで表示	V01-00
352	メニューリスト (Graph Size)		V01-00
353	Auto Size	ウィンドウサイズをチェックし、表示可能なサイズで自動表示 (デフォルト)	V01-00
354	Fixed Size	Logical CPU グラフを固定サイズで表示	V01-00
355	Window Width	Physical CPU Summary グラフと同じサイズで表示	V01-00
356	メニューリスト (Usage Rate)		V01-01
357	Resource Base	CPU リソース基準で表示 (デフォルト)	V02-02
358	System Base	全物理 CPU 基準で表示	V01-00
359	Service Rate Base	サービス率基準で表示	V01-00
360	メニューリスト (Legend)		V01-00
361	ON	グラフ色の凡例表示を有効にする (デフォルト)	V01-00
362	OFF	グラフ色の凡例表示を無効にする	V01-00

363	メニューリスト (Insuff)	条件 1, 3 を満たす場合メニューリストに Insuff が加わる (条件 1, 3 については、表 5-1 モニタリング条件をご参照下さい)	V01-01
364	ON	CPU 不足率を表示	V01-00
365	OFF	CPU 不足率を非表示	V01-00
366	グラフ	【ドラッグ】 グラフをズーム 【右クリック】 コンテキストメニューを表示	V01-00
367	コンテキストメニューを表示		V01-00
368	Copy	クリップボードにグラフをコピー	V01-00
369	View Max/Ave	サブウィンドウ (View Max/Ave Data for LPAR:nn[Logical CPU] ウィンドウ) を表示	V01-00
370	View Raw Data	サブウィンドウ (View Raw Data for LPAR:nn[Logical CPU] ウィンドウ) を表示	V01-00
371	Reset Color	レジェンドの色をデフォルトに戻す	V02-02
372	レジェンド	色の設定ウィンドウの表示	V02-02
373	色の設定ウィンドウ		V02-02
374	[本ウィンドウは Windows の標準機能に準拠]		V02-02

375	NIC History Viewer [HVM_ID : HVM_IP] ウィンドウ		V02-00
376	メニューリスト (File)		V02-00
377	Log Management	Monitor Log Management ウィンドウを開く	V02-00
378	メニューリスト (Graph Style)		V02-00
379	Stack	積み上げグラフで表示 (デフォルト)	V02-00
380	Line	折れ線グラフで表示	V02-00
381	メニューリスト (Graph Size)		V02-00
382	Auto Size	NIC:xxx Port:n グラフ/LPAR:nn グラフでウィンドウサイズをチェックし、表示可能なサイズで自動表示 (デフォルト)	V02-00
383	Fixed Size	NIC:xxx Port:n グラフ/LPAR:nn グラフを固定サイズで表示	V02-00
384	Window Width	NIC:xxx Port:n グラフ/LPAR:nn グラフの表示を表示領域の横幅サイズに合わせ、1行 1LPAR ずつ表示	V02-00
385	メニューリスト (Graph Data)		V02-00
386	NIC Port	NIC のポートごとに表示 (デフォルト)	V02-00
387	LPAR	LPAR ごとに表示 (デフォルト)	V02-00
388	メニューリスト (Legend)		V02-00
389	ON	グラフ色の凡例表示を有効にする (デフォルト)	V02-00
390	OFF	グラフ色の凡例表示を無効にする	V02-00
391	メニューリスト (Usage)		V02-00
392	Usage (Mbps)	NIC の使用量を表示 (デフォルト)	V02-00
393	Usage Rate (%)	NIC の使用率を表示	V02-00
394	HVM Information フレーム		V02-00
395	HVM ID	HVM ID を表示	V02-00
396	HVM IP	HVM IP を表示	V02-00
397	Scroll Zoom フレーム		V02-00
398	Reset ボタン	グラフのズーム表示を解除	V02-00
399	History Setting フレーム		V02-00
400	Specific ラジオボタン	Specific: コンボボックスを入力可能にする (デフォルト)	V02-00
401	Specific コンボボックス	表示する日付, 表示開始時刻, 表示時間を指定	V02-00
402	Span ラジオボタン	Span: コンボボックスを入力可能にする	V02-00
403	Span コンボボックス	表示する期間を指定	V02-00
404	GraphViewType フレーム		V02-00
405	Interval ラジオボタン	サンプリング間隔で表示 (1 日間まで表示可能)	V02-00
406	5Minutes ラジオボタン	5 分平均データで表示 (31 日間まで表示可能)	V02-00
407	1Hour ラジオボタン	1 時間平均データで表示 (デフォルト)	V02-00
408	User ラジオボタン	ユーザ指定時間平均データで表示	V02-00
409	Show ボタン	設定した内容でグラフを表示	V02-00
410	Physical NIC Summary グラフ		V02-00
411	メニューリスト (Graph Style)		V02-00
412	Stack	積み上げグラフで表示 (デフォルト)	V02-00
413	Line	NIC Port 毎に折れ線グラフで表示	V02-00
414	メニューリスト (Legend)		V02-00
415	ON	グラフ色の凡例表示を有効にする (デフォルト)	V02-00
416	OFF	グラフ色の凡例表示を無効にする	V02-00

417	メニューリスト (Usage Rate)	Usage が Usage Rate (%) の場合のみ、メニューリストに Usage Rate が加わる	V02-00
418	Total Base	Physical NIC Summary グラフを HVM 全体基準で表示 (デフォルト)	V02-00
419	Port Base	Physical NIC Summary グラフを Port 基準で表示 (メニューリスト(Graph Style)が Line の場合に Port 基準で表示)	V02-00
420	グラフ	【ドラッグ】 グラフをズーム 【右クリック】 コンテキストメニューを表示	V02-00
421	コンテキストメニュー		V02-00
422	Copy	クリップボードにグラフをコピー	V02-00
423	View Max/Ave	サブウィンドウ (View Max/Ave Data for Physical NIC Summary ウィンドウ) を表示	V02-00
424	View Raw Data	サブウィンドウ (View Raw Data for Physical NIC Summary ウィンドウ) を表示	V02-00
425	NIC Port Select フレーム (メニューリストの Graph Data で NIC Port が選択されている場合) /LPAR Select フレーム (メニューリストの Graph Data で LPAR が選択されている場合)	【NIC Port Select フレームが表示されている場合】 グラフ表示する NIC Port を選択 【LPAR Select フレームが表示されている場合】 グラフ表示する LPAR を選択	V02-00
426	ALL チェックボックス	■メニューリストの Graph Data で NIC Port が選択されている場合 【チェック】 すべての NIC Port チェックボックスにチェックをつける 【チェックを外す】 すべての NIC Port チェックボックスからチェックを外す ■メニューリストの Graph Data で LPAR が選択されている場合 【チェック】 すべての LPAR チェックボックスにチェックをつける 【チェックを外す】 すべての LPAR チェックボックスからチェックを外す	V02-00
427	NIC Port チェックボックス (メニューリストの Graph Data で NIC Port が選択されている場合) /LPAR チェックボックス (メニューリストの Graph Data で LPAR が選択されている場合)	【チェックあり】 選択されているもののみグラフ表示 【チェックなし】 グラフ表示しない	V02-00

428	NIC:xxx Port:n グラフ/LPAR:nn グラフ		V02-00
429	メニューリスト (Graph Style)		V02-00
430	Stack	積み上げグラフで表示 (デフォルト)	V02-00
431	Line	折れ線グラフで表示	V02-00
432	メニューリスト (Graph Size)		V02-00
433	Auto Size	ウインドウサイズをチェックし、表示可能なサイズで自動表示 (デフォルト)	V02-00
434	Fixed Size	グラフを固定サイズで表示	V02-00
435	Window Width	Physical NIC Summary グラフと同じサイズで表示	V02-00
436	メニューリスト (Graph Data)		V02-00
437	NIC Port	NIC のポートごとに表示 (デフォルト)	V02-00
438	LPAR	LPAR ごとに表示	V02-00
439	メニューリスト (Legend)		V02-00
440	ON	グラフ色の凡例表示を有効にする (デフォルト)	V02-00
441	OFF	グラフ色の凡例表示を無効にする	V02-00
442	グラフ	【ドラッグ】 グラフをズーム 【右クリック】 コンテキストメニューを表示	V02-00
443	コンテキストメニュー		V02-00
444	Copy	クリップボードにグラフをコピー	V02-00
445	View Max/Ave	サブウインドウ (View Max/Ave Data for NIC:xxx Port:n/LPAR:nn ウインドウ) を表示	V02-00
446	View Raw Data	サブウインドウ (View Raw Data for NIC:xxx Port:n/LPAR:nn ウインドウ) を表示	V02-00

447	Monitor Log Management ウィンドウ		V01-00
448	HVM ツリービュー	HVM をリスト表示	V01-00
449	Date Setting フレーム	設定機能の適応期間を指定 (Export To Csv タブ, BackUp Log タブ, Clear Log タブを選択した場合のみ設定可能)	V01-00
450	ALL ラジオボタン	すべての日付が対象	V01-00
451	Specific ラジオボタン	Specific: コンボボックスを入力可能にする	V01-00
452	Specific コンボボックス	指定した日付のみ対象	V01-00
453	Span ラジオボタン	Span: コンボボックスを入力可能にする	V01-00
454	Span コンボボックス	範囲指定した期間のみ対象	V01-00
455	Operation フレーム (Log Setting タブ)		V01-00
456	Output Folder Selection フレーム		V01-00
457	テキストボックス	履歴情報ログ出力先フォルダを表示	V01-00
458	Select ボタン	履歴情報ログ出力先フォルダを指定 サブウィンドウ (フォルダの参照ウィンドウ) を開く	V01-00
459	フォルダの参照ウィンドウ		V01-00
460	[本ウィンドウは Windows の標準機能に準拠]		V01-00
461	Auto Clear History Log フレーム		V01-00
462	Enable Auto Clear チェックボックス	【チェックあり】 履歴情報ログ Interval ログの自動削除機能を有効にする 【チェックなし】 履歴情報ログ Interval ログの自動削除機能を無効にする	V01-00
463	Date keep Days テキストボックス	履歴情報ログ Interval ログを残しておく日数を指定 (1~100) デフォルト設定は 1 日	V01-00
464	Auto BackUp History Log フレーム		V01-00
465	Enable Auto BackUp チェックボックス	【チェックあり】 履歴情報ログの自動バックアップ機能を有効にする 【チェックなし】 履歴情報ログの自動バックアップ機能を無効にする	V01-00
466	BackUp Folder Selection フレーム		V01-00
467	テキストボックス	履歴情報ログのバックアップファイル出力先を表示	V01-00
468	Select ボタン	バックアップファイル出力先フォルダを指定 サブウィンドウ (フォルダの参照ウィンドウ) を開く	V01-00
469	フォルダの参照ウィンドウ		V01-00
470	[本ウィンドウは Windows の標準機能に準拠]		V01-00
471	Data keep Days テキストボックス	バックアップファイルを残しておく日数を指定 (1~100) デフォルト設定は 1 日	V01-00
472	Enable Clear Log after BackUp チェックボックス	【チェックあり】 バックアップ後、履歴情報ログを消去 【チェックなし】 バックアップ後、履歴情報ログを残す	V01-00

473	Auto Average History Log フレーム		V01-01
474	Enable Auto Average History Log チェックボックス	【チェックあり】 履歴情報ログの自動平均を有効にしてデータ採取 【チェックなし】 履歴情報ログの自動平均を無効にしてデータ採取	V01-00
475	Setting Time For Average コンボボックス	自動平均する時間間隔を選択 デフォルト設定は 5s	V01-00
476	Save ボタン	設定した内容を保存	V02-00
477	Operation フレーム (Export To Csv タブ)		V01-00
478	Export Folder Selection フレーム		V01-00
479	テキストボックス	CSV ファイル出力先フォルダを表示	V01-00
480	Select ボタン	バックアップファイル出力先フォルダを指定 サブウィンドウ (フォルダの参照ウィンドウ) を開く	V01-00
481	フォルダの参照ウィンドウ		V01-00
482	[本ウィンドウは Windows の標準機能に準拠]		V01-00
483	Output Unit Setting フレーム		V01-00
484	All data to One File ボタン	全データを 1 つのファイルに出力 (デフォルト)	V01-00
485	Different file at each date ボタン	日付毎にファイルに出力	V01-00
486	Output Target Selection フレーム		V01-00
487	コンボボックス	出力するデータのリソース種を選択	V02-02
488	Interval ラジオボタン	収集した履歴情報ログの出力を指定	V01-00
489	5Minutes ラジオボタン	履歴情報ログの 5 分平均データの出力を指定	V01-00
490	1Hour ラジオボタン	履歴情報ログの 1 時間平均データの出力を指定	V01-00
491	User ラジオボタン	履歴情報ログのユーザ指定時間平均データの出力を指定	V01-00
492	Execute ボタン	設定した内容で実行	V01-00
493	Operation フレーム (BackUp Log タブ)		V01-00
494	BackUp Folder Selection フレーム		V01-00
495	テキストボックス	履歴情報ログ出力先フォルダを表示	V01-00
496	Select ボタン	履歴情報ログ出力先フォルダを指定	V01-00
497	Execute ボタン	設定した内容で実行	V01-00
498	Operation フレーム (Clear Log タブ)		V01-00
499	Clear Target Selection フレーム		V01-00
500	ALL ラジオボタン	すべての集計時間の履歴情報ログを対象とする	V01-00
501	Interval ラジオボタン	Interval で設定した履歴情報ログを削除対象とする	V01-00
502	Execute ボタン	設定した内容で実行	V01-00
503	Close ボタン	本ウィンドウを閉じる	V01-00

504	Monitor Threshold Management ウィンドウ		V01-00
505	HVM ツリービュー	HVM をリスト表示	V01-00
506	Operation フレーム (Threshold Setting タブ)		V01-00
507	Threshold Monitoring フレーム	Auto Average History Log が有効時閾値監視を行う	V01-00
508	Enable Threshold Monitoring チェックボックス	【チェックあり】 閾値設定を有効にする 【チェックなし】 閾値設定を無効にする	V01-00
509	Setting Time For Average コ ンボボックス	自動平均する時間間隔 (閾値監視時間間隔) を選択 デフォルト設定は 5s	V01-01
510	Threshold Mode フレーム		V01-01
511	One Threshold Mode ラジオボ タン	閾値を 1 つ設定	V01-00
512	Two Threshold Mode ラジオボ タン	閾値を 2 つ設定 (デフォルト)	V01-00
513	Threshold Count (1-100) テ キストボックス	閾値超過回数を入力 デフォルト設定は 1	V01-00
514	Save ボタン	設定を保存	V02-00
515	Operation フレーム (Physical CPU Threshold タブ)		V01-01
516	Physical CPU Threshold Setting フレーム		V01-01
517	Caution (1-100) テキストボッ クス (Physical CPU Threshold)	物理 CPU 使用率の注意閾値を入力 (Two Threshold Mode を選択している場合のみ設定可能) デフォルト設定は 80	V01-00
518	Error (1-100) テキストボッ クス (Physical CPU Threshold)	物理 CPU 使用率のエラー閾値を入力 デフォルト設定は 95	V01-00
519	ON チェックボックス (Physical CPU Threshold)	【チェックあり】 物理 CPU 使用率の閾値設定を有効にする 【チェックなし】 物理 CPU 使用率の閾値設定を無効にする	V01-00
520	Caution (1-999) テキストボッ クス (Physical CPU Threshold: (Insuff))	物理 CPU 不足率の注意閾値を入力 (Monitoring Mode が HvmShMode であり、Two Threshold Mode を選択している場合のみ設定可能) デフォルト設定は 160	V01-00
521	Error (1-999) テキストボックス (Physical CPU Threshold: (Insuff))	物理 CPU 不足率のエラー閾値を入力 (Monitoring Mode が HvmShMode である場合のみ設定可能) デフォルト設定は 190	V01-00
522	ON チェックボックス (Physical CPU Threshold: (Insuff))	【チェックあり】 物理 CPU 不足率の閾値設定を有効にする 【チェックなし】 物理 CPU 不足率の閾値設定を無効にする (Monitoring Mode が HvmShMode である場合のみ設定可能)	V01-00
523	Save ボタン	設定を保存	V01-00

524	Operation フレーム (LPAR Threshold タブ)		V01-01
525	LPAR Threshold Setting フレーム		V01-01
526	LPAR Threshold フレーム		V01-00
527	ALL チェックボックス	【チェック】 すべての LPAR チェックボックスにチェックをつける 【チェックを外す】 すべての LPAR チェックボックスからチェックを外す	V01-00
528	LPAR チェックボックス nn (nn=01~60)	【チェックあり】 閾値設定の対象になる 【チェックなし】 閾値設定の対象から外れる	V01-00
529	Resource Base ON チェックボックス	論理 CPU 使用率 (CPU リソース基準) に閾値を設定	V02-02
530	System Base ON チェックボックス	論理 CPU 使用率 (全物理 CPU 基準) に閾値を設定	V01-00
531	Insuff ON チェックボックス	論理 CPU 不足率 (全物理 CPU 基準) 率に閾値を設定 (Monitoring Mode が HvmShMode である場合のみ設定可能)	V01-00
532	All Setting Mode チェックボックス	【チェックあり】 下のリストに ALL を表示	V01-00
533	リスト (※ALL で閾値設定をすると、すべての LPAR に適用される)		V01-00
534	ON 列チェックボックス	【チェックあり】 閾値設定モードにする 【チェックなし】 閾値設定モードを解除	V01-00
535	Resource Caution (1-100) 列テキストボックス	論理 CPU 使用率 (CPU リソース基準) の注意値を設定 デフォルト設定は 80	V02-02
536	Resource Error (1-100) 列テキストボックス	論理 CPU 使用率 (CPU リソース基準) のエラー値を設定 デフォルト設定は 95	V02-02
537	System Caution (1-100) 列テキストボックス	論理 CPU 使用率 (全物理 CPU 基準) の注意値を設定 デフォルト設定は 80	V01-00
538	System Error (1-100) 列テキストボックス	論理 CPU 使用率 (全物理 CPU 基準) のエラー値を設定 デフォルト設定は 95	V01-00
539	Insuff Caution (1-100) 列テキストボックス	論理 CPU 不足率 (全物理 CPU 基準) の注意値を設定 (Monitoring Mode が HvmShMode である場合のみ設定可能) デフォルト設定は 80	V01-00
540	Insuff Error (1-100) 列テキストボックス	論理 CPU 不足率 (全物理 CPU 基準) のエラー値を設定 (Monitoring Mode が HvmShMode である場合のみ設定可能) デフォルト設定は 95	V01-00
541	Save ボタン	設定を保存	V01-00

542	Operation フレーム (Group Threshold タブ)		V01-01
543	Group Threshold Setting フレーム		V01-01
544	Group Threshold フレーム		V01-01
545	ALL チェックボックス	【チェック】 すべての Group チェックボックスにチェックをつける 【チェックを外す】 すべての Group チェックボックスからチェックを外す	V01-01
546	Group チェックボックス nn (nn=00~59)	【チェックあり】 閾値設定の対象になる 【チェックなし】 閾値設定の対象から外れる	V01-01
547	Group Base ON チェックボックス	論理 CPU 使用率 (サービス率基準) に閾値を設定	V01-01
548	System Base ON チェックボックス	論理 CPU 使用率 (全物理 CPU 基準) に閾値を設定	V01-01
549	Insuff ON チェックボックス	論理 CPU 不足率 (全物理 CPU 基準) 率に閾値を設定 (Monitoring Mode が HvmShMode である場合のみ設定可能)	V01-01
550	All Setting Mode チェックボックス	【チェックあり】 下のリストに ALL を表示	V01-01
551	リスト (※ALL で閾値設定をすると、すべての LPAR に適用される)		V01-01
552	ON 列チェックボックス	【チェックあり】 閾値設定モードにする 【チェックなし】 閾値設定モードを解除	V01-01
553	Group Caution (1-100) 列 テキストボックス	論理 CPU 使用率 (サービス率基準) の注意値を設定 デフォルト設定は 80	V01-01
554	Group Error (1-100) 列 テキストボックス	論理 CPU 使用率 (サービス率基準) のエラー値を設定 デフォルト設定は 95	V01-01
555	System Caution (1-100) 列 テキストボックス	論理 CPU 使用率 (全物理 CPU 基準) の注意値を設定 デフォルト設定は 80	V01-01
556	System Error (1-100) 列 テキストボックス	論理 CPU 使用率 (全物理 CPU 基準) のエラー値を設定 デフォルト設定は 95	V01-01
557	Insuff Caution (1-100) 列 テキストボックス	論理 CPU 不足率 (全物理 CPU 基準) の注意値を設定 (Monitoring Mode が HvmShMode である場合のみ設定可能) デフォルト設定は 80	V01-01
558	Insuff Error (1-100) 列 テキストボックス	論理 CPU 不足率 (全物理 CPU 基準) のエラー値を設定 (Monitoring Mode が HvmShMode である場合のみ設定可能) デフォルト設定は 95	V01-01
559	Save ボタン	設定を保存	V01-01

560	Operation フレーム (Mail タブ)		V01-01
561	Mail Report フレーム		V01-00
562	Enable Mail Report チェックボックス	【チェックあり】 メール通報を有効にする 【チェックなし】 メール通報を無効にする	V01-00
563	Mail Setting フレーム		V01-00
564	Reported Mail Address テキストボックス	通報メール送信先のメールアドレスを入力	V01-00
565	Mail Account テキストボックス	通報メール送信先のメールアドレスのユーザアカウント を入力	V01-00
566	Mail Password チェックボックス	【チェックあり】 Mail Password テキストボックスの有効化 【チェックなし】 Mail Password テキストボックスの無効化	V01-01
567	Mail Password テキストボックス	通報メール送信先のメールアドレスのパスワードを入力	V01-00
568	Mail Server IP Address テキストボックス	メールサーバの IP アドレスを入力 デフォルト設定は 0.0.0.0	V01-00
569	Mail Server Port テキストボックス	メールサーバのポートを入力 デフォルト設定は 0	V01-00
570	Mail Test ボタン	サブウィンドウ (Test Mail Sending ウィンドウを開く) (以下の 5 項目を入力するとクリック可能になる Reported Mail Address テキストボックス, Mail Account: テキストボックス, Mail Password: テキストボックス, Mail Server IP Address: テキストボックス, Mail Server Port テキストボックス)	V01-00
571	Test Mail Sending ウィンドウ		V01-00
572	OK ボタン	テストメールを送信	V01-00
573	キャンセルボタン	テストメールの送信を取り止める	V01-00
574	Mail sending success ウィンドウ		V01-00
575	OK ボタン	本ウィンドウを閉じる	V01-00
576	Save ボタン	メール設定を保存 以下の項目を入力すると、クリック可能になる (1) Reported Mail Address テキストボックス (2) Mail Account テキストボックス (3) Mail Password テキストボックス (4) Mail Server IP Address テキストボックス (5) Mail Server Port テキストボックス	V02-00
577	Operation フレーム (Monitoring Mode タブ)		V01-00
578	Monitoring Mode フレーム		V01-00
579	HvmShMode ラジオボタン	サンプリング時に HvmSh.exe を使用	V01-00
580	HvmGetPerfMode ラジオボタン	サンプリング時に HvmGetPerf.exe を使用	V01-00
581	Save ボタン	設定した内容を保存	V01-00
582	Close ボタン	本ウィンドウを閉じる	V01-00

583	HVM Monitor Realtime Viewer[Multi]ウィンドウ		V01-00
584	ツリービュー	グラフ表示する HVM を選択	V01-00
585	メニューリスト(Graph Style)		V01-01
586	Stack	積み上げグラフで表示(デフォルト)	V01-00
587	Line	折れ線グラフで表示	V01-00
588	Bar	棒グラフで表示	V01-01
589	メニューリスト (Graph Size)	Graph Style が Bar 以外の場合のみ、メニューリストに Graph Size が加わる	V01-00
590	Auto Size	Physical CPU グラフでウィンドウサイズをチェックし、表示可能なサイズで自動表示(デフォルト)	V01-00
591	Window Width	Physical CPU グラフの表示を表示領域の横幅サイズに合わせ、1 行 1LPAR ずつ表示	V01-00
592	メニューリスト(Legend)	Graph Style が Bar 以外の場合のみ、メニューリストに Legend が加わる	V01-00
593	ON	グラフ色の凡例表示を有効にする(デフォルト)	V01-00
594	OFF	グラフ色の凡例表示を無効にする	V01-00
595	メニューリスト (Data Change)	条件 1, 2 を満たす場合、メニューリストに Data Change が加わる (条件 1, 2 については、表 5-1 モニタリング条件をご参照下さい)	V01-01
596	Normal	LPAR ごとにグラフ表示(デフォルト)	V01-00
597	Group	プロセッサグループごとにグラフ表示	V01-01
598	メニューリスト(Insuff)	条件 1, 3 を満たす場合メニューリストに Insuff が加わる (条件 1, 3 については、表 5-1 モニタリング条件をご参照下さい)	V01-01
599	ON	CPU 不足率を表示	V01-00
600	OFF	CPU 不足率を非表示	V01-00
601	メニューリスト(Refresh Interval)		V01-00
602	1 sec	グラフ更新を 1 秒にする	V01-00
603	5 sec	グラフ更新を 5 秒にする(デフォルト)	V01-00
604	10 sec	グラフ更新を 10 秒にする	V01-00
605	メニューリスト(Scale)	Graph Style が Bar の場合のみ、メニューリストに Scale が加わる	V01-01
606	100	グラフの表示領域を 100 に変更する	V01-01
607	50	グラフの表示領域を 50 に変更する	V01-01
608	20	グラフの表示領域を 20 に変更する	V01-01
609	10	グラフの表示領域を 10 に変更する	V01-01
610	メニューリスト(Value)	Graph Style が Bar の場合のみ、メニューリストに Value が加わる	V01-01
611	ON	数値表示を有効にする(デフォルト)	V01-01
612	OFF	数値表示を無効にする	V01-01
613	グラフ	【右クリック】 コンテキストメニューを表示	V01-00
614	コンテキストメニュー		V01-00
615	View Detail	HVM Monitor RT Viewer[HVM_ID : HVM_IP]ウィンドウを表示	V01-00

表 5-1 モニタリング条件

条件	内容
1	Monitoring Mode が HvmShMode であること
2	BS2000 : HVM バージョン 58-4x, 78-4x 以降の HVM が表示対象 BS320 : HVM バージョン 17-6x 以降の HVM が表示対象
3	BS2000 : HVM バージョン 57-3x, 78-1x 以降の HVM が表示対象 BS320 : HVM バージョン 17-4x 以降の HVM が表示対象
4	BS2000 : HVM バージョン 58-7x, 78-7x 以降の HVM が表示対象 BS320 : HVM バージョン 17-8x 以降の HVM が表示対象

6 構成ビューア

※導入または表示位置/名称を変更した最終バージョンを示す

No.	操作, 表示対象	説明	導入/ 変更 Ver. (※)
1	Main ウィンドウ (Viewer タブ)		V01-00
2	System List フレーム		V01-00
3	コンボボックス	ビューア対象のシステム構成を選択 All configuration (デフォルト) 選択したシステムの構成は System Configuration フレーム内のツリービューに表示	V01-00
4	Update ボタン/Update Cancel ボタン (Update 実行中は Update Cancel ボタン になる)	【Update ボタンをクリックした場合】 選択したシステムに登録されている HVM 情報を更新 【Update Cancel ボタンをクリックした場合】 HVM 情報の更新を取り止める	V01-00
5	System Configuration フレーム		V01-00
6	ツリービュー	詳細情報を表示する項目 (Chassis, HVM) を選択 (選択した項目の詳細情報はリストに表示)	V01-00
7	リスト	ツリービューで選択した項目の詳細情報を表示	V01-00
8	Edit ボタン	System Edit ウィンドウを開く	V01-00
9	Config List ボタン	System Configuration List ウィンドウを開く	V01-00
10	Config View ボタン	System Configuration Image ウィンドウを開く	V01-00
11	System Edit ウィンドウ		V01-00
12	System Select フレーム		V01-00
13	All System 側ツリービ ュー	登録されている HVM を表示 編集中のシステム構成に加えるシャーシ, HVM を選択	V01-00
14	>ボタン	All System 側で選択したシャーシ, HVM を選択したシステム構成 に加える	V01-00
15	<ボタン	Selected System 側で選択したシャーシ, HVM を選択したシステム 構成から取り除く	V01-00
16	Selected System 側コ ンボボックス	編集するシステム構成を選択 【編集中のシステム構成がある場合】 サブウィンドウ (Confirmation ウィンドウ) を開く	V01-00
17	Confirmation ウィンドウ		V01-00
18	OK ボタン	【編集中のシステム構成の内容を保存せずに、新しいシステム構成 を選択】	V01-00
19	キャンセルボタン	本ウィンドウを閉じる	V01-00
20	New ボタン	【編集中のシステム構成がない場合】 サブウィンドウ (New System ウィンドウ) を開く 【編集中のシステム構成がある場合】 サブウィンドウ (Confirmation ウィンドウ) を開く	V01-00

21	New System ウィンドウ		V01-00
22	テキストボックス	作成するシステム構成の名前を入力	V01-00
23	OK ボタン	システム構成をテキストボックスに入力した名前で作成	V01-00
24	Cancel ボタン	システム構成の作成を取り止める	V01-00
25	Confirmation ウィンドウ		V01-00
26	OK ボタン	サブウィンドウ(New System ウィンドウ)を開く [編集中のシステム構成を保存せずに新しいシステム構成を作成]	V01-00
27	キャンセルボタン	本ウィンドウを閉じる	V01-00
28	Delete ボタン	編集中のシステム構成を消去 サブウィンドウ(Confirmation ウィンドウ)を開く	V01-00
29	Confirmation ウィンドウ		V01-00
30	OK ボタン	システム構成の消去を実行	V01-00
31	キャンセルボタン	システム構成の消去を取り止める	V01-00
32	Selected System 側ツ リービュー	編集中のシステム構成から取り除くシャーシ、HVM を選択 >ボタン、<ボタンでシステム構成を編集可能	V01-00
33	Save As ボタン	サブウィンドウ(Save As ウィンドウ)を開く	V01-00
34	Save As ウィンドウ		V01-00
35	テキストボックス	編集中のシステム構成の新しい名前を入力	V01-00
36	OK ボタン	システム構成をテキストボックスに入力した名前で保存	V01-00
37	Cancel ボタン	システム構成の保存を取り止める	V01-00
38	Save ボタン	編集中のシステム構成を保存	V01-00
39	Config List ボタン	System Configuration List ウィンドウを開く	V01-00
40	Config View ボタン	System Configuration Image ウィンドウを開く	V01-00
41	Close ボタン	【編集中のシステム構成がない場合】 本ウィンドウを閉じる 【編集中のシステム構成がある場合】 サブウィンドウ(Confirmation ウィンドウ)を開く	V01-00
42	Confirmation ウィンドウ		V01-00
43	OK ボタン	[編集中のシステム構成を保存せずに System Edit ウィンドウと本 ウィンドウを閉じる]	V01-00
44	キャンセルボタン	本ウィンドウを閉じる	V01-00

45	System Configuration List ウィンドウ		V01-00																								
46	ツリービュー	HVM List に表示する項目を選択 (選択した項目の詳細情報は HVM List リストに表示)	V01-00																								
47	Export ボタン	Export CSV ウィンドウを表示	V01-00																								
48	Item Selection フレーム		V01-00																								
49	コンボボックス	<p>詳細情報を表示する項目の種類を選択</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>項目</th> <th>種類</th> <th>サポート (※)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>HVM</td> <td>物理構成情報</td> <td>V01-00</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>LPAR</td> <td>論理構成情報</td> <td>V01-00</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>IP</td> <td>IP アドレス情報</td> <td>未サポート</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>Firmware Version</td> <td>ファームウェアバージョン情報</td> <td>未サポート</td> </tr> </tbody> </table> <p>※サポート:” 操作, 表示対象” をサポートしたバージョンを表しています</p> <p>選択した種類に応じて、以下のチェックボックスが表示される</p>	No.	項目	種類	サポート (※)	1	HVM	物理構成情報	V01-00	2	LPAR	論理構成情報	V01-00	3	IP	IP アドレス情報	未サポート	4	Firmware Version	ファームウェアバージョン情報	未サポート					
No.	項目	種類	サポート (※)																								
1	HVM	物理構成情報	V01-00																								
2	LPAR	論理構成情報	V01-00																								
3	IP	IP アドレス情報	未サポート																								
4	Firmware Version	ファームウェアバージョン情報	未サポート																								
50	コンボボックスの選択が“HVM”の場合(デフォルト)																										
51	<p>詳細情報を表示する項目にチェックをつける</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>チェックボックス名</th> <th>内容</th> <th>サポート (※)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>ALL</td> <td>下記全項目</td> <td>V01-00</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>Config</td> <td>物理サーバ情報</td> <td>V01-00</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>Physical NIC</td> <td>物理 NIC 情報</td> <td>V01-00</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>Physical HBA</td> <td>物理 HBA 情報</td> <td>V01-00</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>Physical CPU</td> <td>物理 CPU 情報</td> <td>V01-01</td> </tr> </tbody> </table> <p>※サポート:” 操作, 表示対象” をサポートしたバージョンを表しています</p>			No.	チェックボックス名	内容	サポート (※)	1	ALL	下記全項目	V01-00	2	Config	物理サーバ情報	V01-00	3	Physical NIC	物理 NIC 情報	V01-00	4	Physical HBA	物理 HBA 情報	V01-00	5	Physical CPU	物理 CPU 情報	V01-01
No.	チェックボックス名	内容	サポート (※)																								
1	ALL	下記全項目	V01-00																								
2	Config	物理サーバ情報	V01-00																								
3	Physical NIC	物理 NIC 情報	V01-00																								
4	Physical HBA	物理 HBA 情報	V01-00																								
5	Physical CPU	物理 CPU 情報	V01-01																								
52	コンボボックスの選択が“LPAR”の場合																										
53	<p>詳細情報を表示する項目にチェックをつける</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>チェックボックス名</th> <th>内容</th> <th>サポート (※)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>ALL</td> <td>下記全項目</td> <td>V01-00</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>Config</td> <td>論理サーバ情報</td> <td>V01-00</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>Logical NIC</td> <td>論理 NIC 情報</td> <td>V01-00</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>Logical HBA</td> <td>論理 HBA 情報</td> <td>V01-00</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>USB</td> <td>USB 情報</td> <td>未サポート</td> </tr> </tbody> </table> <p>※サポート:” 操作, 表示対象” をサポートしたバージョンを表しています</p>			No.	チェックボックス名	内容	サポート (※)	1	ALL	下記全項目	V01-00	2	Config	論理サーバ情報	V01-00	3	Logical NIC	論理 NIC 情報	V01-00	4	Logical HBA	論理 HBA 情報	V01-00	5	USB	USB 情報	未サポート
No.	チェックボックス名	内容	サポート (※)																								
1	ALL	下記全項目	V01-00																								
2	Config	論理サーバ情報	V01-00																								
3	Logical NIC	論理 NIC 情報	V01-00																								
4	Logical HBA	論理 HBA 情報	V01-00																								
5	USB	USB 情報	未サポート																								

54	コンボボックスの選択が“IP”の場合																										
55	<p>現在、Show List ボタンのクリック不可(ウインドウ表示不可)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>チェックボックス名</th> <th>内容</th> <th>サポート (※)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>ALL</td> <td>下記全項目</td> <td>未サポート</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>HVM</td> <td>HVM の IP アドレス</td> <td>未サポート</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>LPAR</td> <td>LPAR の IP アドレス</td> <td>未サポート</td> </tr> </tbody> </table> <p>※サポート:” 操作, 表示対象” をサポートしたバージョンを表しています</p>			No.	チェックボックス名	内容	サポート (※)	1	ALL	下記全項目	未サポート	2	HVM	HVM の IP アドレス	未サポート	3	LPAR	LPAR の IP アドレス	未サポート								
No.	チェックボックス名	内容	サポート (※)																								
1	ALL	下記全項目	未サポート																								
2	HVM	HVM の IP アドレス	未サポート																								
3	LPAR	LPAR の IP アドレス	未サポート																								
56	コンボボックスの選択が“Firmware Version”の場合																										
57	<p>現在、Show List ボタンのクリック不可(ウインドウ表示不可)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>チェックボックス名</th> <th>内容</th> <th>サポート (※)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>ALL</td> <td>下記全項目</td> <td>未サポート</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>PCI</td> <td>PCI カードのファームウェアバージョン</td> <td>未サポート</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>Blade</td> <td>サーバのファームウェアバージョン</td> <td>未サポート</td> </tr> </tbody> </table> <p>※サポート:” 操作, 表示対象” をサポートしたバージョンを表しています</p>			No.	チェックボックス名	内容	サポート (※)	1	ALL	下記全項目	未サポート	2	PCI	PCI カードのファームウェアバージョン	未サポート	3	Blade	サーバのファームウェアバージョン	未サポート								
No.	チェックボックス名	内容	サポート (※)																								
1	ALL	下記全項目	未サポート																								
2	PCI	PCI カードのファームウェアバージョン	未サポート																								
3	Blade	サーバのファームウェアバージョン	未サポート																								
58	Show List ボタン	コンボボックスで選択された種類について、構成情報を表示する	V01-00																								
59	HVM List リスト	HVM 固有情報を表示	V01-00																								
60	Sort Reset ボタン	HVM List リストに表示された行の並びを初期表示に戻す	V01-00																								
61	Close ボタン	本ウインドウを閉じる	V01-00																								
62	Export CSV ウィンドウ		V01-00																								
63	下記チェックボックス (HVM, LPAR, IP, および Firmware Version フレーム内) にチェックをつけた項目の詳細情報が CSV ファイルに出力される		V01-00																								
64	ALLCheck チェックボックス	チェックをつけると、下記全てのチェックボックス (HVM, LPAR, IP, および Firmware Version フレーム内) にチェックをつける チェックを外すと、下記全てのチェックボックスからチェックを外す	V01-00																								
65	HVM フレーム		V01-00																								
66	<table border="1"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>チェックボックス名</th> <th>内容</th> <th>サポート (※)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>ALL</td> <td>下記全項目</td> <td>V01-00</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>Config</td> <td>構成情報</td> <td>V01-00</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>Physical NIC</td> <td>物理 NIC 情報</td> <td>V01-00</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>Physical HBA</td> <td>物理 HBA 情報</td> <td>V01-00</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>Physical CPU</td> <td>物理 CPU 情報</td> <td>V01-01</td> </tr> </tbody> </table> <p>※サポート:” 操作, 表示対象” をサポートしたバージョンを表しています</p>			No.	チェックボックス名	内容	サポート (※)	1	ALL	下記全項目	V01-00	2	Config	構成情報	V01-00	3	Physical NIC	物理 NIC 情報	V01-00	4	Physical HBA	物理 HBA 情報	V01-00	5	Physical CPU	物理 CPU 情報	V01-01
No.	チェックボックス名	内容	サポート (※)																								
1	ALL	下記全項目	V01-00																								
2	Config	構成情報	V01-00																								
3	Physical NIC	物理 NIC 情報	V01-00																								
4	Physical HBA	物理 HBA 情報	V01-00																								
5	Physical CPU	物理 CPU 情報	V01-01																								

67	LPAR フレーム		V01-00																								
68	<table border="1"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>チェックボックス名</th> <th>内容</th> <th>サポート (※)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>ALL</td> <td>下記全項目</td> <td>V01-00</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>Config</td> <td>論理サーバ情報</td> <td>V01-00</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>Logical NIC</td> <td>論理NIC情報</td> <td>V01-00</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>Logical HBA</td> <td>論理HBA情報</td> <td>V01-00</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>USB</td> <td>USB情報</td> <td>未サポート</td> </tr> </tbody> </table> <p>※サポート:”操作, 表示対象”をサポートしたバージョンを表しています</p>			No.	チェックボックス名	内容	サポート (※)	1	ALL	下記全項目	V01-00	2	Config	論理サーバ情報	V01-00	3	Logical NIC	論理NIC情報	V01-00	4	Logical HBA	論理HBA情報	V01-00	5	USB	USB情報	未サポート
No.	チェックボックス名	内容	サポート (※)																								
1	ALL	下記全項目	V01-00																								
2	Config	論理サーバ情報	V01-00																								
3	Logical NIC	論理NIC情報	V01-00																								
4	Logical HBA	論理HBA情報	V01-00																								
5	USB	USB情報	未サポート																								
69	IP フレーム		V01-00																								
70	<table border="1"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>チェックボックス名</th> <th>内容</th> <th>サポート (※)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>ALL</td> <td>下記全項目</td> <td>未サポート</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>HVM</td> <td>HVMのIPアドレス</td> <td>未サポート</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>LPAR</td> <td>LPARのIPアドレス</td> <td>未サポート</td> </tr> </tbody> </table> <p>※サポート:”操作, 表示対象”をサポートしたバージョンを表しています</p>			No.	チェックボックス名	内容	サポート (※)	1	ALL	下記全項目	未サポート	2	HVM	HVMのIPアドレス	未サポート	3	LPAR	LPARのIPアドレス	未サポート								
No.	チェックボックス名	内容	サポート (※)																								
1	ALL	下記全項目	未サポート																								
2	HVM	HVMのIPアドレス	未サポート																								
3	LPAR	LPARのIPアドレス	未サポート																								
71	Firmware Version フレーム		V01-00																								
72	<table border="1"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>チェックボックス名</th> <th>内容</th> <th>サポート (※)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>ALL</td> <td>下記全項目</td> <td>未サポート</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>PCI</td> <td>PCIカードのファームウェアバージョン</td> <td>未サポート</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>Blade</td> <td>サーバのファームウェアバージョン</td> <td>未サポート</td> </tr> </tbody> </table> <p>※サポート:”操作, 表示対象”をサポートしたバージョンを表しています</p>			No.	チェックボックス名	内容	サポート (※)	1	ALL	下記全項目	未サポート	2	PCI	PCIカードのファームウェアバージョン	未サポート	3	Blade	サーバのファームウェアバージョン	未サポート								
No.	チェックボックス名	内容	サポート (※)																								
1	ALL	下記全項目	未サポート																								
2	PCI	PCIカードのファームウェアバージョン	未サポート																								
3	Blade	サーバのファームウェアバージョン	未サポート																								
73	Export Folder Selection		V01-00																								
74	テキストボックス	CSVファイルの出力先フォルダを表示	V01-00																								
75	Select ボタン	フォルダの参照ウインドウを開く	V01-00																								
76	フォルダの参照ウインドウ		V01-00																								
77	[本ウインドウはWindowsの標準機能に準拠]		V01-00																								
78	Export ボタン	CSVファイルを指定したフォルダに出力 サブウインドウ(Resultウインドウ)を開く	V01-00																								
79	Result ウインドウ		V01-00																								
80	OK ボタン	本ウインドウを閉じる	V01-00																								
81	Close ボタン	本ウインドウを閉じる	V01-00																								

82	HVM Configuration List ウィンドウ		V01-00
83	HVM フレーム	詳細情報を表示している項目にチェック	V01-00
84	Config チェックボックス	—(非活性)	V01-00
85	Physical NIC チェックボックス	—(非活性)	V01-00
86	Physical HBA チェックボックス	—(非活性)	V01-00
87	CPU チェックボックス	—(非活性)	V01-00
88	HVM List リスト	HVM 詳細情報を表示	V01-00
89	Sort Reset ボタン	HVM List リストに表示された行の並びを初期設定に戻す	V01-00
90	Export ボタン	サブウィンドウ (Assign Output Device ウィンドウ) を開く	V01-00
91	Assign Output Device ウィンドウ		V01-00
92	[本ウィンドウは Windows の標準機能に準拠]		V01-00
93	Result ウィンドウ		V01-00
94	OK ボタン	本ウィンドウを閉じる	V01-00
95	Close ボタン	本ウィンドウを閉じる	V01-00
96	LPAR List ウィンドウ		V01-00
97	LPAR フレーム	詳細情報を表示している項目にチェック	V01-00
98	Config チェックボックス	—(非活性)	V01-00
99	Logical NIC チェックボックス	—(非活性)	V01-00
100	Logical HBA チェックボックス	—(非活性)	V01-00
101	USB チェックボックス	—(非活性)	V01-00
102	LPAR List リスト	LPAR データを表示	V01-00
103	Show Undefined チェックボックス	【チェックあり】 LPAR Status が“-”(未定義)の LPAR も含んで表示 【チェックなし】 LPAR Status が“-”(未定義)の LPAR は非表示	V01-01
104	Sort Reset ボタン	LPAR List リストに表示された行の並びを初期設定に戻す	V01-00
105	Export ボタン	サブウィンドウ (Assign Output Device ウィンドウ) を開く	V01-00
106	Assign Output Device ウィンドウ		V01-00
107	[本ウィンドウは Windows の標準機能に準拠]		V01-00
108	Result ウィンドウ		V01-00
109	OK ボタン	本ウィンドウを閉じる	V01-00
110	Close ボタン	本ウィンドウを閉じる	V01-00

111	System Configuration Image ウィンドウ		V01-00																								
112	ツリービュー	作成したシステム構成を表示	V01-00																								
113	Layout Mode フレーム		V01-00																								
114	コンボボックス	図の表示モードを変更 表示モードの種類は以下の通り																									
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>表示モード</th> <th>内容</th> <th>サポート (※)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>Pan and Zoom (デフォルト)</td> <td>以下の 2 点の操作が可能なモード (1) 構成図の表示領域の移動 (2) 構成図の拡大・縮小</td> <td>V01-00</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>Fit</td> <td>構成図の表示領域に合わせて表示 (縦横の比率を維持)</td> <td>V01-00</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>Stretch</td> <td>構成図の表示領域に合わせて引き伸ばす(縦横の比率を変える)</td> <td>V01-00</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>Stretch To Width</td> <td>構成図を表示領域に合わせて幅に引き伸ばす(縦横の比率を維持)</td> <td>V01-00</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>Stretch To Height</td> <td>構成図を表示領域に合わせて高さに引き伸ばす(縦横の比率を維持)</td> <td>V01-00</td> </tr> </tbody> </table>	No.	表示モード	内容	サポート (※)	1	Pan and Zoom (デフォルト)	以下の 2 点の操作が可能なモード (1) 構成図の表示領域の移動 (2) 構成図の拡大・縮小	V01-00	2	Fit	構成図の表示領域に合わせて表示 (縦横の比率を維持)	V01-00	3	Stretch	構成図の表示領域に合わせて引き伸ばす(縦横の比率を変える)	V01-00	4	Stretch To Width	構成図を表示領域に合わせて幅に引き伸ばす(縦横の比率を維持)	V01-00	5	Stretch To Height	構成図を表示領域に合わせて高さに引き伸ばす(縦横の比率を維持)	V01-00	
		No.	表示モード	内容	サポート (※)																						
		1	Pan and Zoom (デフォルト)	以下の 2 点の操作が可能なモード (1) 構成図の表示領域の移動 (2) 構成図の拡大・縮小	V01-00																						
		2	Fit	構成図の表示領域に合わせて表示 (縦横の比率を維持)	V01-00																						
		3	Stretch	構成図の表示領域に合わせて引き伸ばす(縦横の比率を変える)	V01-00																						
4	Stretch To Width	構成図を表示領域に合わせて幅に引き伸ばす(縦横の比率を維持)	V01-00																								
5	Stretch To Height	構成図を表示領域に合わせて高さに引き伸ばす(縦横の比率を維持)	V01-00																								
※サポート:” 操作, 表示対象” をサポートしたバージョンを表しています																											
115	Pan and Zoom コントロール	表示範囲を移動、拡大・縮小	V01-00																								
116	Image フレーム		V01-00																								
117	ctrl+マウスホイールの前後操作	表示されている図を拡大・縮小	V01-00																								
118	Chassis アイコン	【ドラッグ&ドロップ】 Chassis アイコンを図中の任意の場所に配置 【クリック】 Chassis Configuration Image ウィンドウに表示するシャーシを選択 (Ctrl + マウスの左ボタンで複数選択可) 【ダブルクリック】 Chassis Configuration Image ウィンドウを開く (選択したシャーシの構成図を Chassis Configuration Image ウィンドウに表示)	V01-00																								
119	Chassis アイコン 内 Blade	【クリック】 HVM Configuration Image ウィンドウに表示するブレードを選択 (Ctrl + マウスの左ボタンで複数選択可) 【ダブルクリック】 HVM Configuration Image ウィンドウを開く (選択したHVMの構成図をHVM Configuration Image ウィンドウに表示)	V01-00																								

120	Show Detail ボタン	(1)Chassis アイコンを選択した場合 Chassis Configuration Image ウィンドウを開く (選択したシャーシの構成図を Chassis Configuration Image ウィンドウに表示) (2)Blade アイコンを選択した場合 HVM Configuration Image ウィンドウを開く (選択したHVMの構成図をHVM Configuration Image ウィンドウに表示)	V01-00
121	Close ボタン	【Chassis Configuration Image ウィンドウ, HVM Configuration Image ウィンドウが開いていた場合】 サブウィンドウ(Confirmation ウィンドウ)を開く 【上記ウィンドウがない場合】 本ウィンドウを閉じる	V01-00
122	Confirmation ウィンドウ		V01-00
123	OK ボタン	System Configuration Image ウィンドウ, Chassis Configuration Image ウィンドウ, および HVM Configuration Image ウィンドウを閉じる (本ウィンドウも閉じる)	V01-00
124	キャンセルボタン	本ウィンドウを閉じる	V01-00
125	Chassis Configuration Image ウィンドウ		V01-00
126	ツリービュー	選択した Chassis 構成を表示 表示モードの種類は以下の通り	V01-00
127	Layout Mode フレーム		V01-00
128	コンボボックス	図の表示モードを変更 (表示モードの種類については、表 10 構成図の表示モード 参照)	V01-00
129	Pan and Zoom コントロール	表示領域を移動、拡大・縮小	V01-00
130	ctrl+マウスホイールの前後操作	表示されている図を拡大・縮小	V01-00
131	Blade アイコン	【ドラッグ&ドロップ】 Blade アイコンを図中の任意の場所に配置 【クリック】 HVM Configuration Image ウィンドウに表示するブレードを選択 (Ctrl + マウスの左ボタンで複数選択可) 【ダブルクリック】 HVM Configuration Image ウィンドウを開く (選択したHVMの構成図をHVM Configuration Image ウィンドウに表示) 【右クリック】 コンテキストメニューを表示	V01-00

132		コンテキストメニュー		V01-00
133		Detail [Config メニュー]	HVM Configuration List ウィンドウを開く (構成情報を表示)	V01-00
134		Detail [Physical NIC]	HVM Configuration List ウィンドウを開く (物理 NIC 情報を表示)	V01-00
135		Detail [Physical HBA]	HVM Configuration List ウィンドウを開く (物理 HBA 情報を表示)	V01-00
136		Detail [Physical CPU]	CPU Configuration List ウィンドウを開く (物理 CPU 情報を表示)	V01-01
137		Show Detail ボタン	HVM Configuration Image ウィンドウを開く (選択した HVM の構成図を HVM Configuration Image ウィンドウに表示)	V01-00
138		Close ボタン	【HVM Configuration Image ウィンドウが開いていた場合】 サブウィンドウ(Confirmation ウィンドウ)を開く 【上記ウィンドウがない場合】 本ウィンドウを閉じる	V01-00
139		Confirmation ウィンドウ		V01-00
140		OK ボタン	Chassis Configuration Image ウィンドウ, HVM Configuration Image ウィンドウを閉じる (本ウィンドウも閉じる)	V01-00
141		キャンセルボタン	本ウィンドウを閉じる	V01-00
142		HVM Configuration Image ウィンドウ		V01-00
143		ツリービュー	選択した HVM 構成を表示 表示モードの種類は以下の通り	V01-00
144		Show Undefined チェックボックス	【チェックあり】 LPAR Status が“-” (未定義) の LPAR も含んで表示 【チェックなし】 LPAR Status が“-” (未定義) の LPAR は非表示	V01-01
145		Layout Mode フレーム		V01-00
146		コンボボックス	図の表示モードを変更 (表示モードの種類については、表 10 構成図の表示モード 参照)	V01-00
147		Pan and Zoom コントロール	表示領域を移動、拡大・縮小	V01-00

148	Layout Mode フレーム		V01-00
149	ctrl+マウスホイールの 前後操作	表示されている図を拡大・縮小	V01-00
150	LPAR アイコン	【ドラッグ&ドロップ】 LPAR アイコンを図中の任意の場所に配置 【クリック】 LPAR List ウィンドウに表示するブレードを選択 (Ctrl + マウスの左ボタンで複数選択可) 【右クリック】 コンテキストメニューを表示	V01-00
151	コンテキストメニュー		V01-00
152	Detail [Config メニュー]	LPAR List ウィンドウを開く (構成情報を表示)	V01-00
153	Detail [Logical NIC]	LPAR List ウィンドウを開く (論理 NIC 情報を表示)	V01-00
154	Detail [Logical HBA]	LPAR List ウィンドウを開く (論理 HBA 情報を表示)	V01-00
155	LPAR Detail ウィンドウ		V01-00
156	OK ボタン	本ウィンドウを閉じる	V01-00
157	Close ボタン	本ウィンドウを閉じる	V01-00
158	Confirmation ウィンドウ		V01-00
159	OK ボタン	HVM Configuration Image ウィンドウを閉じる (本ウィンドウも閉じる)	V01-00
160	キャンセルボタン	本ウィンドウを閉じる	V01-00

7 LPARマイグレーション

※導入または表示位置/名称を変更した最終バージョンを示す

No.	操作, 表示対象	説明	導入/ 変更 Ver. (※)
1	Main ウィンドウ (Migration タブ)		V01-00
2	Menu フレーム		V01-00
3	Migration ボタン	Migration ウィンドウを開く	V01-00
4	Migration Policy ボタン	Migration Policy ウィンドウを開く	V01-00
5	Update ボタン /Update Cancel ボタン (Update 実行中は Update Cancel ボタンになる)	【Update ボタンをクリックした場合】 登録した HVM 情報を更新 【Update Cancel ボタンをクリックした場合】 HVM 情報の更新を取り止める	V01-00
6	Migration History フレーム		V01-00
7	Show LPAR History チェックボックス	Migration History ウィンドウの 表示/非表示の切り替え 【チェックあり】 Migration History ウィンドウを表示 【チェックなし】(デフォルト) Migration History ウィンドウを表示しない	V01-00
8	Migration History リスト	マイグレーション実行履歴を表示	V01-00
9	Migration ウィンドウ		V01-00
10	Target Selection フレーム		V01-00
11	〔リカバリが必要な LPAR が ある時のみ表示〕  Show the LPARs チェックボックス	【チェックあり】 Target フレーム, Target ツリービューを表示 ※Target ツリービューでは、リカバリ対象の LPAR の み表示 【チェックなし】(デフォルト) Source フレーム, Source ツリービュー, Destination フレーム, および Destination ツリービューを表示	V01-00
12	〔  Show the LPARs チェックボックスに チェックがない場合利用可能〕 Auto チェックボックス	【チェックあり】 移動先 HVM を選択すると、自動で移動先 LPAR を選択 【チェックなし】(デフォルト) 移動先 HVM を選択しても、自動で移動先 LPAR を選択 しない	V01-01
13	〔  Show the LPARs チェックボックスに チェックがない場合利用可能〕 Migratable チェックボックス	【チェックあり】 Source ツリービューには ACT または DEACT の LPAR (移 動元として選択可能な LPAR) のみ表示 Destination ツリービューには Undefined LPAR (移動 先として選択可能な LPAR) のみ表示 【チェックなし】(デフォルト) Source ツリービュー, Destination ツリービューに全 LPAR を表示	V01-01

14	 Show the LPARs チェックボックスに チェックがない場合利用可能 Group チェックボックス	【チェックあり】 Source ツリービュー, Destination ツリービューに表 示する LPAR をプロセッサグループごとに表示 【チェックなし】(デフォルト) Source ツリービュー, Destination ツリービューに表 示する LPAR をプロセッサグループごとに表示しない	V01-01
15	Tree View チェックボックス	登録した HVM をツリービューまたはコンボボックスで 表示 【チェックあり】(デフォルト) 登録した HVM をツリービューで表示 【チェックなし】 登録した HVM をコンボボックスで表示	V01-00
16	Source フレーム	No. 16~22 は、  Show the LPARs チェックボックス にチェックがない場合利用可能	V01-00
17	Source ツリービュー	【Tree View チェックボックスにチェックあり】 移動元 LPAR を選択	V01-00
18	Chassis コンボボックス	【Tree View チェックボックスにチェックなし】	V01-00
19	HVM コンボボックス	マイグレーション可能な Chassis, HVM, LPAR のみを 表示	V01-00
20	LPAR コンボボックス	(1) 移動元シャーシを選択 (2) 移動元 HVM を選択 (3) 移動元 LPAR を選択	V01-00
21	Selected LPAR ラベル	選択した移動元 LPAR の LPAR 番号と LPAR 名称を表示	V01-01
22	Detail Information リスト	選択した移動元 LPAR の詳細情報を表示	V01-00
23	Destination フレーム	No. 23~31 は、  Show the LPARs チェックボックス にチェックがない場合利用可能	V01-00
24	Destination ツリービュー	【Tree View チェックボックスにチェックあり】 移動先 LPAR を選択	V01-00
25	Chassis コンボボックス	【Tree View チェックボックスにチェックなし】	V01-00
26	HVM コンボボックス	(1) 移動先シャーシを選択	V01-00
27	LPAR コンボボックス	(2) 移動先 HVM を選択 (3) 移動先 LPAR を選択	V01-00
28	Group コンボボックス	(4) 割り当てるプロセッサグループを選択 ※ (4) は、HVM バージョン 58-4x, 78-4x 以降の HVM を選択している場合利用可能	V01-01
29	Selected LPAR ラベル	選択した移動先 LPAR の LPAR 番号と LPAR 名称を表示	V01-01
30	Group ラベル	選択した移動先 LPAR のプロセッサグループのグルー プ番号とグループ名称を表示	V01-01
31	Detail Information リスト	選択した移動先 LPAR の詳細情報を表示	V01-00

32	Target フレーム	No. 32~38 は、  Show the LPARsチェックボックスにチェックがある場合利用可能	V01-01
33	Target ツリービュー	【Tree View チェックボックスにチェックあり】 リカバリする LPAR を選択	V01-01
34	Chassis コンボボックス	【Tree View チェックボックスにチェックなし】 (1) リカバリする LPAR が構築されているシャーシを選択 (2) リカバリする LPAR が構築されている HVM を選択 (3) リカバリする LPAR を選択	V01-01
35	HVM コンボボックス		V01-01
36	LPAR コンボボックス		V01-01
37	Selected LPAR ラベル	選択したりカバリ LPAR の LPAR 番号と LPAR 名称を表示	V01-01
38	Detail Information リスト	選択したりカバリ LPAR の詳細情報を表示	V01-01
39	Migration Setting フレーム		V01-00
40	migration option フレーム		V01-00
41	Shutdown Guest OS (Source) チェックボックス	マイグレーション対象の移動元 LPAR のゲスト OS シャットダウンを伴うか選択 【チェックあり】 シャットダウン実行 【チェックなし】(デフォルト) シャットダウン実行しない	V01-00
42	Activate Destination LPAR チェックボックス	マイグレーション後、移動先 LPAR の Activate 実行可否 【チェックあり】(デフォルト) Activate する 【チェックなし】 Activate しない(Deactivated のまま)	V01-00
43	Guest OS Information (for remote shutdown) フレーム	Shutdown Guest OS (Source) チェックボックスに【チェックあり】の場合利用可能	V01-00
44	OS Type コンボボックス	OS タイプを選択	V01-00
45	IP テキストボックス	IP アドレスを入力	V01-00
46	User ID テキストボックス	ユーザ ID を入力	V01-00
47	Password テキストボックス	パスワードを入力	V01-00
48	Forced shutdown チェックボックス	ユーザログイン時のゲスト OS シャットダウンの可否 ゲスト OS が Windows 2008 のみ有効な機能 【チェックあり】 シャットダウン可 【チェックなし】(デフォルト) シャットダウン不可	V01-00
49	Save ボタン	Guest OS Information (for remote shutdown) の設定内容を保存 (移動元 LPAR を選択するとクリック可能になる)	V01-00

50	Show Config ボタン	Migration Information リストで選択した行の移動元, 移動先 LPAR の構成情報を表示 Migration Config Viewer ウィンドウの表示/非表示	V01-01
51	Migration Execute ボタン /Recovery Execute ボタン (リカバリが必要な LPAR を選択した場合に Recovery Execute ボタンになる)	Confirmation ウィンドウを開く (本ウィンドウの必要項目を選択・入力するとクリック可能になる)	V01-00
52	Close ボタン	本ウィンドウを閉じる	V01-00
53	Confirmation ウィンドウ		V01-00
54	Source フレーム	設定した移動元 LPAR 情報を表示	V01-00
55	Destination フレーム	設定した移動先 LPAR 情報を表示	V01-00
56	Migration Option フレーム	設定したオプション機能情報を表示	V01-00
57	Target フレーム	設定したリカバリが必要な LPAR 情報を表示	V01-00
58	OK ボタン	【Migration ウィンドウで Migration Execute ボタンをクリックした場合】 本ウィンドウを閉じ、Migration Progress ウィンドウを表示 (Migration を実行) 【Migration ウィンドウで Recovery Execute ボタンをクリックした場合】 本ウィンドウを閉じ、Recovery Progress ウィンドウを表示 (Recovery を実行)	V01-00
59	Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる	V01-00
60	Migration Progress ウィンドウ		V01-00
61	プログレスバー	マイグレーションの進捗状況を表示	V01-00
62	Source フレーム	移動元 LPAR 情報を表示	V01-00
63	Destination フレーム	移動先 LPAR 情報を表示	V01-00
64	Progress Detail フレーム		V01-00
65	リスト	マイグレーションの進捗状況の詳細を表示	V01-00
66	Close ボタン	本ウィンドウを閉じる	V01-00
67	Recovery Progress ウィンドウ		V01-00
68	プログレスバー	リカバリの進捗状況を表示	V01-00
69	Target フレーム	リカバリが必要な LPAR 情報を表示	V01-00
70	Progress Detail フレーム		V01-00
71	リスト	リカバリの進捗状況の詳細を表示	V01-00
72	Close ボタン	本ウィンドウを閉じる	V01-00
73	Migration Policy ウィンドウ		V01-00
74	Policy Name コンボボックス	作成済みのポリシー名を選択	V01-00
75	New ボタン	サブウィンドウ (New Policy ウィンドウ) を表示 (ポリシー名を入力)	V01-00
76	New Policy ウィンドウ		V01-00
77	テキストボックス	新しいポリシーの名前を入力	V01-00
78	OK ボタン	新しいポリシーをテキストボックスに入力した名前で作成	V01-00
79	Cancel ボタン	新しいポリシーの作成を取り止める	V01-00

80	Modify ボタン/Release ボタン(トグルボタン)	【Modify】 ポリシーの内容変更モードにする 【Release】 ポリシーの内容変更モードを終了	V01-00
81	Save ボタン	編集したポリシーの内容を保存(上書き保存)	V01-00
82	Save as ボタン	編集したポリシーの内容を保存(名前を付けて保存) サブウインドウ(Save as Policy ウインドウ)を表示	V01-00
83	Save as Policy ウインドウ		V01-00
84	テキストボックス	保存するポリシーの名前を入力	V01-00
85	OK ボタン	編集中のポリシーをテキストボックスに入力した名前で保存	V01-00
86	Cancel ボタン	ポリシーの保存を取り止める	V01-00
87	Delete ボタン	サブウインドウ>Delete ウインドウ)を表示	V01-00
88	Delete ウインドウ		V01-00
89	OK ボタン	ポリシーを削除	V01-00
90	キャンセルボタン	ポリシーの削除を取り止める	V01-00
91	Execute/Stop ボタン	【Execute】 サブウインドウ(Confirmation ウインドウ)を表示 【Stop】 実行中のマイグレーションが完了した時点で、一旦ポリシー実行を停止させる 停止後にサブウインドウ(Confirmation ウインドウ)を表示	V01-00
92	Confirmation ウインドウ(Execute ボタンの場合)		V01-00
93	OK ボタン	ポリシーを実行 (Migration Progress ウインドウを表示)	V01-00
94	キャンセルボタン	ポリシーの実行を取り止める	V01-00
95	Confirmation ウインドウ(Stop ボタンの場合)		V01-00
96	End ボタン	ポリシー実行を終了	V01-00
97	Continue ボタン	ポリシー実行を再開する	V01-00
98	Policy Information フレーム		V01-00
99	Comment テキストボックス	編集中のポリシーについてのコメントを入力	V01-00
100	Add ボタン	Add Migration[ポリシー名]ウインドウを表示	V01-00
101	Up ボタン	選択した行のマイグレーション実行順番を1つ前にする	V01-00
102	Down ボタン	選択した行のマイグレーション実行順番を1つ後にする	V01-00
103	Delete ボタン	選択した行をポリシーから削除(行全体を選択すること)	V01-00
104	Show Config ボタン	Migration Information リストで選択した行の、移動元、移動先 LPAR の構成情報を表示 Migration Config Viewer ウインドウの表示/非表示	V01-01
105	Migration Information リスト	マイグレーション実行一覧を表示	V01-00

106	Migration Config Viewer ウィンドウ		V01-00
107	Server Configuration リスト	移動元, 移動先 LPAR のサーバ構成情報を表示	V01-00
108	HBA Configuration リスト	移動元, 移動先 LPAR の HBA 構成情報を表示	V01-00
109	Show Value チェックボックス	【チェックあり】 HBA Configuration リストの内容(移動元, 移動先の詳細データ)を表示 【チェックなし】(デフォルト) HBA Configuration リストの内容を表示しない	V01-00
110	NIC Configuration リスト	移動元, 移動先 LPAR の NIC 構成情報を表示	V01-00
111	Show Value チェックボックス	【チェックあり】 NIC Configuration リストの内容(移動元, 移動先の詳細データ)を表示 【チェックなし】(デフォルト) NIC Configuration リストの内容を表示しない	V01-00
112	Export to CSV ボタン	Export to CSV ウィンドウを表示(CSVに出力)	V01-00
113	Export to CSV ウィンドウ		V01-00
114	[本ウィンドウは Windows の標準機能に準拠]		V01-00
115	Close ボタン	本ウィンドウを閉じる	V01-00
116	Add Migration ウィンドウ		V01-00
117	Target Selection フレーム		V01-00
118	Migratable チェックボックス	【チェックあり】 Source ツリービューには ACT または DEACT の LPAR (移動元として選択可能な LPAR) のみ表示 Destination ツリービューには Undefined LPAR (移動先として選択可能な LPAR) のみ表示 【チェックなし】(デフォルト) Source ツリービュー, Destination ツリービューに全 LPAR を表示	V01-01
119	Group チェックボックス	【チェックあり】 Source ツリービュー, Destination ツリービューに表示する LPAR をプロセッサグループごとに表示 【チェックなし】(デフォルト) Source ツリービュー, Destination ツリービューに表示する LPAR をプロセッサグループごとに表示しない	V01-01
120	Tree View チェックボックス	登録した HVM をツリービューまたはコンボボックスで表示 【チェックあり】(デフォルト) 登録した HVM をツリービューで表示 【チェックなし】 登録した HVM をコンボボックスで表示	V01-00

121	Source フレーム		V01-00
122	Source ツリービュー	【Tree View チェックボックスにチェックあり】 移動元 LPAR を選択	V01-00
123	Chassis コンボボックス	【Tree View チェックボックスにチェックなし】 (1) 移動元シャーシを選択 (2) 移動元 HVM を選択 (3) 移動元 LPAR を選択	V01-00
124	HVM コンボボックス		V01-00
125	LPAR コンボボックス		V01-00
126	Selected LPAR ラベル	選択した移動元 LPAR の LPAR 番号と LPAR 名称を表示	V01-01
127	Detail Information リスト	選択した移動元 LPAR の詳細情報を表示	V01-00
128	Destination フレーム		V01-00
129	Destination ツリービュー	【Tree View チェックボックスにチェックあり】 移動先 LPAR を選択	V01-00
130	Chassis コンボボックス	【Tree View チェックボックスにチェックなし】 (1) 移動先シャーシを選択 (2) 移動先 HVM を選択 (3) 移動先 LPAR を選択 (4) 割り当てるプロセッサグループを選択 ※ (4) は、HVM バージョン 58-4x, 78-4x 以降の HVM を選択している場合利用可能	V01-00
131	HVM コンボボックス		V01-00
132	LPAR コンボボックス		V01-00
133	Group コンボボックス		V01-01
134	Selected LPAR ラベル	選択した移動先 LPAR の LPAR 番号と LPAR 名称を表示	V01-01
135	Group ラベル	選択した移動先 LPAR のプロセッサグループのグループ番号とグループ名称を表示	V01-01
136	Detail Information リスト	選択した移動先 LPAR の詳細情報を表示	V01-00
137	Migration Setting フレーム		V01-00
138	migration option フレーム		V01-00
139	Shutdown Guest OS (Source) チェックボックス	マイグレーション対象の移動元 LPAR のゲスト OS シャットダウンを伴うか選択 【チェックあり】 シャットダウン実行 【チェックなし】(デフォルト) シャットダウン実行しない	V01-00
140	Activate Destination LPAR チェックボックス	マイグレーション後、移動先 LPAR の Activate 実行可否 【チェックあり】(デフォルト) Activate する 【チェックなし】 Activate しない(Deactivated のまま)	V01-00

141		Guest OS Information (for remote shutdown) フレーム	Shutdown Guest OS (Source) チェックボックスに【チェックあり】の場合利用可能	V01-00
142		OS Type コンボボックス	OS タイプを選択	V01-00
143		IP テキストボックス	IP アドレスを入力	V01-00
144		UserID テキストボックス	ユーザ ID を入力	V01-00
145		Password テキストボックス	パスワードを入力	V01-00
146		Forced shutdown チェックボックス	ユーザログイン時のゲスト OS シャットダウンの可否 ゲスト OS が Windows 2008 のみ有効な機能 【チェックあり】 シャットダウン可 【チェックなし】(デフォルト) シャットダウン不可	V01-00
147		Save ボタン	Guest OS Information (for remote shutdown) の設定内容を保存 (移動元 LPAR を選択するとクリック可能になる)	V01-00
148	Show Config ボタン	Migration Information リストで選択した行の移動元、移動先 LPAR の構成情報を表示 Migration Config Viewer ウィンドウの表示/非表示	V01-01	
149	Add ボタン	Confirmation ウィンドウを開く (本ウィンドウの必要項目を選択・入力するとクリック可能になる)	V01-00	
150	Close ボタン	本ウィンドウを閉じる	V01-00	
151	Confirmation ウィンドウ			V01-00
152	Source フレーム	移動元 LPAR 情報を表示	V01-00	
153	Destination フレーム	移動先 LPAR 情報を表示	V01-00	
154	Migration Option フレーム	オプション機能情報を表示	V01-00	
155	OK ボタン	ポリシーにマイグレーションを登録し、本ウィンドウを閉じる	V01-00	
156	Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる	V01-00	
157	Migration Config Viewer ウィンドウ			V01-00
158	Server Configuration リスト	移動元、移動先 LPAR のサーバ構成情報を表示	V01-00	
159	HBA Configuration リスト	移動元、移動先 LPAR の HBA 構成情報を表示	V01-00	
160	Show Value チェックボックス	【チェックあり】 HBA Configuration リストの内容(移動元、移動先の詳細データ)を表示 【チェックなし】(デフォルト) HBA Configuration リストの内容を表示しない	V01-00	
161	NIC Configuration リスト	移動元、移動先 LPAR の NIC 構成情報を表示	V01-00	
162	Show Value チェックボックス	【チェックあり】 NIC Configuration リストの内容(移動元、移動先の詳細データ)を表示 【チェックなし】(デフォルト) NIC Configuration リストの内容を表示しない	V01-00	
163	Export to CSV ボタン	Export to CSV ウィンドウを表示(CSV に出力)	V01-00	
164	Export to CSV ウィンドウ			V01-00
165	[本ウィンドウは Windows の標準機能に準拠]			V01-00
166	Close ボタン	本ウィンドウを閉じる	V01-00	

167	Migration History ウィンドウ		V01-00
168	リスト	LPAR 毎にマイグレーションの移動履歴 (HVM ID, LPAR No.) を表示する (1 ページで 5 回分の履歴を表示)	V01-00
169	<< ボタン	最初のページを表示	V01-00
170	< ボタン	1 つ前のページを表示	V01-00
171	> ボタン	次のページを表示	V01-00
172	>> ボタン	最終ページを表示	V01-00
173	Close ボタン	本ウィンドウを閉じる	V01-00

8 ファームウェア更新

※導入または表示位置/名称を変更した最終バージョンを示す

No.	操作, 表示対象	説明	導入/ 変更 Ver. (※)
1	Main ウィンドウ (F/W Update タブ)		V02-01
2	Menu フレーム		V02-01
3	F/W Update ボタン	HVM Firmware Update ウィンドウ (Step1 : Select System Config ウィザード) を開く	V02-01
4	Show Version ボタン	Firmware Version List ウィンドウを開く	V02-01
5	F/W Update History フレーム		V02-01
6	Detail チェックボックス	F/W Update History リスト中の詳細情報の表示/非表示を切り替える 【チェックあり】 F/W Update History リスト中に詳細情報を表示する 【チェックなし】(デフォルト) F/W Update History リスト中に詳細情報を表示しない	V02-01
7	Show F/W Update History チェックボックス	F/W Update History ウィンドウの表示/非表示を切り替える 【チェックあり】 F/W Update History ウィンドウを表示する 【チェックなし】(デフォルト) F/W Update History ウィンドウを表示しない	V02-01
8	F/W Update History リスト	ファームウェア更新履歴を表示する	V02-01
9	HVM Firmware Update ウィンドウ (Step1 : Select System Config ウィザード)		V02-01
10	System List フレーム		V02-01
11	コンボボックス	HVM ファームウェア更新対象のシステム構成を選択する All configuration(デフォルト) 選択したシステムの構成は HVM List フレーム内のツリービューに表示する	V02-01
12	Update ボタン/Update Cancel ボタン (Update 実行中は Update Cancel ボタンになる)	【Update ボタンをクリックした場合】 選択したシステムに登録されている HVM 情報を更新する 【Update Cancel ボタンをクリックした場合】 HVM 情報の更新を取り止める	V02-01
13	HVM List フレーム		V02-01
14	ツリービュー	詳細情報を表示する項目 (Chassis, HVM) を選択する (選択した項目の詳細情報はリストに表示する)	V02-01
15	リスト (Chassis, HVM 情報)	ツリービューで選択した項目 (Chassis, HVM) の詳細情報を表示する	V02-01
16	Next ボタン	HVM Firmware Update ウィンドウ (Step2 : Select Update Version ウィザード) を進む	V02-01
17	Close ボタン	Close HVM Firmware Update ウィンドウを開く	V02-01
18	Close HVM Firmware Update ウィンドウ (Close ボタンを押下した場合)		V02-01
19	OK ボタン	HVM Firmware Update ウィンドウを閉じる	V02-01
20	Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる	V02-01

21	HVM Firmware Update ウィンドウ (Step2 : Select Update Version ウィザード)		V02-01
22	BladeSymphony 2000-DP チェックボックス	更新後の BladeSymphony 2000-DP 用 HVM ファームウェア選択の有効/無効を切り替える 【チェックあり】 HVM ファームウェア選択を有効にする 【チェックなし】(デフォルト) HVM ファームウェア選択を無効にする	V02-01
23	コンボボックス	更新後の BladeSymphony 2000-DP 用 HVM ファームウェアバージョンを選択する	V02-01
24	Select ボタン	更新後の BladeSymphony 2000-DP 用 HVM ファームウェアの登録ディレクトリを指定する	V02-01
25	BladeSymphony 2000-MP チェックボックス	更新後の BladeSymphony 2000-MP 用 HVM ファームウェア選択の有効/無効を切り替える 【チェックあり】 HVM ファームウェア選択を有効にする 【チェックなし】(デフォルト) HVM ファームウェア選択を無効にする	V02-01
26	コンボボックス	更新後の BladeSymphony 2000-MP 用 HVM ファームウェアバージョンを選択する	V02-01
27	Select ボタン	更新後の BladeSymphony 2000-MP 用 HVM ファームウェアの登録ディレクトリを指定する	V02-01
28	BladeSymphony 320 チェックボックス	更新後の BladeSymphony 320 用 HVM ファームウェア選択の有効/無効を切り替える 【チェックあり】 HVM ファームウェア選択を有効にする 【チェックなし】(デフォルト) HVM ファームウェア選択を無効にする	V02-01
29	コンボボックス	更新後の BladeSymphony 320 用 HVM ファームウェアバージョンを選択する	V02-01
30	Select ボタン	更新後の BladeSymphony 320 用 HVM ファームウェアの登録ディレクトリを指定する	V02-01
31	Back ボタン	HVM Firmware Update ウィンドウ (Step1 : Select System Config ウィザード)に戻る	V02-01
32	Next ボタン	HVM Firmware Update ウィンドウ (Step3 : Select Target Version ウィザード)に進む	V02-01
33	Close ボタン	HVM Firmware Update ウィンドウ (Step1 : Select System Config ウィザード)の「Close ボタン」の説明を参照ください	V02-01

34	HVM Firmware Update ウィンドウ (Step3 : Select Target Version ウィザード)		V02-01
35	BladeSymphony 2000-DP チェックボックス	更新対象の BladeSymphony 2000-DP 用 HVM 選択の有効/無効を切り替える 【チェックあり】 HVM ファームウェア選択を有効にする 【チェックなし】 (デフォルト) HVM ファームウェア選択を無効にする	V02-01
36	コンボボックス (Target HVM F/W Version : From)	更新対象の BladeSymphony 2000-DP 用 HVM ファームウェアバージョン (最古) を選択する	V02-01
37	Target Range チェックボックス	更新対象の BladeSymphony 2000-DP 用 HVM ファームウェアバージョン (最新) 選択の有効/無効を切り替える 【チェックあり】 (デフォルト) HVM ファームウェアバージョン (最新) 選択を有効にする 【チェックなし】 HVM ファームウェアバージョン (最新) 選択を無効にする	V02-01
38	コンボボックス (Target HVM F/W Version : To)	更新対象の BladeSymphony 2000-DP 用 HVM ファームウェアバージョン (最新) を選択する	V02-01
39	Update Version	更新後の BladeSymphony 2000-DP 用 HVM ファームウェアバージョンを表示する	V02-01
40	BladeSymphony 2000-MP チェックボックス	更新対象の BladeSymphony 2000-MP 用 HVM 選択の有効/無効を切り替える 【チェックあり】 HVM ファームウェア選択を有効にする 【チェックなし】 (デフォルト) HVM ファームウェア選択を無効にする	V02-01
41	コンボボックス (Target HVM F/W Version : From)	更新対象の BladeSymphony 2000-MP 用 HVM ファームウェアバージョン (最古) を選択する	V02-01
42	Target Range チェックボックス	更新対象の BladeSymphony 2000-MP 用 HVM ファームウェアバージョン (最新) 選択の有効/無効を切り替える 【チェックあり】 (デフォルト) HVM ファームウェアバージョン (最新) 選択を有効にする 【チェックなし】 HVM ファームウェアバージョン (最新) 選択を無効にする	V02-01
43	コンボボックス (Target HVM F/W Version : To)	更新対象の BladeSymphony 2000-MP 用 HVM ファームウェアバージョン (最新) を選択する	V02-01
44	Update Version	更新後の BladeSymphony2000-MP 用 HVM ファームウェアバージョンを表示する	V02-01
45	BladeSymphony 320 チェックボックス	更新対象の BladeSymphony 320 用 HVM 選択の有効/無効を切り替える 【チェックあり】 HVM ファームウェア選択を有効にする 【チェックなし】 (デフォルト) HVM ファームウェア選択を無効にする	V02-01

46	コンボボックス (Target HVM F/W Version : From)	更新対象の BladeSymphony320 用 HVM ファームウェアバージョン(最古)を選択する	V02-01
47	Target Range チェックボックス	更新対象の BladeSymphony320 用 HVM ファームウェアバージョン(最新)選択の有効/無効を切り替える 【チェックあり】(デフォルト) HVM ファームウェアバージョン(最新)選択を有効にする 【チェックなし】 HVM ファームウェアバージョン(最新)選択を無効にする	V02-01
48	コンボボックス (Target HVM F/W Version : To)	更新対象の BladeSymphony320 用 HVM ファームウェアバージョン(最新)を選択する	V02-01
49	Update Version	更新後の BladeSymphony320 用 HVM ファームウェアバージョンを表示する	V02-01
50	Back ボタン	HVM Firmware Update ウィンドウ (Step2 : Select Update Version ウィザード)に戻る	V02-01
51	Next ボタン	HVM Firmware Update ウィンドウ (Step4 : Select Target HVM ウィザード)に進む	V02-01
52	Close ボタン	HVM Firmware Update ウィンドウ (Step1 : Select System Config ウィザード)の「Close ボタン」の説明を参照ください	V02-01
53	HVM Firmware Update ウィンドウ (Step4 : Select Target HVM ウィザード)		V02-01
54	Select HVM List フレーム		V02-01
55	ツリービュー		V02-01
56	チェックボックス	更新対象の HVM を選択する 【チェックあり】(デフォルト) 更新対象の HVM に選択する 【チェックなし】 更新対象の HVM に選択しない	V02-01
57	リスト		V02-01
58	Detail チェックボックス	リスト中の HVM の詳細情報の表示/非表示を切り替える 【チェックあり】 リスト中の HVM の詳細情報を表示する 【チェックなし】(デフォルト) リスト中の HVM の詳細情報を表示しない	V02-01
59	チェックボックス	更新対象の HVM を選択する 【チェックあり】(デフォルト) 更新対象の HVM に選択する 【チェックなし】 更新対象の HVM に選択しない	V02-01
60	リスト(更新対象 HVM 情報)	更新対象 HVM の情報を表示する	V02-01

61	Back ボタン	HVM Firmware Update ウィンドウ (Step3 : Select Target Version ウィザード)に戻る	V02-01
62	Next ボタン	HVM Firmware Update ウィンドウ (Step5 : Set Verup License Key ウィザード)に進む	V02-01
63	Close ボタン	HVM Firmware Update ウィンドウ (Step1 : Select System Config ウィザード)の「Close ボタン」の説明を参照ください	V02-01
64	HVM Firmware Update ウィンドウ (Step5 : Set Verup License Key ウィザード)		V02-01
65	Select Verup License Key File ボタン	バージョンアップ用ライセンスキーファイルを選択する	V02-01
66	Verup License Key Setting List フレーム		V02-01
67	Detail チェックボックス	リスト中 (更新対象 HVM 情報) の詳細情報の表示/非表示を切り替える 【チェックあり】 リスト中 (更新対象 HVM 情報) に詳細情報を表示する 【チェックなし】 (デフォルト) リスト中 (更新対象 HVM 情報) に詳細情報を表示しない	V02-01
68	リスト (更新対象 HVM 情報)	更新対象 HVM 情報を表示、バージョンアップ用ライセンスキーを入力する	V02-01
69	Back ボタン	HVM Firmware Update ウィンドウ (Step4 : Select Target HVM ウィザード)に戻る	V02-01
70	Next ボタン	HVM Firmware Update ウィンドウ (Step6 : Check Connection ウィザード)に進む	V02-01
71	Close ボタン	HVM Firmware Update ウィンドウ (Step1 : Select System Config ウィザード)の「Close ボタン」の説明を参照ください	V02-01
72	HVM Firmware Update ウィンドウ (Step6 : Check Connection ウィザード)		V02-01
73	Password Setting List フレーム		V02-01
74	Detail チェックボックス	リスト中 (更新対象 HVM 情報) の詳細情報の表示/非表示を切り替える 【チェックあり】 リスト中 (更新対象 HVM 情報) に詳細情報を表示する 【チェックなし】 (デフォルト) リスト中 (更新対象 HVM 情報) に詳細情報を表示しない	V02-01
75	リスト (更新対象 HVM 情報)	更新対象 HVM 情報を表示、HVM Web システムのログインパスワードを入力する	V02-01
76	Information ボタン	Information ウィンドウを開く 本ボタンは Next ボタン押下後に表示される	V02-01
77	Back ボタン	HVM Firmware Update ウィンドウ (Step5 : Set Verup License Key ウィザード)に戻る	V02-01
78	Next ボタン	HVM Firmware Update ウィンドウ (Step7 : Execute Update ウィザード)に進む 本ボタン押下により、HVM Web システムとの接続確認を行うため、ウィザードの更新までに少々時間を要します	V02-01
79	Close ボタン	HVM Firmware Update ウィンドウ (Step1 : Select System Config ウィザード)の「Close ボタン」の説明を参照ください	V02-01

80	HVM Firmware Update ウィンドウ (Step7 : Execute Update ウィザード)		V02-01
81	HVM F/W Update List フレーム		
82	Detail チェックボックス	リスト中(更新対象 HVM 情報)の詳細情報の表示/非表示を切り替える 【チェックあり】 リスト中(更新対象 HVM 情報)に詳細情報を表示する 【チェックなし】(デフォルト) リスト中(更新対象 HVM 情報)に詳細情報を表示しない	V02-01
83	リスト(更新対象 HVM 情報)	更新対象 HVM 情報を表示する	V02-01
84	Back ボタン	HVM Firmware Update ウィンドウ (Step6 : Check Connection ウィザード)に戻る	V02-01
85	Next ボタン	Confirm ウィンドウを開く	V02-01
86	Close ボタン	HVM Firmware Update ウィンドウ (Step1 : Select System Config ウィザード)の「Close ボタン」の説明を参照ください	V02-01
87	Confirm ウィンドウ (Next ボタンを押下した場合)		V02-01
88	OK ボタン	HVM Firmware Update ウィンドウ (Step8 : Update Status ウィザード)に進み、HVM ファームウェアの更新を実行する	V02-01
89	Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる	V02-01
90	HVM Firmware Update ウィンドウ (Step8 : Update Status ウィザード)		V02-01
91	HVM F/W Update List フレーム		V02-01
92	Detail チェックボックス	リスト中(更新対象 HVM 情報)の詳細情報の表示/非表示を切り替える 【チェックあり】 リスト中(更新対象 HVM 情報)に詳細情報を表示する 【チェックなし】(デフォルト) リスト中(更新対象 HVM 情報)に詳細情報を表示しない	V02-01
93	チェックボックス	更新対象の HVM を選択する 【チェックあり】 更新対象の HVM に選択する 【チェックなし】(デフォルト) 更新対象の HVM に選択しない	V02-01
94	リスト(更新対象 HVM 情報)	更新対象 HVM 情報を表示する	V02-01
95	Information ボタン	Information ウィンドウを開く	V02-01
96	Retry ボタン	HVM ファームウェアの更新を再実行する 本ボタンはHVM ファームウェア更新が異常終了した場合に有効になる	V02-01
97	Finish ボタン	Close ウィンドウを開く 本ボタンはHVM ファームウェア更新が正常終了した場合に有効になる	V02-01
98	Close ボタン	Close ウィンドウを開く	V02-01
99	Close ウィンドウ (Finish ボタン、Close ボタンを押下した場合)		V02-01
100	OK ボタン	本ウィンドウ、HVM Firmware Update ウィンドウを閉じる	V02-01
101	Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる	V02-01

102	Firmware Version List ウィンドウ		V02-01
103	System List フレーム	HVM Firmware Update ウィンドウ (Step1 : Select System Config ウィザード) の「System List フレーム」の説明を参照ください	V02-01
104	Update ボタン/Update Cancel ボタン (Update 実行中は Update Cancel ボタンになる)	HVM Firmware Update ウィンドウ (Step1 : Select System Config ウィザード) の「Update ボタン/Update Cancel ボタン」の説明を参照ください	V02-01
105	Export ボタン	F/W Version List の表示内容を CSV ファイルに出力する	V02-01
106	F/W Version List	HVM の詳細情報を表示する	V02-01
107	Close ボタン	本ウィンドウを閉じる	V02-01
108	F/W Update History ウィンドウ		V02-01
109	リスト	HVM 毎にファームウェアの更新履歴 (HVM ID, ファームウェアバージョン) を表示する (1 ページで 5 回分の履歴を表示)	V02-01
110	<< ボタン	最初のページを表示する	V02-01
111	< ボタン	1 つ前のページを表示する	V02-01
112	> ボタン	次のページを表示する	V02-01
113	>> ボタン	最終ページを表示する	V02-01
114	Close ボタン	本ウィンドウを閉じる	V02-01

9 メッセージ一覧

Virtage Navigator 操作において、表示されるメッセージの一覧を下記に示します。

表 9-1 メッセージ一覧

メッセージ内に記載されている [x] については補足内容を参照ください。

コード	メッセージ	補足内容	対処方法
00000000	Success.	—	—
10000001	HVM 情報の更新に失敗しました。 HVM IP Address: {0} HVM の電源状態やネットワーク状況を確認してください。	{0}:HVM の IP アドレス	メッセージに従い、対処してください。
10000002	HVM の起動が完了しているにもかかわらず、HVM 情報が取得できない場合は以下を確認してください。 1. HVM に登録されている IP アドレスの設定値が正しいこと。 2. このコンピュータの IP アドレスが BSM IP アドレスとして登録されていること。 3. このコンピュータと HVM 間のネットワークに問題がないこと。 4. このコンピュータに複数の IP アドレスが登録されている場合、Option 画面 - HVM Connection - Communicate IP Address に、HVM との通信に使用する IP アドレスが登録してあること。 確認後、本メッセージウィンドウを閉じてください。	—	メッセージに従い、対処してください。
10000003	HVM 情報が最新ではない可能性があります。 HVM の電源状態やネットワーク状況を確認し、Update 操作を行ってください。	—	メッセージに従い、対処してください。
10000010	使用可能ライセンス時の上限 {0} を超えたため、HVM 情報の登録に失敗しました。 HVM IP Address : {1} Profile から、不要な HVM 登録を削除してください。	{0}:使用可能 HVM 数 {1}:HVM の IP アドレス	メッセージに従い、対処してください。
10000011	HVM 情報の保存に失敗しました。 HVM IP Address : {0} ディスクの容量やアクセス状況を確認してください。	{0}:HVM の IP アドレス	メッセージに従い、対処してください。
10000012	HVM 情報の保存に失敗しました。 HVM IP Address : {0} 利用可能メモリが不足しています。 下記を実施しても改善されない場合は、Virtage Navigator を再起動してください。 ・他のアプリケーションを終了させてください。 ・Virtage Navigator の他のウィンドウを閉じてください。	{0}:HVM の IP アドレス	メッセージに従い、対処してください。
10000013	HVM 情報の保存に失敗しました。 HVM IP Address : {0} ----- Internal error occurred. Status :{1}	{0}:HVM の IP アドレス {1}:内部ステータス	弊社サポートサービスへお問い合わせください。

コード	メッセージ	補足内容	対処方法
10000014	複数の操作が実行されているため、処理がタイムアウトしました。 HVM IP Address : {0} しばらく経ってから、再度実行してください。	{0}:HVM の IP アドレス	メッセージに従い、対処してください。
10000020	HVM の構成情報の保存中にアプリケーションの内部障害が発生しました。	—	弊社サポートサービスへお問い合わせください。
10000021	情報の保存に失敗しました。 ディスクの容量やアクセス状況を確認してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
10000022	履歴ログの保存に失敗しました。 ディスクの容量やアクセス状況を確認してください。 もう一度、履歴ログの保存を行う場合は OK をクリックしてください。履歴ログの保存をあきらめる場合は Cancel をクリックしてください。	—	メッセージに従い、対処してください。
10000030	Get Technical Information is completed.	—	—
10000031	Stop the Get Technical Information. Are you sure? Retry if stopped.	—	処理を中断した場合は、再度実行してください。
10000032	Failed to Get Technical Information. detail: {0} Check the folder and computer, and retry.	{0}:VirtGetLogs のエラーメッセージ	情報の出力先状態を確認後、再度実行してください。
10000033	Failed to Get Technical Information. Check the folder and computer, and retry.	—	情報の出力先状態を確認後、再度実行してください。
1000003F	Internal error occurred. Reboot the program and retry.	—	Virtage Navigator を再起動後、再度実行してください。
1000010x	R-KVM Application (ReClient) が検出できませんでした。 R-KVM Application (ReClient) のインストール状況を確認してください。	x:0,1(内部ステータス)	メッセージに従い、対処してください。
1000011x	Internet Explorer の起動時にエラーが発生しました。 Internet Explorer のインストール状況を確認してください。	x:内部ステータス	メッセージに従い、対処してください。
10000200	Terminal Application のパスが設定されていません。 Option 画面 - Other - Terminal Application Setting - Path に、Application の実行ファイルを設定してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
10000201	Terminal Application のパスにファイルが存在していません。 Option 画面 - Other - Terminal Application Setting - Path の設定を確認してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
1000020F	Terminal Application の起動時にエラーが発生しました。 画面を閉じてから、再度実行してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
10000210	必要なマクロファイルが存在しません。 ファイル名 : {0} ユーザズガイドに従って、マクロファイルを作成してください。	{0}:マクロファイル名称	メッセージに従い、対処してください。
10000211	指定された HVM に対して、本機能はサポートされていません。 HVM IP Address : {0} サポート状況を確認してください。	{0}:HVM の IP アドレス	メッセージに従い、対処してください。

コード	メッセージ	補足内容	対処方法
10001000	実行中の処理は中断され、未保存のデータは保存されません。 よろしいですか？	—	メッセージに従い、対処してください。
10001001	画面を閉じてよろしいですか？	—	メッセージに従い、対処してください。
10001002	エラー終了した HVM があります。 リトライを行わずに画面を閉じます。 よろしいですか？	—	メッセージに従い、対処してください。
10001003	終了処理を行っています。 しばらくお待ちください。	—	—
10001004	実行中の処理を中断して、画面を閉じます。 よろしいですか？	—	メッセージに従い、対処してください。
10002000	未保存のデータは保存されません。 よろしいですか？	—	メッセージに従い、対処してください。
20000101	共有 NIC が存在しません。 NIC のスケジュールモードを共有にしてください。	—	メッセージに従い、対処してください。
20000102	設定された数の LPAR を作成できません。 {0} LPAR 以下の値を設定してください。	{0} : 作成可能 LPAR 数	メッセージに従い、対処してください。
20000103	内部エラーが発生しました。HVM IP Address : {0} Virtage Navigator を再起動後、再度実行してください。	{0} : HVM の IP アドレス	メッセージに従い、対処してください。
20000104	割り当て可能な共有 NIC が不足しています。 共有 NIC のセグメント状態を確認してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
20000105	割り当て可能な共有 FC が不足しています。 共有 FC のポート状態を確認してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
20000107	最大 LPAR 数まで定義されているため、LPAR を作成できません。 LPAR 定義されている LPAR 数を確認してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
20000108	割り当てプロセッサ数が不正です。 {0} プロセッサから {1} プロセッサの値を設定してください。	{0} : 割り当て共有プロセッサ数の最小値 {1} : 割り当て共有プロセッサ数の最大値	メッセージに従い、対処してください。
20000109	割り当てメモリ容量が不正です。 {0} MB から {1} MB の値を設定してください。	{0} : 割り当てメモリ容量の最小値 {1} : 割り当てメモリ容量の最大値	メッセージに従い、対処してください。
20000110	共有 FC が存在しません。 FC のスケジュールモードを共有に設定してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
20000111	割り当てメモリ容量の単位が不正です。 {0} MB 単位で設定してください。	{0} : 割り当てメモリ容量の単位	メッセージに従い、対処してください。
20000401	他の端末から構成情報が変更されました。LPAR 番号 : {0} Update を実行後、再度 LPAR 数の設定から処理を実行してください。	{0} : LPAR 番号	メッセージに従い、対処してください。
20000402	LPAR No. {0} の設定変更が失敗しました。 {1} 再度 LPAR 数の設定から処理を実行してください。	{0} : LPAR 番号 {1} : 詳細エラー内容	メッセージに従い、対処してください。
20000501	LPAR の削除に失敗しました。LPAR 番号 : {0} 再度、処理を実行してください。	{0} : LPAR 番号	メッセージに従い、対処してください。

コード	メッセージ	補足内容	対処方法
20000601	構成情報の保存に失敗しました。HVM IP Address : {0} 再度構成情報の保存を実行してください。	{0}:HVM の IP アドレス	メッセージに従い、対処してください。
20000701	本機能がサポートする最大 LPAR 数まで定義されています。 LPAR 定義されている LPAR 数を確認してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
20000801	LPAR の削除が失敗しました。LPAR 番号 : {0} {1}	{0}:LPAR 番号 {1}:HvmSh のエラーメッセージ	HvmSh エラーメッセージ一覧に従い、対処してください。
20000802	LPAR の追加が失敗しました。LPAR 番号 : {0} {1}	{0}:LPAR 番号 {1}:HvmSh のエラーメッセージ	HvmSh エラーメッセージ一覧に従い、対処してください。
20000803	LPAR 名の設定が失敗しました。LPAR 番号 : {0} {1}	{0}:LPAR 番号 {1}:HvmSh のエラーメッセージ	HvmSh エラーメッセージ一覧に従い、対処してください。
20000804	メモリの変更が失敗しました。LPAR 番号 : {0} {1}	{0}:LPAR 番号 {1}:HvmSh のエラーメッセージ	HvmSh エラーメッセージ一覧に従い、対処してください。
20000805	プロセッサの変更が失敗しました。LPAR 番号 : {0} {1}	{0}:LPAR 番号 {1}:HvmSh のエラーメッセージ	HvmSh エラーメッセージ一覧に従い、対処してください。
20000806	共有 NIC の変更が失敗しました。LPAR 番号 : {0} {1}	{0}:LPAR 番号 {1}:HvmSh のエラーメッセージ	HvmSh エラーメッセージ一覧に従い、対処してください。
20000807	PCI デバイスの変更が失敗しました。LPAR 番号 : {0} {1}	{0}:LPAR 番号 {1}:HvmSh のエラーメッセージ	HvmSh エラーメッセージ一覧に従い、対処してください。
20000808	論理プロセッサアイドル検出機能の更新が失敗しました。 LPAR 番号 : {0} {1}	{0}:LPAR 番号 {1}:HvmSh のエラーメッセージ	HvmSh エラーメッセージ一覧に従い、対処してください。
20000809	自動 Activate の変更が失敗しました。LPAR 番号 : {0} {1}	{0}:LPAR 番号 {1}:HvmSh のエラーメッセージ	HvmSh エラーメッセージ一覧に従い、対処してください。
20000810	論理 SEL の自動クリアの変更が失敗しました。LPAR 番号 : {0} {1}	{0}:LPAR 番号 {1}:HvmSh のエラーメッセージ	HvmSh エラーメッセージ一覧に従い、対処してください。
20000811	プロセッサキャッピング機能の変更が失敗しました。LPAR 番号 : {0} {1}	{0}:LPAR 番号 {1}:HvmSh のエラーメッセージ	HvmSh エラーメッセージ一覧に従い、対処してください。
20000812	仮想 COM の変更が失敗しました。LPAR 番号 : {0} {1}	{0}:LPAR 番号 {1}:HvmSh のエラーメッセージ	HvmSh エラーメッセージ一覧に従い、対処してください。
20000813	Pre-boot ファームウェアの変更が失敗しました。LPAR 番号 : {0} {1}	{0}:LPAR 番号 {1}:HvmSh のエラーメッセージ	HvmSh エラーメッセージ一覧に従い、対処してください。
20000814	LPAR の論理プロセッサの割り当て変更が失敗しました。LPAR 番号 : {0}, プロセッサ番号 : {1} {2}	{0}:LPAR 番号 {1}:プロセッサ番号 {2}:HvmSh のエラーメッセージ	HvmSh エラーメッセージ一覧に従い、対処してください。

コード	メッセージ	補足内容	対処方法
20000815	プロセッサグループ名の設定が失敗しました。プロセッサグループ番号：{0} {1}	{0}:プロセッサグループ番号 {1}:HvmSh のエラーメッセージ	HvmSh エラーメッセージ一覧に従い、対処してください。
20000816	物理プロセッサコアのグループ変更が失敗しました。プロセッサグループ番号：{0}、プロセッサ番号：{1} {2}	{0}:プロセッサグループ番号 {1}:プロセッサ番号 {2}:HvmSh のエラーメッセージ	HvmSh エラーメッセージ一覧に従い、対処してください。
20000817	物理プロセッサの縮退が失敗しました。プロセッサ番号：{0} {1}	{0}:プロセッサ番号 {1}:HvmSh のエラーメッセージ	HvmSh エラーメッセージ一覧に従い、対処してください。
20000818	パケットフィルタの設定が失敗しました。セグメント番号：{0} {1}	{0}:セグメント番号 {1}:HvmSh のエラーメッセージ	HvmSh エラーメッセージ一覧に従い、対処してください。
20000819	パケットフィルタの設定が失敗しました。セグメント番号：{0} Update を実行し、再度実行してください。	{0}:セグメント番号	メッセージに従い、対処してください。
20000820	システム情報の設定が失敗しました。 {0}	{0}:HvmSh のエラーメッセージ	HvmSh エラーメッセージ一覧に従い、対処してください。
20000821	他の端末より LPAR 情報が更新されています。LPAR 番号：{0} Update を実行し、再度実行してください。	{0}:LPAR 番号	メッセージに従い、対処してください。
20000822	LPAR の更新情報の取得に失敗しました。LPAR 番号：{0} {1}	{0}:LPAR 番号 {1}:HvmSh のエラーメッセージ	HvmSh エラーメッセージ一覧に従い、対処してください。
20000823	USB デバイスの更新が失敗しました。LPAR 番号：{0} {1}	{0}:LPAR 番号 {1}:HvmSh のエラーメッセージ	HvmSh エラーメッセージ一覧に従い、対処してください。
20000824	LPAR の追加が失敗しました。LPAR 番号：{0} {1}	{0}:LPAR 番号 {1}:HvmSh のエラーメッセージ	HvmSh エラーメッセージ一覧に従い、対処してください。
20000825	LPAR の削除が失敗しました。LPAR 番号：{0} {1}	{0}:LPAR 番号 {1}:HvmSh のエラーメッセージ	HvmSh エラーメッセージ一覧に従い、対処してください。
20000826	プロセッサグループの追加が失敗しました。Group 番号：{0} {1}	{0}:プロセッサグループ番号 {1}:HvmSh のエラーメッセージ	HvmSh エラーメッセージ一覧に従い、対処してください。
20000827	プロセッサグループの削除が失敗しました。Group 番号：{0} {1}	{0}:プロセッサグループ番号 {1}:HvmSh のエラーメッセージ	HvmSh エラーメッセージ一覧に従い、対処してください。
20000901	共有 FC の割り当て更新に失敗しました。LPAR 番号：{0} {1}	{0}:LPAR 番号 {1}:HvmSh のエラーメッセージ	HvmSh エラーメッセージ一覧に従い、対処してください。

コード	メッセージ	補足内容	対処方法
20000A01	PCI スケジュールモードの変更は失敗しました。 HVM IP Address : {0} {1}	{0}:HVM の IP アドレス {1}:メッセージ	メッセージに従い、対処してください。
20000B01	ユーザ要求処理が失敗しました。 HVM IP Address : {0} {1}	{0}:HVM の IP アドレス {1}:HvmSh のエラーメッセージ	HvmSh エラーメッセージ一覧に従い、対処してください。
20000B02	ユーザ要求処理がタイムアウトしました。 HVM IP Address : {0} 再度、処理を実行してください。	{0}:HVM の IP アドレス	メッセージに従い、対処してください。
20000C01	LPAR の追加に失敗しました。 LPAR 番号 : {0} 再度、処理を実行してください。	{0}:LPAR 番号	メッセージに従い、対処してください。
20000E01	共有 NIC のデバイス数設定が不正です。 HVM IP Address : {0} {1} デバイス以下の共有 NIC を設定してください。	{0}:HVM の IP アドレス {1}:共有 NIC デバイスの最大数	メッセージに従い、対処してください。
20000E02	共有 HBA のデバイス数設定が不正です。 HVM IP Address : {0} {1} デバイス以下の共有 HBA を設定してください。	{0}:HVM の IP アドレス {1}:共有 HBA デバイスの最大数	メッセージに従い、対処してください。
20000F01	他の端末から構成情報が変更されたため、 {0} 個目の LPAR 作成に失敗しました。 Update を実行し、再度 LPAR 数の設定から処理を実行してください。	{0}: LPAR 作成に失敗した LPAR の作成順	メッセージに従い、対処してください。
20000F02	{0} 個目の LPAR 作成に失敗しました。 Update を実行し、再度 LPAR 数の設定から処理を実行してください。	{0}: LPAR 作成に失敗した LPAR の作成順	メッセージに従い、対処してください。
20000xFF	内部エラーが発生しました。 HVM IP Address : {0} Virtage Navigator を再起動後、再度実行してください。	x=4-6, A-F (内部ステータス) {0}:HVM の IP アドレス	メッセージに従い、対処してください。
20000xFF	内部エラーが発生しました。 LPAR 番号 : {0} Virtage Navigator を再起動後、再度実行してください。	x=8, 9 (内部ステータス) {0}:LPAR 番号	メッセージに従い、対処してください。
20001001	HVM オプションの設定が失敗しました。 HVM IP Address : {0} {1}	{0}:HVM の IP アドレス {1}:HvmSh のエラーメッセージ	HvmSh エラーメッセージ一覧に従い、対処してください。
20001101	システム時刻の変更は失敗しました。 HVM IP Address : {0} {1}	{0}:HVM の IP アドレス {1}:HvmSh のエラーメッセージ	HvmSh エラーメッセージ一覧に従い、対処してください。
20001102	LPAR の SEL 時刻の変更は失敗しました。 LPAR 番号 : {0} {1}	{0}:HVM の IP アドレス {1}:HvmSh のエラーメッセージ	HvmSh エラーメッセージ一覧に従い、対処してください。

コード	メッセージ	補足内容	対処方法
20001103	LPAR の時刻合わせに失敗しました。 LPAR 番号 : {0} {1}	{0}:HVM の IP アドレス {1}:HvmSh のエラーメッセージ	HvmSh エラーメッセージ一覧に従い、対処してください。
2000FF01	ユーザー要求により処理を中断しました。	—	—
2000FFFF	内部エラーが発生しました。 Virtage Navigator を再起動後、再度実行してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
20020001	シャーシの種類が識別できませんでした。 シャーシの種類がサポート対象か確認してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
20020002	マネジメントモジュールのファームウェアのバージョンが識別できませんでした。 マネジメントモジュールのファームウェアバージョンがサポート対象か確認してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
20020003	未サポートの OS モードが設定されました。	—	OS モードの設定を確認してください。
20020004	VNIC System No の設定が正しくありません。 VNIC System No の設定を確認してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
2002FFFF	マネジメントモジュールとの通信中に障害が発生しました。 マネジメントモジュールのファームウェアバージョンと、ネットワークの接続を確認し、再度操作を実行してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
20030001	情報の更新は成功しましたが、内部エラーが発生しました。	—	弊社サポートサービスへお問い合わせください。
20030003	IP アドレスの形式に違反しています。 数値とドットで構成される IPv4 アドレスを設定してください。 (XXX.XXX.XXX.XXX)	—	メッセージに従い、対処してください。
20030004	使用しているコンピュータの IP アドレスが、管理サーバとして SVP に登録されていません。 管理サーバとして SVP に IP アドレスを登録しない場合、HVM 起動後の操作ができません。 続行しますか？	—	メッセージに従い、対処してください。
20030005	使用しているコンピュータの IP アドレスが、管理サーバとして SVP に登録されてなく CLI IP Address にも登録されていません。 IP アドレスを登録しない場合、HVM 起動後の操作ができません。 続行しますか？	—	メッセージに従い、対処してください。
20030200	以下のシャーシを検出しました。 ----- {0}	{0}:シャーシ情報	—
20030201	設定された IP アドレスの SVP は既に登録されているため、設定を上書きします。 よろしいですか？	—	メッセージに従い、対処してください。
20030202	未サポートのシャーシが検出されました。 Detected Chassis Type: {0} サポート状況を確認してください。	{0}:シャーシ種別	メッセージに従い、対処してください。
20030203	シャーシが選択されていません。	—	—

コード	メッセージ	補足内容	対処方法
20030204	以下のシャーシの登録を削除します。 ----- {0} よろしいですか？	{0}:シャーシ情報	メッセージに従い、対処してください。
20030300	Partitionが選択されていません。 Partitionを選択してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
20030301	設定されたPartitionは搭載されていません。 Partitionの状態を確認し、Refreshを実施してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
20030302	設定されたPartitionは初期化中です。 Partitionの状態を確認し、Refreshを実施してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
20030303	設定されたPartitionでエラーが発生しています。 Partitionのエラー状態を回復し、Refreshを実施してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
20030304	設定されたPartitionの状態が取得できません。 Partitionの状態を確認し、Refreshを実施してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
20030310	設定されたPartitionの電源がON、またはOFFではありません。 電源状態を確認し、Refreshを実施してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
20030311	設定されたPartitionの電源がOFFではありません。 電源状態を確認し、Refreshを実施してください。 なお、電源状態がOFF以外のPartitionを操作するには、HVM情報をProfileに登録しておく必要があります。	—	メッセージに従い、対処してください。
20030312	設定されたPartitionの電源がOFFではありません。 電源状態を確認し、Refreshを実施してください。 OSモードがHVM以外のPartitionを操作するには、電源状態がOFFである必要があります。	—	メッセージに従い、対処してください。
20030320	設定されたPartitionに対応するHVM情報がProfileに登録されています。 前回のHVM情報のUpdateから、以下の操作が行われていないことを確認してください。 ・ HVMスクリーン等によるHVM IPアドレスの変更。 ・ HVM構成情報のリストア、クリア。 ・ ブレード搭載位置の変更。 これらの操作が行われた場合、以降の操作が正常に行えなくなりますので、Cancelをクリックして、MainウィンドウのProfileタブからHVMを削除してください。 構成が一致している場合はOKをクリックしてください。	—	メッセージに従い、対処してください。
20030350	ファームウェアのバージョン組み合わせはよろしいですか？ 未サポートのファームウェアに本機能を適用すると、設定が適用されない場合があります。	—	メッセージに従い、対処してください。
20030402	HVM IDに設定できる最大文字数は16文字です。 設定値を確認してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
20030404	設定されたIPアドレスは既に使用されています。 設定値を確認してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
20030405	VNic System Noに設定できる値は1-128です。 設定値を確認してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
20030406	設定されたVNic System Noは既に使用されています。 設定値を確認してください。	—	メッセージに従い、対処してください。

コード	メッセージ	補足内容	対処方法
20030407	必要項目が設定されていません。 設定値を確認してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
20030409	サブネットマスクの形式に違反しています。 数値とドットで構成される IPv4 アドレスのサブネットマスクを設定してください。 (XXX.XXX.XXX.XXX)	—	メッセージに従い、対処してください。
20030410	設定されたブレードの HVM 情報が Profile から検出できないためこの操作は実行できません。 Profile に HVM を登録してから、再度実行してください。 既に登録されている場合は、HVM 情報の Update を実施してから再度実行してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
20030480	VNIC System No は、仮想 NIC の MAC アドレス（デフォルト値）の重複を防ぐため、MAC アドレス生成に使用されます。 VNIC System No は、BS1000、BS2000、BS320 などを含むすべてのシステム装置でユニークな値としてください。 他の HVM と重複した場合、LPAR の仮想 NIC の MAC アドレスが重複し、LPAR 上でのネットワーク通信ができなくなります。	—	メッセージに従い、対処してください。
20030481	HVM ID は、複数の HVM システムが存在する場合、それぞれを識別するため設定します。 HVM ID は、BS1000、BS2000、BS320 などを含むすべてのシステム装置でユニークな値としてください。設定しない場合は、HVM IP アドレスから自動生成されます。	—	メッセージに従い、対処してください。
20030500	設定されたブレードの電源が OFF ではありません。 電源状態を確認し、再度実行してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
20030501	OS モードを識別できませんでした。 Partition の状態を確認し、再度実行してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
20030502	電源 ON 監視をしています。 {0} 秒間経ちましたが、電源が ON になりませんでした。 継続して監視を続ける場合は、OK を選択してください。 監視をやめて、手動で電源を ON にする場合は Cancel を選択してください。 Cancel を選択すると、HVM の起動監視が開始されます。 なお、メモリの搭載量や Pre-configure の設定によっては時間がかかる場合があります。	{0} : 電源 ON 監視時間	メッセージに従い、対処してください。
20030503	電源 ON 監視をスキップしますがよろしいですか？ OK を選択する場合は、必ず手動で電源を ON にしてください。	—	メッセージに従い、対処してください。
20030504	HVM の起動に必要な BIOS 設定は、設定済みですか？	—	BIOS 設定が未設定の場合は、設定してください。
20030505	電源 ON の確認後、R-KVM Console (ReClient) が自動的に起動されるのでログインに必要なユーザ ID、パスワード等の情報を用意してください。 R-KVM Console の起動後、サーバブレードにログインし、ユーザズガイドに従い、BIOS セットアップメニューから設定を行ってください。	—	メッセージに従い、対処してください。

コード	メッセージ	補足内容	対処方法
20030506	対象の Partition で Pre-configure が未実行のため、処理を続行できません。 Pre-configure を実行後、再実行してください。 Pre-configure の実行方法については、ブレード装置のユーザーズガイドを参照してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
20030600	LPAR({0})に Virtual Console が設定されていません。 LPAR に Virtual Console を割り当て、Update を実施してください。	{0}: LPAR 番号 : LPAR 名称	メッセージに従い、対処してください。
20030601	LPAR が選択されていません。	—	—
20030602	LPAR が Activate されていません。	—	—
20030603	LPAR({0})に、R-KVM に使用する USB デバイスが割り当てられていません。 R-KVM に使用する USB デバイスを割り当て、Update を実施してください。	{0}: LPAR 番号 : LPAR 名称	メッセージに従い、対処してください。
20030604	LPAR({0})に、USB デバイスが割り当てられていません。 USB デバイスの割り当てを確認してください。	{0}: LPAR 番号 : LPAR 名称	メッセージに従い、対処してください。
20030605	LPAR {0} の USB デバイスを {1} します。 よろしいですか？	{0}: LPAR 番号 : LPAR 名称 {1}: "Attach" or "Detach"	メッセージに従い、対処してください。
20030606	LPAR {0} の USB デバイスを Detach 後、LPAR {1} の USB デバイスを Attach します。 よろしいですか？	{0}: LPAR 番号 : LPAR 名称 {1}: LPAR 番号 : LPAR 名称	メッセージに従い、対処してください。
20030607	R-KVM に使用する USB デバイスの識別ができませんでした。	—	—
20030620	継続して HVM Console による操作を行いますか？	—	メッセージに従い、対処してください。
20040001	シャーシ情報が見つかりませんでした。 IP アドレスの設定を確認してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
20040002	操作対象の BMC の IP アドレスが見つかりませんでした。	—	—
20040003	SVP の情報が見つかりませんでした。 SVP の情報を登録してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
20040004	操作対象のブレードの BMC 情報が見つかりませんでした。 ブレードの BMC 情報を登録してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30000101	メモリの設定値が正しくありません。 256MB (0.25GB) 単位で設定してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30000102	メモリの設定値が使用可能メモリ量を超えています。 使用可能メモリ量の範囲内で設定してください。 使用可能メモリ量 : {0}GB [{1}MB]	0: 利用可能メモリ (単位 GB) 1: 利用可能メモリ (単位 MB)	メッセージに従い、対処してください。
3000A001	SVP 情報が見つからないため、処理を続行できません。 SVP 情報を登録してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
3000A002	設定された IP アドレスは既に他の HVM として登録されています。 登録済み HVM ID: {0} 設定値を確認してください。	0: 登録済み HVM ID	メッセージに従い、対処してください。

コード	メッセージ	補足内容	対処方法
3000A003	設定された IP アドレスは既に他の BMC として登録されています。 登録済み シャーシ ID: {0} パーティション: {1} 変更を行いますか?	0: 登録済み シャーシ ID 1: パーティション番号	メッセージに従い、対処してください。
3000A004	設定された IP アドレスは既に他の SVP として登録されています。 登録済み シャーシ ID: {0} 設定値を確認してください。 登録済みシャーシの情報は Initial Setup 機能を使用して確認してください。	0: 登録済み シャーシ ID	メッセージに従い、対処してください。
3000A00A	指定された操作は、対象ブレードではサポートされていません。 サポート状況を確認してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30010101	対象の LPAR 情報の検索に失敗しました。 編集画面をいったん閉じて、再度実行してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30010102	対象のデバイスの動作モードが {0} ではありません。 対象のデバイスの動作モードを確認してください。	{0}: "Dedicate" or "Share"	メッセージに従い、対処してください。
30010103	割り当て可能な VNIC 番号がありません。 対象 LPAR の共有 NIC を減らすか、VNIC 番号の割り当てを確認してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30010104	割り当て対象の物理 NIC の検索に失敗しました。 HVM 情報の Update を実施し、再度実行してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30010105	割り当て可能な共有 NIC がありません。 デバイスの動作モードを変更して共有デバイスを増やしてください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30010110	割り当て対象の物理 HBA の検索に失敗しました。 HVM 情報の Update を実施し、再度実行してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30010111	対象の共有 HBA に vfcID の空きがありません。 不要な割り当てを解除するか、他の HBA を設定してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30020100	不正なデータが登録されているため、更新処理を実行できません。 Update ボタンをクリックし、再度設定を行ってください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30020101	LPAR 名に不正な文字が登録されています。 LPAR 名に使用できる文字は、'0' ~ '9', 'a' ~ 'z', 'A' ~ 'Z', '-', '_' です。 LPAR 名の先頭に使える文字は、'a' ~ 'z', 'A' ~ 'Z' となります。	—	メッセージに従い、対処してください。
30020102	LPAR 名が重複しています。重複 LPAR No : {0} LPAR 名を変更してください。	{0}: LPAR 番号	メッセージに従い、対処してください。
30020103	割り当てプロセッサ数が適切ではありません。 {0} 以下の値を設定してください。	{0}: 割り当て可能プロセッサ数の最大値	メッセージに従い、対処してください。
30020104	Activate 中の変更はできません。 Deactivate 後、変更を行ってください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30020105	占有プロセッサの場合、変更はできません。 共有プロセッサへ変更後、設定の変更を行ってください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30020106	サービス率が適切ではありません。 0 以上の値を設定してください。	—	メッセージに従い、対処してください。

コード	メッセージ	補足内容	対処方法
30020107	サービス率変更時、スケジュールモードを変更できません。	—	—
30020108	Activate 中の占有プロセッサに対し、変更はできません。 Deactivate 後、変更を行ってください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30020109	Activate 中の LPAR に対し、スケジュールモードと、プロセッサグループを同時に変更できません。 一旦コミット処理を実行するか、または Deactivate 後、設定変更を行ってください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30020110	プロセッサキャッピング変更時、スケジュールモードを「S」から「D」へ変更できません。	—	—
30020111	変更内容がコミットされるまで、変更前の LPAR 名と重複する値を設定する事はできません。重複 LPAR No : {0} 一旦コミット処理を実行後、LPAR 名の変更を行ってください。	{0} : LPAR No.	メッセージに従い、対処してください。
30020200	不正なデータが登録されているため、更新処理を実行できません。 Update ボタンをクリックし、再度設定を行ってください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30020201	割り当てプロセッサ番号が重複しています。重複割り当て Processor No : {0} LPAR 内で重複しないプロセッサ番号に変更してください。	{0} : プロセッサ番号	メッセージに従い、対処してください。
30020202	割り当てプロセッサ番号が適切ではありません。 0 ~ {0} のプロセッサ番号、または "A" (Auto) を設定してください。	{0} : 割り当て可能プロセッサ数の最大値	メッセージに従い、対処してください。
30020203	プロセッサを占有で割り当てている場合、Activate 中の変更はできません。 Deactivate 後、変更を行ってください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30020204	割り当てプロセッサ範囲外のため、変更はできません。 割り当てプロセッサ数変更後、設定を変更してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30020300	不正なデータが登録されているため、更新処理を実行できません。 Update ボタンをクリックし、再度設定を行ってください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30020301	プロセッサグループ名に不正な文字が登録されています。 プロセッサグループ名に使用できる文字は、'0' ~ '9', 'a' ~ 'z', 'A' ~ 'Z', '-', '_' です。 プロセッサグループ名の先頭に使える文字は、'a' ~ 'z', 'A' ~ 'Z' となります。	—	メッセージに従い、対処してください。
30020302	プロセッサグループ名が重複しています。重複 Group No : {0} 重複しない名称に変更してください。	{0} : プロセッサグループ番号	メッセージに従い、対処してください。
30020303	割り当て LPAR が起動中のため変更はできません。 対象 LPAR を Deactivate 後、変更を行ってください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30020304	ライセンスコア不足数を超える予備コアの指定はできません。不足数 : {0} 不足数を超えない範囲で設定してください。	{0} : ライセンスコア不足数	メッセージに従い、対処してください。
30020305	変更内容がコミットされるまで、変更前のプロセッサグループ名と重複する値を設定する事はできません。重複 Group No : {0} 一旦コミット処理を実行後、プロセッサグループ名の変更を行ってください。	{0} : プロセッサグループ番号	メッセージに従い、対処してください。

コード	メッセージ	補足内容	対処方法
30020500	不正なデータが登録されているため、更新処理を実行できません。 設定値を確認してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30020501	{0} が変更されています。 Commit を行ってから変更してください。	{0}: "Scheduling Mode(Schedule)" or "Device Assignment"	メッセージに従い、対処してください。
30020502	Attach/Detach は、選択した PCI Device が USB で LPAR が Activate 中の時しか実行できません。 選択を変更してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30020503	Attach/Detach は、PCI Device (USB) が未割り当ての時は実行できません。 選択を変更してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30020504	選択対象が不正なため、Attach/Detach を実行できません。 Attach/Detach は以下の条件を満たす場合に実行する事ができます。 ・ LPAR に USB が割り当てられている場合。 ・ PCI Device が USB の場合。 ・ LPAR が Activate 中の場合。	—	メッセージに従い、対処してください。
30020600	不正なデータが登録されているため、更新処理を実行できません。 設定値を確認してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30020601	不正な MAC アドレスです。 正しい MAC アドレスを設定してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30020602	MAC アドレスが重複しています。 重複しない MAC アドレスに変更してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30020610	不正な VLAN ID です。 VLAN ID は 1~4094 の範囲内で最大 {0} 個 {1} 設定できます。	{0}: 設定可能な VLAN ID 数 {1}: VLAN Mode	メッセージに従い、対処してください。
30020611	VLAN Mode (Tag) が {0} の時は、VLAN ID の最大設定可能数は {1} 個です。 設定数を {2} 個までにしてください。	{0}: VLAN Mode {1}: VLAN ID の最大設定可能数 {2}: VLAN ID の最大設定可能数	メッセージに従い、対処してください。
30020612	VLAN ID が設定されていません。 VLAN ID を設定してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30020613	VLAN Mode (Tag) が {0} の時は、VLAN ID を設定できません。 VLAN Mode (Tag) を {1} に変更してください。	{0}: VLAN Mode {1}: VLAN Mode	メッセージに従い、対処してください。
300206F0	本設定はネットワークセグメント識別子毎の設定です。 変更してもよろしいですか？	—	メッセージに従い、対処してください。
300206F1	変更内容がコミットされるまで、変更前の MAC アドレスと重複する値を設定する事はできません。重複 LPAR No: {0} 重複 VNIC No: {1} 一旦コミット処理を実行後、MAC アドレスの変更を行ってください。	{0}: LPAR No. {1}: VNIC No.	メッセージに従い、対処してください。
30020700	不正なデータが登録されているため、更新処理を実行できません。 設定値を確認してください。	—	メッセージに従い、対処してください。

コード	メッセージ	補足内容	対処方法
30020900	設定範囲が不正です。 設定値を確認してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30020901	設定された IP アドレスは既に使用されています。 設定値を確認してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30020902	HVM の IP アドレスが変更されると Virtage Navigator は Virtage に接続できなくなります。 設定値を確認してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30020903	HVM の IP アドレスが変更されると Virtage Navigator は Virtage に接続できなくなります。変更してもよろしいですか？ 設定値を確認してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30020904	{0} の IP アドレスが変更されると Virtage Navigator は Virtage に接続できなくなります。 設定値を確認してください。	{0} : "BSMx" (x=1-4)	メッセージに従い、対処してください。
30020905	管理サーバの IP アドレスが未登録のため、Virtage Navigator は Virtage に接続できなくなります。変更してもよろしいですか？	—	メッセージに従い、対処してください。
30020906	HVM の Subnet Mask が変更されると Virtage Navigator は Virtage に接続できなくなる可能性があります。	—	メッセージに従い、対処してください。
30020907	HVM の Default Gateway が変更されると Virtage Navigator は Virtage に接続できなくなる可能性があります。	—	メッセージに従い、対処してください。
30020908	HVM の動作モードが変更されると、コミットと同時に構成情報の保存と HVM のリブートを実行します。	—	メッセージに従い、対処してください。
30020909	HVM の動作モードが変更されると、コミットと同時に構成情報の保存を実行します。	—	メッセージに従い、対処してください。
3002090A	HVM の動作モードが変更されると、コミットと同時に構成情報の保存と HVM のリブートを実行します。 変更してもよろしいですか？	—	メッセージに従い、対処してください。
3002090B	HVM の動作モードが変更されると、コミットと同時に構成情報の保存を実行します。 変更してもよろしいですか？	—	メッセージに従い、対処してください。
3002090C	HVM のリブートが必要となるため、Activate 中の LPAR が存在する場合、変更する事ができません。 全ての LPAR を Deactivate 後、HVM の動作モードを変更してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
3002090D	HVM ID が不正です。 設定値を入力してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30020C00	HVM オプションの取得に失敗しました。 {0}	{0} : HvmSh のエラーメッセージ	HvmSh エラーメッセージ一覧に従い、対処してください。
30020C01	HVM オプションの取得を中断します。 よろしいですか？	—	メッセージに従い、対処してください。
30020F00	システムログの取得に失敗しました。 {0}	{0} : HvmSh のエラーメッセージ	HvmSh エラーメッセージ一覧に従い、対処してください。
30020F01	システムログの取得を中断します。 よろしいですか？	—	メッセージに従い、対処してください。

コード	メッセージ	補足内容	対処方法
30021200	未コミット状態です。変更内容はクリアされます。 よろしいですか？	—	メッセージに従い、対処してください。
30021201	{0} を {1} します。 よろしいですか？	{0}: "LPAR 番号 : LPAR 名称" or "プロセッサグループ番号 : プロセッサグループ名称" {1}: "Activate" or "Deactivate" or "Reactivate" or "Add" or "Remove"	メッセージに従い、対処してください。
30021202	コミット処理を行います。 よろしいですか？	—	メッセージに従い、対処してください。
30021203	Force Recovery 処理を行います。 よろしいですか？	—	メッセージに従い、対処してください。
30021204	HVM システムのシャットダウンを行います。 よろしいですか？	—	メッセージに従い、対処してください。
30021205	構成情報の保存を行います。 よろしいですか？	—	メッセージに従い、対処してください。
30021206	{0} の NVRAM を消去 (初期化) します。 よろしいですか？	{0}: LPAR 番号: LPAR 名称	メッセージに従い、対処してください。
30021207	LPAR {0} から LPAR {1} へ NVRAM のコピーを行います。 よろしいですか？	0: LPAR 番号 1: LPAR 番号	メッセージに従い、対処してください。
30021208	HVM のダンプを SVP へ出力します。 過去に作成したダンプファイルがある場合、上書きされます。 よろしいですか？	—	メッセージに従い、対処してください。
30021209	未コミット状態のため、処理を継続する事ができません。 コミット処理、または Update 処理を行った後、再度実行してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30021210	{0} の USB デバイスを {1} します。 よろしいですか？	{0}: LPAR 番号 : LPAR 名称 {1}: "Attach" or "Detach"	メッセージに従い、対処してください。
30021211	HVM System Logs へ移動します。 SysLog Update ボタンをクリックし、ダンプの出力結果を確認してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30021212	{0} の USB デバイスを Detach 後、 {1} の USB デバイスを Attach します。 よろしいですか？	{0}: LPAR 番号 : LPAR 名称 {1}: LPAR 番号 : LPAR 名称	メッセージに従い、対処してください。
30021213	選択した機能は、現在未サポートとなっております。	—	—
30021214	設定が変更されていないため、コミット処理を行う事ができません。	—	—
30021215	{0} に、R-KVM で使用する USB デバイスが割り当てられていません。 対象 LPAR を Deactivate 後、PCI Device Assignment で R-KVM に使用する USB デバイスの割り当てを行ってください。	{0}: LPAR 番号	メッセージに従い、対処してください。

コード	メッセージ	補足内容	対処方法
30021216	{0} に、R-KVM で使用する USB デバイスが割り当てられていません。 PCI Device Assignment で R-KVM に使用する USB デバイスの割り当てを行ってください。	{0} : LPAR 番号	メッセージに従い、 対処してください。
30021217	{0} の R-KVM を実行します。 よろしいですか？ また、以降に Activate, または Reactivate を実行した LPAR に、 R-KVM は Attach されます。	{0} : LPAR 番号 : LPAR 名称	メッセージに従い、 対処してください。
30021218	{0} の USB デバイスを Detach 後、 {1} の R-KVM を実行します。よろしいですか？ また、以降に Activate, または Reactivate を実行した LPAR に、R-KVM は Attach されます。	{0} : LPAR 番号 : LPAR 名称 {1} : LPAR 番号 : LPAR 名称	メッセージに従い、 対処してください。
30021222	選択した機能は、対象の HVM で未サポートとなっております。 ファームウェアの更新を実施し、最新のファームウェアを使用してください。	—	メッセージに従い、 対処してください。
30021223	HVM システムのリブートを行います。 よろしいですか？	—	メッセージに従い、 対処してください。
30021224	HVM システムのシャットダウンを行います。 未保存のデータは保存されません。 よろしいですか？	—	メッセージに従い、 対処してください。
30021225	HVM システムのリブートを行います。 未保存のデータは保存されません。 よろしいですか？	—	メッセージに従い、 対処してください。
3002121F	未コミットの内容は保存されません。 構成情報の保存を行ってよろしいですか？	—	メッセージに従い、 対処してください。
30021300	メモリ割り当て情報の取得に失敗しました。 {0}	{0} : HvmSh のエラー メッセージ	HvmSh エラーメッセージ一覧に従い、 対処してください。
30021301	LPAR No. {0} の Add に失敗しました。 {1}	{0} : LPAR 番号 {1} : HvmSh のエラー メッセージ	HvmSh エラーメッセージ一覧に従い、 対処してください。
30021302	プロセッサグループ (Group No. {0}) の Add に失敗しました。 {1}	{0} : プロセッサグループ 番号 {1} : HvmSh のエラー メッセージ	HvmSh エラーメッセージ一覧に従い、 対処してください。
30021303	HVM システム状態の取得に失敗しました。 {0}	0 : HvmSh のエラー メッセージ	HvmSh エラーメッセージ一覧に従い、 対処してください。
30021304	HVM システム状態の更新に失敗しました。 Virtage Navigator を再起動後、再度実行してください。	—	メッセージに従い、 対処してください。
30021305	HVM システムのシャットダウンに失敗しました。 {0}	{0} : HvmSh のエラー メッセージ	HvmSh エラーメッセージ一覧に従い、 対処してください。
30021306	Force Recovery に失敗しました。 {0}	{0} : HvmSh のエラー メッセージ	HvmSh エラーメッセージ一覧に従い、 対処してください。
30021307	HVM システムのシャットダウン要求を実行しました。	—	—

コード	メッセージ	補足内容	対処方法
30021308	Force Recovery が正常終了しました。	—	—
30021309	構成情報の保存に失敗しました。 {0}	{0}:HvmSh のエラーメッセージ	HvmSh エラーメッセージ一覧に従い、対処してください。
3002130A	構成情報の保存は正常終了しました。	—	—
3002130B	NVRAM のクリアに失敗しました。 {0}	{0}:HvmSh のエラーメッセージ	HvmSh エラーメッセージ一覧に従い、対処してください。
3002130C	NVRAM のクリアは正常終了しました。	—	—
3002130D	NVRAM のコピーに失敗しました。 {0}	{0}:HvmSh のエラーメッセージ	HvmSh エラーメッセージ一覧に従い、対処してください。
3002130E	NVRAM のコピーは正常終了しました。	—	—
3002130F	HVM ダンプの出力に失敗しました。 {0}	{0}:HvmSh のエラーメッセージ	HvmSh エラーメッセージ一覧に従い、対処してください。
30021310	HVM ダンプを SVP に出力しました。	—	—
30021311	論理 NIC の情報取得が失敗しました。 Virtage Navigator を再起動後、再度実行してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30021312	USB デバイス (LPAR No. {0}) の Attach に失敗しました。 {1}	{0}:LPAR 番号 {1}:HvmSh のエラーメッセージ	HvmSh エラーメッセージ一覧に従い、対処してください。
30021313	Update を中断します。 よろしいですか？	—	メッセージに従い、対処してください。
30021314	Cancel を中断します。 よろしいですか？	—	メッセージに従い、対処してください。
30021315	Force Recovery を中断します。 よろしいですか？ 中断を行った場合、実行結果を確認する事ができません。 数分後、Update ボタンをクリックし状態を確認してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30021316	構成情報保存処理を中断します。 よろしいですか？ 中断を行った場合、実行結果を確認する事ができません。 数分後、Update 処理を実行し、再度構成情報保存処理を実行してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30021317	HVM システムのシャットダウンを中断します。 よろしいですか？ 中断を行った場合、実行結果を確認する事ができません。 数分後、ブレードの電源を確認してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30021318	LPAR の Activate を中断します。 よろしいですか？ 中断を行った場合、実行結果を確認する事ができません。 数分後、Update ボタンをクリックし状態を確認してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30021319	LPAR の Deactivate を中断します。 よろしいですか？ 中断を行った場合、実行結果を確認する事ができません。 数分後、Update ボタンをクリックし状態を確認してください。	—	メッセージに従い、対処してください。

コード	メッセージ	補足内容	対処方法
3002131A	LPAR の Reactivate を中断します。 よろしいですか？ 中断を行った場合、実行結果を確認する事ができません。 数分後、Update ボタンをクリックし状態を確認してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
3002131B	LPAR の追加処理を中断します。 よろしいですか？ 中断を行った場合、実行結果を確認する事ができません。 数分後、Update ボタンをクリックし状態を確認してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
3002131C	LPAR の削除を中断します。 よろしいですか？ 中断を行った場合、実行結果を確認する事ができません。 数分後、Update ボタンをクリックし状態を確認してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
3002131D	プロセッサグループの追加処理を中断します。 よろしいですか？ 中断を行った場合、実行結果を確認する事ができません。 数分後、Update ボタンをクリックし状態を確認してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
3002131E	プロセッサグループの削除処理を中断します。 よろしいですか？ 中断を行った場合、実行結果を確認する事ができません。 数分後、Update ボタンをクリックし状態を確認してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
3002131F	PCI デバイスの Attach を中断します。 よろしいですか？ 中断を行った場合、実行結果を確認する事ができません。 数分後、Update ボタンをクリックし状態を確認してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30021320	PCI デバイスの Detach を中断します。 よろしいですか？ 中断を行った場合、実行結果を確認する事ができません。 数分後、Update ボタンをクリックし状態を確認してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30021321	NVRAM のクリアを中断します。 よろしいですか？ 中断を行った場合、実行結果を確認する事ができません。 数分後、Update 処理を実行し、再度 NVRAM のクリアを実行してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30021322	NVRAM のコピーを中断します。 よろしいですか？ 中断を行った場合、実行結果を確認する事ができません。 数分後、Update 処理を実行し、再度 NVRAM のコピーを実行してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30021323	HVM ダンプの出力を中断します。 よろしいですか？ 中断を行った場合、HVM System Logs で実行結果を確認してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30021324	コミット処理を中断します。 よろしいですか？ 中断を行った場合、実行結果を確認する事ができません。 数分後、Update ボタンをクリックし状態を確認してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30021325	メモリ割り当て情報の取得を中断します。 よろしいですか？	—	メッセージに従い、対処してください。

コード	メッセージ	補足内容	対処方法
30021326	LPAR No. {0} の Remove に失敗しました。 {1}	{0} : LPAR 番号 {1} : HvmSh のエラー メッセージ	HvmSh エラーメッセー ジ一覧に従い、対処し てください。
30021327	LPAR No. {0} の Activate に失敗しました。 {1}	{0} : LPAR 番号 {1} : HvmSh のエラー メッセージ	HvmSh エラーメッセー ジ一覧に従い、対処し てください。
30021328	LPAR No. {0} の Deactivate に失敗しました。 {1}	{0} : LPAR 番号 {1} : HvmSh のエラー メッセージ	HvmSh エラーメッセー ジ一覧に従い、対処し てください。
30021329	LPAR No. {0} の Reactivate に失敗しました。 {1}	{0} : LPAR 番号 {1} : HvmSh のエラー メッセージ	HvmSh エラーメッセー ジ一覧に従い、対処し てください。
30021330	プロセッサグループ (Group No. {0}) の Remove に失敗しまし た。 {1}	{0} : プロセッサグル ープ番号 {1} : HvmSh のエラー メッセージ	HvmSh エラーメッセー ジ一覧に従い、対処し てください。
30021331	USB デバイス (LPAR No. {0}) の Detach に失敗しました。 {1}	{0} : LPAR 番号 {1} : HvmSh のエラー メッセージ	HvmSh エラーメッセー ジ一覧に従い、対処し てください。
30021332	Boot Order (LPAR No. {0}) の取得に失敗しました。 {1}	{0} : LPAR 番号 {1} : HvmSh のエラー メッセージ	HvmSh エラーメッセー ジ一覧に従い、対処し てください。
30021333	Boot Order の取得に失敗しました。 Virtage Navigator を再起動後、再度実行してください。	—	メッセージに従い、対 処してください。
30021334	Boot Order (LPAR No. {0}) の取得に失敗しました。 対象 LPAR を Deactivate 後、EFI ブートデバイスの取得を行っ てください。	{0} : LPAR 番号	メッセージに従い、対 処してください。
30021335	Boot Order (LPAR No. {0}) の設定に失敗しました。 {1}	{0} : LPAR 番号 {1} : HvmSh のエラー メッセージ	HvmSh エラーメッセー ジ一覧に従い、対処し てください。
30021336	Boot Order (LPAR No. {0}) の設定に失敗しました。 対象 LPAR を Deactivate 後、EFI ブートデバイスの設定を行っ てください。	{0} : LPAR 番号	メッセージに従い、対 処してください。
30021338	FC (LPAR No. {0}) の設定に失敗しました。 {1}	{0} : LPAR 番号 {1} : HvmSh のエラー メッセージ	HvmSh エラーメッセー ジ一覧に従い、対処し てください。
30021339	Boot Order (LPAR No. {0}) の設定に失敗しました。 Virtage Navigator を再起動後、再度実行してください。	{0} : LPAR 番号	メッセージに従い、対 処してください。
3002133A	HVM システムのリポートに失敗しました。 {0}	{0} : HvmSh のエラー メッセージ	メッセージに従い、対 処してください。
3002133B	構成情報を更新後、HVM システムのリポート要求を実行しまし た。 数分後、Update ボタンをクリックし状態を確認してください。	—	メッセージに従い、対 処してください。 (リポートに要する時 間は、HVM システムの 構成によって異なり ます。)

コード	メッセージ	補足内容	対処方法
3002133C	HVM システムのリポートを中断します。 よろしいですか？ 中断を行った場合、実行結果を確認する事ができません。 数分後、ブレードの電源を確認してください。	—	メッセージに従い、対処してください。 (リポートに要する時間は、HVM システムの構成によって異なります。)
3002133D	HVM システムのリポート要求を実行しました。 数分後、Update ボタンをクリックし状態を確認してください。	—	メッセージに従い、対処してください。 (リポートに要する時間は、HVM システムの構成によって異なります。)
30021400	WWPN は 16 桁で設定を行わないとエラーになります。 設定値を確認してください。 -----	—	メッセージに従い、対処してください。
30021401	不正なデータが登録されているため、更新処理を実行できません。 設定値を確認してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30050101	SVP にログインできませんでした。 SVP の IP アドレス、または SVP の F/W Version を確認後、再度実行してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30050102	接続タイムアウトしました。 通信状態を確認後、再度実行してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30050103	SVP との接続に失敗しました。対象コマンド： {0} 通信状態を確認後、再度実行してください。	{0}：内部使用コマンド名称	メッセージに従い、対処してください。
30050105	{0} で SVP から失敗応答がありました。 Command： {1} SlotNo： {2} Code： {3} Message： {4} 状態確認後、再度実行してください。	{0}：内部使用コマンド説明 {1}：内部使用コマンド名称 {2}：対象 Partition 番号 {3}：内部使用コマンド種別 {4}：内部使用コマンドのエラーメッセージ	メッセージに従い、対処してください。
30050106	コマンド({0})の解析に失敗しました。 {1}コマンドの条件を確認してください。	{0}：内部コマンド名称 {1}：内部コマンド名称	メッセージに従い、対処してください。
30050107	既にログイン中です。 ログアウト後、再度実行してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30050108	SVP とのセッションが切れました。 通信状態を確認後、再度実行してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30050109	実行に必要なパラメータが設定されていません。 設定値を確認後、再度実行してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30050110	接続数の限界を超えています。 接続数を減らしてから再度実行してください。	—	メッセージに従い、対処してください。

コード	メッセージ	補足内容	対処方法
30050111	SVP にログインできませんでした。 SVP のユーザ ID, またはパスワードを確認後, 再度実行してください。	—	メッセージに従い, 対処してください。
300501FF	内部エラーが発生しました。 Virtage Navigator を再起動後, 再度実行してください。	—	メッセージに従い, 対処してください。
30050201	SVP の FTP サーバにログインできませんでした。 IP アドレス, ユーザ名, パスワードを確認してください。	—	メッセージに従い, 対処してください。
30050202	接続タイムアウトしました。 通信状態を確認後, 再度実行してください。	—	メッセージに従い, 対処してください。
30050203	ファイルの転送に失敗しました。 通信状態を確認後, 再度実行してください。	—	メッセージに従い, 対処してください。
30050204	転送タイムアウトしました。 通信状態を確認後, 再度実行してください。	—	メッセージに従い, 対処してください。
30050205	ファイルが存在しません。 転送元のファイルを確認してください。	—	メッセージに従い, 対処してください。
30050206	保存用ディレクトリが存在しません。 作成しますか?	—	メッセージに従い, 対処してください。
30050207	ファイルの転送に失敗しました。 通信状態を確認後, 再度実行してください。	—	メッセージに従い, 対処してください。
30050208	ファイルの削除に失敗しました。 ファイルが存在するか確認してください。	—	メッセージに従い, 対処してください。
300502FF	内部エラーが発生しました。 Virtage Navigator を再起動後, 再度実行してください。	—	メッセージに従い, 対処してください。
40000101	対象の HVM が見つかりませんでした。 HVM の Update を実施して, 再度実行してください。	—	メッセージに従い, 対処してください。
50000101	ファームウェアの更新処理を開始します。 よろしいですか?	—	メッセージに従い, 対処してください。
50000102	HVM F/W Version が未指定の場合, 次のステップに進むことができません。 HVM F/W Version を指定するか, 対象から外してください。	—	メッセージに従い, 対処してください。
50000103	{0} 用の HVM F/W が見つかりませんでした。 HVM F/W があるフォルダを選択してください。	{0}: サーバブレード種別	メッセージに従い, 対処してください。
50000104	HVM F/W の更新処理が正常終了後, HVM 構成情報の取得が失敗しました。 Virtage Navigator の情報が最新ではないため Update ボタンをクリックしてください。	—	メッセージに従い, 対処してください。
50000105	HVM F/W の更新処理が正常終了後, HVM 構成情報の取得がキャンセルされました。 Virtage Navigator の情報が最新ではないため Update ボタンをクリックしてください。	—	メッセージに従い, 対処してください。
50000106	有効なバージョンアップキーが見つかりませんでした。 バージョンアップキーの入力を確認してください。	—	メッセージに従い, 対処してください。
50000107	対象となる HVM F/W Version が存在しないため, 次のステップに進むことができません。 該当する機種を対象から外してください。	—	メッセージに従い, 対処してください。
50000108	キャンセルしました。 接続失敗の詳細を確認するには, Information ボタンをクリックしてください。	—	メッセージに従い, 対処してください。

コード	メッセージ	補足内容	対処方法
50000109	接続可能な HVM が見つかりませんでした。 接続失敗の詳細を確認するには、Information ボタンをクリックしてください。	—	メッセージに従い、対処してください。
5000010A	ファイル出力が正常終了しました。	—	—
5000010B	ファイル出力に失敗しました。 詳細：{0} 出力先フォルダの状態を確認後、再度実行してください。	{0}：詳細エラー情報	メッセージに従い、対処してください。
5000010C	HVM ファームウェア更新を終了します。 よろしいですか？	—	メッセージに従い、対処してください。
FFFFFF101	Internal error. : Invalid Parameter. {0} : {1}	{0}：パラメータ名称 {1}：パラメータ値	弊社サポートサービスへお問い合わせください。
FFFFFF102	Timeout error occurred. (Lock) しばらく経ってから、再度実行してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
FFFFFFFB	{0} の処理中に内部障害が発生しました。	{0}：処理内容	弊社サポートサービスへお問い合わせください。
FFFFFFFC	ユーザ操作により、キャンセルされました。	—	—
FFFFFFFD	{0} 画面の操作で内部障害が発生しました。 一度画面を閉じてから、もう一度操作を行ってください。	{0}：画面名称	メッセージに従い、対処してください。
FFFFFFFE	Unknown internal error.	—	弊社サポートサービスへお問い合わせください。
FFFFFFF	Unknown internal error. : Internal Code : {0}	{0}：内部ステータス	弊社サポートサービスへお問い合わせください。

Virtage Navigator 操作において、表示されるメッセージの一部に使用する HvmSh エラーメッセージの一覧を下記に示します。

表 9-2 HvmSh エラーメッセージ一覧

メッセージ コード	メッセージ	説明	対処方法
10020001	Response Timeout.	対象のホストからの応答がありませんでした。	指定した対象ホスト(操作先 HVM)が正常に動作していることを確認してください。正常に動作している場合は再実行してください。
10030001	Failed to bind.	bind に失敗しました。	通信構成を確認してください。
上記以外	HVM 管理コマンド(HvmSh)ユーザーズガイドを参照してください。		

10 変更来歴

Virtage Navigator ユーザーズガイド 操作リファレンス編の変更来歴を下記に示します。

表 10-1 Virtage Navigator ユーザーズガイド 操作リファレンス編 変更来歴

Version	Revision	章	変更内容
V01-00	1.01	—	初版
V01-01	1.10	全 般	新規ウインドウ・表示項目・操作等の項目に、“導入/変更 Ver.”欄を追加し、導入バージョンまたは更新バージョンを記載しました。
		5 6 7	Virtage Navigator V01-01 機能追加に合わせ、内容の変更を行いました。
		5	【名称変更】 (1)No. 7 RT View 列 View ボタン→Realtime View 列 View ボタン (2)No. 8 Hist View 列 View ボタン→History View 列 View ボタン (3)No. 11 Setting 列 Setting ボタン→Threshold 列 Threshold ボタン (4)No. 15 Setting ボタン→Threshold ボタン (5)No. 28 RealTime ボタン→Realtime ボタン (6)No. 44 HVM Monitor RT Viewer[HVM_ID : HVM_IP]ウインドウ →HVM Monitor Realtime Viewer[HVM_ID : HVM_IP]ウインドウ (7)No. 45 メニューリスト(Line Mode)→メニューリスト(Graph Style) (8)No. 53 メニューリスト(Graph Mode)→メニューリスト(Usage Rate) (9)No. 54 Service Rate→Service Rate Base (10)No. 55 System→System Base (11)No. 59 メニューリスト(Graph Change) →メニューリスト(Data Change) (12)No. 73 メニューリスト(Line Mode) →メニューリスト(Graph Style) (13)No. 105 メニューリスト(Line Mode) →メニューリスト(Graph Style) (14)No. 112 メニューリスト(Graph Mode) →メニューリスト(Usage Rate) (15)No. 113 Service Rate→Service Rate Base (16)No. 114 System→System Base (17)No. 129 メニューリスト(Line Mode) →メニューリスト(Graph Style) (18)No. 136 メニューリスト(Graph Mode) →メニューリスト(Usage Rate) (19)No. 137 Service Rate→Service Rate Base (20)No. 138 System→System Base (21)No. 165 メニューリスト(Line Mode) →メニューリスト(Graph Style) (22)No. 183 メニューリスト(Line Mode) →メニューリスト(Graph Style) (23)No. 190 メニューリスト(Graph Mode) →メニューリスト(Usage Rate) (24)No. 191 Service Rate→Service Rate Base (25)No. 192 System→System Base

		<p>(26) No. 263 Monitor Setting Management ウィンドウ →Monitor Threshold Management ウィンドウ</p> <p>(27) No. 273 Threshold Check Count テキストボックス →Threshold Count(1-100) テキストボックス</p> <p>(28) No. 277 Caution テキストボックス (Physical CPU Threshold) →Caution(1-100) テキストボックス (Physical CPU Threshold)</p> <p>(29) No. 278 Error テキストボックス (Physical CPU Threshold) →Error(1-100) テキストボックス (Physical CPU Threshold)</p> <p>(30) No. 280 Caution テキストボックス (Physical CPU Threshold: (Insuff)) →Caution(1-999) テキストボックス (Physical CPU Threshold: (Insuff))</p> <p>(31) No. 281 Error テキストボックス (Physical CPU Threshold: (Insuff)) →Error(1-999) テキストボックス (Physical CPU Threshold: (Insuff))</p> <p>(32) No. 288 LPAR チェックボックス nn(nn=01~16) →LPAR チェックボックス nn(nn=01~60)</p> <p>(33) No. 289 Service Rate ON チェックボックス →Service Rate Base ON チェックボックス</p> <p>(34) No. 290 System ON チェックボックス →System Base ON チェックボックス</p> <p>(35) No. 295 Service Caution テキストボックス →Service Caution(1-999) 列テキストボックス</p> <p>(36) No. 296 Service Error テキストボックス →Service Error(1-999) 列テキストボックス</p> <p>(37) No. 297 System Caution テキストボックス →System Caution(1-100) 列テキストボックス</p> <p>(38) No. 298 System Error テキストボックス →System Error(1-100) 列テキストボックス</p> <p>(39) No. 299 Insuff Caution テキストボックス →Insuff Caution(1-100) 列テキストボックス</p> <p>(40) No. 300 Insuff Error テキストボックス →Insuff Error(1-100) 列テキストボックス</p> <p>(41) No. 321 Threshold Monitoring Mail Report フレーム →Mail Report フレーム</p> <p>(42) No. 338 Operation フレーム (Mode Setting タブ) →Operation フレーム (Monitoring Mode タブ)</p> <p>(43) No. 344 HVM Monitor RT Viewer [Multi] ウィンドウ →HVM Monitor Realtime Viewer [Multi] ウィンドウ</p> <p>(44) No. 346 メニューリスト (Line Mode) →メニューリスト (Graph Style)</p> <p>【位置変更】</p> <p>(1) No. 62 メニューリスト (Data Change) の Insuff →メニューリスト (Insuff)</p> <p>(2) No. 118 メニューリスト (Data Change) の Insuff →メニューリスト (Insuff)</p> <p>(3) No. 145 メニューリスト (Data Change) の Insuff →メニューリスト (Insuff)</p> <p>(4) No. 171 メニューリスト (Data Change) の Insuff →メニューリスト (Insuff)</p> <p>(5) No. 196 メニューリスト (Data Change) の Insuff →メニューリスト (Insuff)</p>
--	--	---

		<p>(6) No. 234 Enable Auto AverageHistory Log チェックボックス Operation フレーム (Threshold Setting タブ) の Auto Average History Log フレーム → Operation フレーム (Log Setting タブ)</p> <p>(7) No. 235 Setting Time ForAverage コンボボックス Operation フレーム (Threshold Setting タブ) の Auto Average History Log フレーム → Operation フレーム (Log Setting タブ)</p> <p>(8) No. 236 Save ボタン Operation フレーム (Threshold Setting タブ) の Auto Average History Log フレーム → Operation フレーム (Log Setting タブ)</p> <p>(9) No. 271 One Threshold Mode ラジオボタン Operation フレーム (Threshold Setting タブ) の Threshold Monitoring フレーム → Operation フレーム (Threshold Setting タブ) の Threshold Mode フレーム</p> <p>(10) No. 272 Two Threshold Mode ラジオボタン Operation フレーム (Threshold Setting タブ) の Threshold Monitoring フレーム → Operation フレーム (Threshold Setting タブ) の Threshold Mode フレーム</p> <p>(11) No. 273 ThresholdCount (1-100) テキストボックス Operation フレーム (Threshold Setting タブ) の Threshold Monitoring フレーム → Operation フレーム (Threshold Setting タブ) の Threshold Mode フレーム</p> <p>(12) No. 274 Save ボタン Operation フレーム (Threshold Setting タブ) の Threshold Monitoring フレーム → Operation フレーム (Threshold Setting タブ) の Threshold Mode フレーム</p> <p>(13) No. 277 Caution (1-100) テキストボックス (Physical CPU Threshold) Operation フレーム (Threshold Setting タブ) の Threshold Monitoring フレーム → Operation フレーム (Physical CPU Threshold タブ) の Physical CPU Threshold Setting フレーム</p> <p>(14) No. 278 Error (1-100) テキストボックス (Physical CPU Threshold) Operation フレーム (Threshold Setting タブ) の Threshold Monitoring フレーム → Operation フレーム (Physical CPU Threshold タブ) の Physical CPU Threshold Setting フレーム</p> <p>(15) No. 279 ON チェックボックス (Physical CPU Threshold) Operation フレーム (Threshold Setting タブ) の Threshold Monitoring フレーム → Operation フレーム (Physical CPU Threshold タブ) の Physical CPU Threshold Setting フレーム</p> <p>(16) No. 280 Caution (1-999) テキストボックス (Physical CPU Threshold: (Insuff)) Operation フレーム (Threshold Setting タブ) の Threshold Monitoring フレーム → Operation フレーム (Physical CPU Threshold タブ) の Physical CPU Threshold Setting フレーム</p> <p>(17) No. 281 Error (1-999) テキストボックス (Physical CPU Threshold: (Insuff)) Operation フレーム (Threshold Setting タブ) の Threshold Monitoring フレーム → Operation フレーム (Physical CPU Threshold タブ) の Physical CPU Threshold Setting フレーム</p> <p>(18) No. 282 ON チェックボックス (Physical CPU Threshold: (Insuff)) Operation フレーム (Threshold Setting タブ) の Threshold Monitoring フレーム → Operation フレーム (Physical CPU Threshold タブ) の Physical CPU Threshold Setting フレーム</p>
--	--	---

		<p>(19)No. 283 Save ボタン Monitor Setting Management ウィンドウ →Operation フレーム(Physical CPU Threshold タブ)の Physical CPU Threshold Setting フレーム</p> <p>(20)No. 287 ALL チェックボックス Operation フレーム(Threshold Setting タブ) Threshold Monitoring フレームの Logical CPU Threshold フレーム →Operation フレーム(LPAR Threshold タブ) LPAR Threshold Setting フレームの LPAR Threshold フレーム</p> <p>(21)No. 288 LPAR チェックボックス nn(nn=01~60) Operation フレーム(Threshold Setting タブ) Threshold Monitoring フレームの Logical CPU Threshold フレーム →Operation フレーム(LPAR Threshold タブ) LPAR Threshold Setting フレームの LPAR Threshold フレーム</p> <p>(22)No. 289 Service RateBase ON チェックボックス Operation フレーム(Threshold Setting タブ) Threshold Monitoring フレームの Logical CPU Threshold フレーム →Operation フレーム(LPAR Threshold タブ)の LPAR Threshold Setting フレームの LPAR Threshold フレーム</p> <p>(23)No. 290 System RateBase ON チェックボックス Operation フレーム(Threshold Setting タブ) Threshold Monitoring フレームの Logical CPU Threshold フレーム →Operation フレーム(LPAR Threshold タブ) LPAR Threshold Setting フレームの LPAR Threshold フレーム</p> <p>(24)No. 291 Insuff ON チェックボックス Operation フレーム(Threshold Setting タブ) Threshold Monitoring フレームの Logical CPU Threshold フレーム →Operation フレーム(LPAR Threshold タブ) LPAR Threshold Setting フレームの LPAR Threshold フレーム</p> <p>(25)No. 292 All Setting Mode チェックボックス Operation フレーム(Threshold Setting タブ) Threshold Monitoring フレームの Logical CPU Threshold フレーム →Operation フレーム(LPAR Threshold タブ) LPAR Threshold Setting フレームの LPAR Threshold フレーム</p> <p>(26)No. 293 リスト Operation フレーム(Threshold Setting タブ) Threshold Monitoring フレームの Logical CPU Threshold フレーム →Operation フレーム(LPAR Threshold タブ) LPAR Threshold Setting フレームの LPAR Threshold フレーム</p> <p>(27)No. 294 ON 列チェックボックス Operation フレーム(Threshold Setting タブ) Threshold Monitoring フレームの Logical CPU Threshold フレーム →Operation フレーム(LPAR Threshold タブ) LPAR Threshold Setting フレームの LPAR Threshold フレーム</p> <p>(28)No. 295 Service Caution(1-999)列テキストボックス Operation フレーム(Threshold Setting タブ) Threshold Monitoring フレームの Logical CPU Threshold フレーム →Operation フレーム(LPAR Threshold タブ) LPAR Threshold Setting フレームの LPAR Threshold フレーム</p>
--	--	--

		<p>(29)No. 296 Service Error(1-999)列テキストボックス Operation フレーム(Threshold Setting タブ) Threshold Monitoring フレームの Logical CPU Threshold フレーム →Operation フレーム(LPAR Threshold タブ) LPAR Threshold Setting フレームの LPAR Threshold フレーム</p> <p>(30)No. 297 System Caution(1-999)列テキストボックス Operation フレーム(Threshold Setting タブ) Threshold Monitoring フレームの Logical CPU Threshold フレーム →Operation フレーム(LPAR Threshold タブ) LPAR Threshold Setting フレームの LPAR Threshold フレーム</p> <p>(31)No. 298 System Error(1-999)列テキストボックス Operation フレーム(Threshold Setting タブ) Threshold Monitoring フレームの Logical CPU Threshold フレーム →Operation フレーム(LPAR Threshold タブ) LPAR Threshold Setting フレームの LPAR Threshold フレーム</p> <p>(32)No. 299 Insuff Caution(1-999)列テキストボックス Operation フレーム(Threshold Setting タブ) Threshold Monitoring フレームの Logical CPU Threshold フレーム →Operation フレーム(LPAR Threshold タブ) LPAR Threshold Setting フレームの LPAR Threshold フレーム</p> <p>(33)No. 300 Insuff Caution(1-999)列テキストボックス Operation フレーム(Threshold Setting タブ) Threshold Monitoring フレームの Logical CPU Threshold フレーム →Operation フレーム(LPAR Threshold タブ) LPAR Threshold Setting フレームの LPAR Threshold フレーム</p> <p>(34)No. 301 Save ボタン Operation フレーム(Threshold Setting タブ) Threshold Monitoring フレームの Logical CPU Threshold フレーム →Operation フレーム(LPAR Threshold タブ) LPAR Threshold Setting フレームの LPAR Threshold フレーム</p> <p>(35)No. 321 Mail Report フレーム Operation フレーム(Threshold Setting タブ) →Operation フレーム(Mail タブ)</p> <p>(36)No. 322 Enable Mail Report チェックボックス Operation フレーム(Threshold Setting タブ) →Operation フレーム(Mail タブ)</p> <p>(37)No. 322 Save ボタン Operation フレーム(Threshold Setting タブ) →Operation フレーム(Mail タブ)</p>
		<p>7 【名称変更】 (1)No. 51 Migration ボタン→Migration Execute ボタン (2)No. 51 Recovery ボタン→Recovery Execute ボタン</p> <p>【位置移動】 (1)No. 50 Show Config ボタン Target Selection フレーム→Migration ウィンドウ右下 (2)No. 148 Show Config ボタン Target Selection フレーム→Add Migration ウィンドウ右下</p>
V02-00	2.00	<p>5 【名称変更】 (1)No. 7 HVM Monitor Realtime Viewer ウィンドウ→CPU Realtime Viewer ウィンドウ</p>

			<p>(2)No. 8 HVM Monitor History Viewer ウィンドウ→CPU History Viewer ウィンドウ (3)No. 28 HVM Monitor Realtime Viewer ウィンドウ→CPU Realtime Viewer ウィンドウ (4)No. 29 HVM Monitor History Viewer ウィンドウ→CPU History Viewer ウィンドウ (5)No. 44 HVM Monitor Realtime Viewer ウィンドウ→CPU Realtime Viewer ウィンドウ</p> <p>【機能追加】 (1)No. 72 NIC View フレーム (2)No. 73 View ボタン (3)No. 128～No. 193 NIC Realtime Viewer ウィンドウ (4)No. 272～No. 335 NIC History Viewer ウィンドウ</p> <p>【位置移動】 (1)No. 365 Save ボタン</p>
		4	LPAR 設定機能を追加しました。
V02-01	2. 10	4	<p>【名称変更】 (1)No. 220 「HBA card count」 → 「HBA count」 (2)No. 512 「Shared Virtual FC Port WWN Information メニュー」 → 「Shared Virtual FC Port WWN Information / Boot Function Setting メニュー」</p> <p>【機能追加】 (1)No. 79～No. 80 「CLI IP アドレスメニュー」 (2)No. 221～No. 222 「Port ラジオボタン」、「card ラジオボタン」 (2)No. 519 「Boot Function」 (3)No. 548～No. 549 「HVM CLI メニュー」 (4)No. 606～No. 607 「MultiSort チェックボックス」 (5)No. 633～No. 645 「Boot Setting スクリーン」 (6)No. 259 「<< Prev. ボタン」</p>
		8	ファームウェア更新機能を追加しました。
		9	V02-01 対応のメッセージに更新しました。
V02-02	2. 20	4	<p>【機能追加】 (1) No. 399 「View Data メニュー」 (2) No. 458 「Mapping Info ボタン」 (3) No. 459～No. 472 「PCI Device Mapping Information ウィンドウ」 (4) No. 500 「Assign Mode メニュー」 (5) No. 563 「Hvm Operating Mode」 (6) No. 578 「NTP」 (7) No. 584 「Split Style メニュー」 (8) No. 585 「View Style メニュー」 (9)No. 604 「HVM Reboot ボタン」 (10)No. 605～607 「HVM Reboot ウィンドウ」</p>
		5	<p>【機能追加・機能変更】 (1)No. 2 「HVM List フレーム」 (2)No. 78 「System Base」 (3)No. 79 「Resource Base」 (4)No. 94 「All」 (5)No. 95 「50」 (6)No. 96 「20」 (7)No. 97 「10」 (8)No. 99 「All」 (9)No. 100 「50」 (10)No. 101 「20」 (11)No. 102 「10」</p>

		<p>(12)No. 103~106 「Top」</p> <p>(13)No. 115 「Each CPU」</p> <p>(14)No. 116~152 「Each CPU Realtime Viewer ウィンドウ」</p> <p>(15)No. 153 「Reset Color」</p> <p>(16)No. 154~No. 156 「レジェンド」</p> <p>(17)No. 164 「Bar」</p> <p>(18)No. 170 「Resource Base」</p> <p>(19)No. 179~No. 183 「Scale」</p> <p>(20)No. 184~No. 186 「Value」</p> <p>(21)No. 192 「Reset Color」</p> <p>(22)No. 193~No. 195 「レジェンド」</p> <p>(23)No. 328~No. 329 「Usage Rate」</p> <p>(24)No. 341 「Reset Color」</p> <p>(25)No. 342~No. 344 「レジェンド」</p> <p>(26)No. 357 「Resource Base」</p> <p>(27)No. 371 「Reset Color」</p> <p>(28)No. 372~No. 374 「レジェンド」</p> <p>(29)No. 487 「コンボボックス」</p> <p>(30)No. 529 「Resource Base ON チェックボックス」</p> <p>(31)No. 535 「Resource Caution(1-100)列テキストボックス」</p> <p>(32)No. 536 「Resource Error(1-100)列テキストボックス」</p>
		<p>9 V02-02 対応のメッセージに更新しました。</p> <p>以下、追加または変更したコードです。</p> <p>20000824, 20000825, 20000826, 20000827, 20001101, 20001102, 20001103, 30020111, 30020305, 300206F1, 30020908, 30020909, 3002090A, 3002090B, 3002090C, 3002090D, 30021208, 30021222, 30021223, 30021224, 30021225, 3002133A, 3002133B, 3002133C, 3002133D</p>
2. 21	5	Each CPU Realtime Viewer[HVM_ID : HVM IP]ウィンドウの表示条件を追加しました。
	9	20000827 のメッセージを修正しました。